

会 議 録

会議の名称		令和4年度第1回つくば市社会教育委員会議		
開催日時		令和4年(2022年)8月22日(月)開会10:00 閉会12:00		
開催場所		つくば市役所2階 会議室203		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	社会教育委員	坪 文雄委員、飯岡 宏之委員、井坂 孝委員、石黒 澄子委員、伊藤 達也委員(議長)、稲葉 房子委員、上田 孝典委員、金井 恵美委員、鈴木 もえみ委員(副議長)、高田 正澄委員、谷村 安子委員、長橋 進也委員、平野 浩之委員、布浦 万代委員、皆川 幸枝委員		
	教育局	森田 充教育長、吉沼 正美教育局長、飯泉 法男次長、久保田 靖彦次長		
	中央図書館	柴原 徹館長		
	文化芸術課	佐藤 真紀係長、山崎 史恵主任主査		
	スポーツ振興課	中山 真由美係長、竹前 亘係長		
	事務局 生涯学習推進課	澤頭 由紀子課長、色川 純子課長補佐、渡辺 幹高係長、福田 真一係長、神立 茂盛係長、渡邊 亮太主査(社会教育主事)、石澤 弘美主任主査		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 令和3年度社会教育事業の実績報告について (2) 令和3年度社会教育指導員事業報告書について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
1 開会				

会 議 次 第	2	委嘱状交付式
	3	挨拶
	4	自己紹介
	5	議長・副議長選出
	6	議事 (1)令和3年度社会教育事業の実績報告について (2)令和3年度社会教育指導員事業報告書について
	7	その他
	8	閉会

< 審議内容 >

1 開会

2 委嘱状交付式

3 挨拶

[教育長挨拶]

4 自己紹介

[委員自己紹介]

[職員紹介]

5 議長・副議長選出

○事務局(澤頭課長)

当会議の議長及び副議長の選出を行いたいと思います。

選出につきましては、つくば市社会教育委員会議運営規則第2条の規定によりまして、委員の皆様の中から選出いただきます。議長及び副議長の選出につきまして、皆様にお諮りしたいと思いますがいかがでしょうか。

(事務局一任の発声)

○事務局(澤頭課長)

はい、ありがとうございます。ただいま事務局一任の御発言がありました。事務局案を申し上げます。事務局といたしましては、前任期に続き、議長を伊藤達也委員、副議長を鈴木もえみ委員にお願いしたいと考えておりますがいかがでしょうか。

〈拍手〉

ありがとうございます。只今、議長に伊藤達也委員、副議長に鈴木もえみ委員が選出されました。それでは恐れ入ります、御挨拶をお願いいたします。

[伊藤議長挨拶]

[鈴木副議長挨拶]

○事務局(澤頭課長)

続きまして議事に移ります。つくば市社会教育委員会議運営規則第7条の規定によりまして、会議は在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができないと定められております。本日の出席委員は15名です。要件を満たしていることを申し添えます。

それでは議事に入る前に、資料の補足をさせていただきます。資料3につきまして、現在、生涯学習推進課で行っている科学3事業につきまして御紹介させていただきたく、15ページ目として1枚追加させていただきました。机上に配付させていただいておりますので、御確認をよろしくお願いいたします。

それでは、つくば市社会教育委員会議運営規則第4条第1項の規定に、議長は会議を主宰するとございます。議事進行につきましては議長にお願いいたします。それでは、よろしくお願いいたします。

6 (1)令和3年度社会教育事業の実績報告について

○伊藤議長

はい。それではただ今より、議事に入らせていただきます。新しく入られた方もいらっしゃいますので重複するかもしれませんが、審議中に質疑応答の場

合は、全て録音している関係で、質疑、質問のある方、発言する方は、挙手を
していただいて、お名前を名乗っていただいてから発言いただきたいと思いま
す。よろしくお願いいたします。

それでは第1議案につきまして、令和3年度社会教育事業の実績報告につい
て議題とします。事務局より御説明願います。なお、説明は一括で中央図書館、
文化芸術課、スポーツ振興課、生涯学習推進課、全て一括で御説明させていた
だきます。それぞれの課別に順次簡潔な説明でよろしくお願いいたします。

○中央図書館柴原館長

中央図書館館長の柴原です。よろしくお願いいたします。実績報告についま
しては、既にお目通しいただいていると思いますので、主に結果の御説明をさ
せていただきます。図書館事業の目的は記載のとおりです。事業概要について
は、職場体験をはじめ、様々な事業に取り組んでいるところです。また、図書
館協議会を開催し、各委員の御意見を頂戴しながら事業を進めています。

事業の実績ですが、少し補足をさせていただきます。昨年度の開館日数、260
日です。これは、当初291日を予定していましたが、8月の18日から9月22
日が、茨城県のコロナ蔓延防止等の指定期間になり、それに伴いつくば市内の
様々な施設が閉じたことに合わせて、この期間30日間臨時に休館をしていま
す。また、12月28日に施設全体の電源を止めた上で工事を行わなければいけ
ない状況がありましたので、臨時に1日お休みして合計で31日臨時休館をし
て、開館日数が260日となっています。

次の各種図書館事業についてです。こちらコロナの影響を多大に受けてお
り、例えば職場体験は8年生が対象になるものなのですが、職場体験学習、或
いはジュニア図書館員、これは1日図書館員という小学生に図書館業務を体験
していただく事業です。そして、図書館司書を目指す、学生のインターンシッ
プの受け入れ、こちらの三つについてはコロナの影響で中止しています。その
他の事業については、様々な工夫をして、中には縮小したり、開催の形態を変

えたりしながら、イベント等を開催しております。

本日お配りしている図書館からの通信物、公園通りの図書館通信ヨモッカを2月と10月に発行しています。2月に発行したのは、一般大人の方向けのもの。一方10月に発行したこどもヨモッカは、小学生を対象としており、小学4年から6年生に学校を通じて配布しました。

ぬいぐるみのお泊り会を、12月にコロナ対策を取りながら行いました。参加者は10名限定でしたが、昨年度倍率が約9倍で抽選をしました。昨年は参加者の方からアンケートをとりましたが、非常に好評で何年かに渡り抽選に漏れていたが今年ようやく当選してうれしかったです、という声がたくさんありました。この企画のコンセプトについても、御賛同いただいている状況が見て取れました。

ワールドウィークは、JICA筑波、竹園高校の御協力をいただき、SDGsに関する展示をしました。竹園高校ではSDGsかるたを作成しており、お借りして展示をしました。コロナ前は参加型のワークショップ等も行っていましたが、展示中心でしたので、展示を見た感想等を付箋に貼ってもらう等一部参加型となる工夫をしています。

図書館協議会を年2回開催しています。第1回目は、当年度の事業概要説明等を行っています。3月に行った第2回では、事業の結果及び当年度に顕著な活動をしたもの等を報告して、その他図書館として今後考えていることなども提案しながら、それに対する各委員からの御意見を頂戴するという形で図書館協議会を2回開催しています。図書館ボランティア活動では年々参加者、登録者も増えており、昨年度は166名の方に御登録いただき、10の分野の活動をしています。

最後に図書備品につきましては中央図書館の図書資料や視聴覚資料等の選定及び購入をして、昨年度は24,386点の資料を受入れました。取組実績は蔵書数の目標を49万点と掲げていましたが、令和3年度末時点で483,263点でした。

令和2年の実績が482,244点で、1,000点ほどしか増えていないのですが、年間の受入れ点数が約24,000点ありながら、1,000点しか増えていないという結果については、現在図書館の棚のスペースが飽和状態になっており毎年2万点近くは受け入れてはいますが、棚に入りきれない状況があるので、非常に利用の少ない、あまり利用が見込めないと判断した図書は、リサイクルで市民の皆様にお配りする事業をしています。従いまして受入点数が2万4,000点を超えますが、実質伸びた点数は約1,000点という結果となっています。

今年度の計画に対する成果ですが、重複する点は割愛させていただきます。自動車図書館を2台所有していましたが、令和3年度は1台新たに購入しました。積載冊数はこれまで3,500冊を要する大きな車両でしたが、昨年度は、600冊という非常にコンパクトな車両にしました。理由としては、広いつくば市域をカバーするにはまだまだをお伺いできない地域があります。道路が狭隘であったり、或いは筑波山エリアも坂があつたりと、大きい車では活動ができないこともありましたので、少し小さめの車両を導入して、令和4年度からステーションを増やしたり、これまで行けなかった地域のところにもお邪魔するという形で活用しています。また、返却の利便性を高めるため、昨年度島名交流センターに新たにブックポストを設置しています。

課題の対策ですが、コロナ感染の影響により中止となった事業、或いは開館日数が減るという状況もありましたが、様々な工夫をすることにより事業を継続的に行うことで、読書推進及び図書館利用の推進を図っています。今後図書館の増設等も含め図書館に対する期待要望が大きいということですので、図書館懇話会からの提言書の内容を参考にしながら、中央図書館施設改修計画等も策定していく予定です。以上が中央図書館に関する説明です。

続いてオンライン地域交流センター図書室に関する事業説明をします。オンライン地域交流センター図書室は、市内に17の地域交流センターがありますが、そのうちの4館、谷田部、筑波、小野川、荃崎の図書室については中央図書

館とオンライン化されていて、いわゆる分館的機能を持った図書室で、中央図書館でカウンター業務等の委託をしながら運営をしています。

中央図書館の開館日数が先ほど 260 日と説明しましたが、筑波交流センターは 258、小野川は 245 日です。それぞれ理由があり、設備等の工事のため、或いは小野川は昨年度県知事選挙があり、投票所となっていることから施設への立ち入りができない状況がありましたので、臨時に休室しています。

図書資料は、中央図書館と比べて予算規模もかなり少なくなるのですが、委託職員が、平日頃カウンターでの利用動向を把握しているのです。常に連携、情報共有を行いながら、地域図書館サービスの向上に努めています。なお委託職員については、どの時間帯でも図書館司書の有資格者を常時 1 名以上配置するという契約をして人員配置をしています。取り組み実績等は先ほど説明したとおりです。

目標に対する成果ですが、予算も限られていることもあり、古くからある図書の入れ替えがなかなか進んでいない状況です。4 交流センターそれぞれの利用状況を見ると、例えば筑波と谷田部を比較すると、谷田部は筑波の倍位の利用があり、資料の購入費を若干傾斜配分しております。利用が多いところには多く予算をまわしていますので、多少時間がかかりますが、図書の入れ替え等も今後進んでいくのではと考えています。また、広い市域にあり、4 館なのでそれぞれの地域の特色があると思います。図書館の利用人数もそうですけれども、地域特性等も踏まえながら、資料をそろえていく、或いは様々なサービスを積極的に展開していくことが必要と考えています。

今後の課題の対策は、地域の特色を生かしながら、新たな資料の受入れ数を増やし、その充実を図っていくことです。その他、今後の資料配分の方法を随時、最新の統計データ等をチェックしながら、今後の具体的な取り組みについても検討していきたいと考えています。また、委託職員と意思疎通がなかなか図れないという課題もありますので、定期的に月に数回程度、中央図書館のサ

ービス係長が直接4交流センターを回り、ヒアリングを行いながら対策をとることを継続して行っています。以上でオンライン地域交流センター、図書館運営に要する事業についての説明とさせていただきます。報告については以上です。御審議のほどよろしく申し上げます。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。続きまして、文化芸術課、3ページから5ページについてお願いいたします。

○文化芸術課佐藤係長

文化芸術課の佐藤と申します。よろしくをお願いいたします。資料の3ページを御覧ください。つくば市民文化祭の実績報告です。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度に続き令和3年度も中止となりました。市民文化祭の代替事業として、市民文化祭に参加していただいている団体を紹介するパンフレットを2,000冊作成して地域交流センター等で配布しました。今回の紹介パンフレットに参加している団体は100団体です。

本事業の目標に対する成果としては紹介パンフレットを作成したことで、文化祭とは違った成果発表の場となり、活動内容の情報共有に繋がりました。また、他団体の活動を知ることで、自らの活動への意欲が向上して、世代間の交流にも役立ちました。

課題への対策についてですが、今年度は感染症対策を講じながら、ガイドラインを作成して市民文化祭を実施する予定になっています。今後、各会場の催事委員会を開催しますが、世代を問わず多くの市民が参加できる内容、方法を検討していきます。

本年度から開始したオンラインでの参加申し込みでは、全体で443件ありましたがその中で34件、約7.7%の申請がありました。今後、ウィズコロナポストコロナとして、オンラインでの情報発信に力を入れ、実際のイベントと併せて、つくば市文化芸術ポータルサイト、つくばアートチャンネルやインスタグ

ラム、a r t × t s u k u b a を活用していく予定です。

○文化芸術課山崎主任主査

4 ページを御覧ください。事業名は地域交流センター講座です。概要としては、市民に学習機会を提供し生涯学習社会の実現に寄与するため、市内 17 地域交流センターで自主企画の講座を開講するものです。

令和 3 年度の事業実績は、5 月に前期、9 月に後期の講座受講生を募集し、合計 98 講座を実施しました。内訳は、一般向けが 80 講座、高齢者向けが 3 講座、親子向けが 15 講座です。小学生向けの講座については、企画しましたが新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止としました。また、平日、日中の参加が難しい方にも対応するため、夜間に 2 講座、土日祝日に 9 講座を実施しました。延べ受講者は 2,628 名です。高齢者学級及び地域コーディネーター講習会については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。

目標に対する成果は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、地域交流センター講座を開催することができました。また、夜間や土日に開催する講座も企画し、利用者のニーズに応えるものが提供できました。今後もアンケート等により多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていくことを検討していきます。

続いて 5 ページを御覧ください。事業名は生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理です。概要としては、豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため、また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、指定管理者制度により、つくば市ふれあいプラザの維持管理を行っています。また、施設では利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施しています。

令和 3 年度の事業実績としては、総利用者は 36,940 名です。その内、免除者は多くが高齢者の方で、免除率 53.23%です。自主事業は、講座、セミナー等ですが、プール、パソコン、外国語、料理、運動、音楽と幅広い内容で実施しています。実施講座数は 491 講座、延べ受講者数は 10,092 名です。イベントは、

令和3年度において2回開催し、延べ参加者数は360名です。利用者を対象としたアンケートも実施しています。管理状況、使いやすさ、スタッフ対応について、いずれも満足との回答が80%を超えている状況です。

目標に対する成果としては、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で利用者のニーズに沿った講座の開催やイベントを実施できました。

また、課題への対策としては、開館から15年以上経過しており、経年劣化等による施設や各種設備の修繕について、引き続き計画的に実施していきます。以上です。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。それでは次、スポーツ振興課6ページから9ページお願いします。

○スポーツ振興課中山係長

スポーツ振興課の中山と申します、よろしくお願ひいたします。私からは、スポーツ推進委員、スポーツ推進審議会についてお話しします。まずスポーツ推進委員については、主な事業の一つが市の主催事業に係員として協力するというものがあるのですが、全ての事業が中止となり協力を行うことができませんでした。

また、研修会についても軒並み中止となりました。唯一開催できたのが市の研修会です。スポーツフェスティバルで運営を行う大人のスポーツテストというものを実際に行いまして、手順を確認しながら、推進委員の体力がどれくらいあるか確認をすることができました。

スポーツ推進審議会は、2回委員会を開催し1回目はコロナ対策といたしまして、オンラインと併用して行いました。2回目は対面式で実施することができました。

成果としては、推進委員の多くの活動ができませんでした。スポーツテストを実際に行うことで、自身の体力を改めて確認できたということと、次年度

のスポーツフェスティバルに向けて、担当する業務について確認することができ、実りある時間となりました。

審議会については、昨年、初めて市民委員の方を選出することができました。人数も増やして、市民委員の方を含め 12 人の構成となっています。

課題としては、推進委員の資質の向上ということを挙げており、今後、研修会や選任の方法を見直し等も含め検討したいと思っております。以上です。

○スポーツ振興課竹前係長

スポーツ振興課スポーツ・レクリエーション係の竹前と申します。私からまずスポーツ大会の開催について御報告させていただきます。私達が中心となって行っている、つくばマラソン、健康マラソン、つくばスポーツフェスティバル、つくばウォークラリー大会というものがありますが、全て中止になりました。事業実績のところに書かせていただきましたが、中止でも代替となるものができたものもあります。つくばマラソンについては、オンラインマラソンと申しましてスマートフォンにアプリをインストールして、各々走った距離を累積していくというイベントを開催しました。完走者には抽選で、今年開催予定のつくばマラソンへの出走権や、地元の特産品等を使いました。地元の方や事業者にも少し恩恵があったのかなと思います。

健康マラソン、つくばスポーツフェスティバルはそれぞれ中止としましたが、どのタイミングで感染症の対策、対象者をどうするか、消毒をどのタイミングで行うか、そういったノウハウが蓄積できたと考えております。

続きまして、スポーツ教室の開催について御報告します。これらは、私達が中心となって大体 20 人から 30 人規模で 3、4 回開催している教室がありまして、13 教室の開催を計画しておりましたが、6 教室が中止となりました。7 教室を開催しています。これについても感染症が拡大している時には開催できない時もありますが、落ち着いている時には手指消毒や、距離を取って教室を開催できたので、そのノウハウもまた蓄積できたのは大きなプラスになったと考

えております。以上です。

○生涯学習推進課神立係長

生涯学習推進課青少年教育係の神立と申します。10 ページです。青少年健全育成事業について御説明します。事業実績につきまして、書かれているとおりでありますが、ポイントとして、あいさつ・声かけ運動は基本的には全体で行うものですが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、個人活動をしています。そのため実績数は1,368回と増えています。

目標に対する成果につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、あいさつ・声かけ運動を各個人で実施したため、目標数を大幅に超える実施回数となりました。訪問活動実施店舗は累計 390 店舗、うち新規の登録が 2 店舗で、青少年健全育成の意識を高めることができました。

課題の対策として、相談員が青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を企画しましたが、今回は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となっています。

続いて青少年体験学習事業です。事業実績について、青少年体験学習を 8 月 6 日に行う予定でしたが中止となりました。青少年居場所事業として、年間 1,040 人利用しています。「この指と一まれ！」ですが、8 月 11 日にオンラインでキックオフ・説明会を行い 10 月 31 日にドリームフェスタを開催しています。子供体験事業補助金の交付団体は 6 団体となっています。今回実績数としての参加者数は、中止となったため 0 になっています。

目標に対する成果は、「この指と一まれ！」事業では、青少年達が企画を考え、企画を実現することができたことで、企画計画力、コミュニケーション力等、「社会力」の育成に繋げることができました。課題の対策として、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため参加人数を減らし、密にならないよう距離をおき、感染防止対策を行い、事業を行いました。併せて安全に事業ができるよう対策も行っています。青少年体験学習事業に関しては以上です。

続いてつくば市成人の集い事業です。今回、新型コロナウイルス感染症対策のために密にならないよう、席を空け式典を4回に分けて開催しました。その他、県知事の要請によりPCR検査等の陰性証明が必要になったために、筑波大学等、御協力いただき新成人の接種状況(陰性証明)確認ができるようにしました。昨年は2回に分け2日間、令和4年1月9日、10日で行っています。参加者数は、全体で1,621人です。

目標に対する成果は、社会の一員として自覚を促す機会が図れました。つくば警察署の協力を得て式典会場内外の警備体制や違法車両対策、参加者の安全対策を確保することができ円滑に式典運営することができました。

課題の対策として、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、入場当たりマスクの着用の徹底、検温、手指消毒後の入場を徹底しました。また、入場後、密にならないよう着座できる席を限定しています。以上です。

○生涯学習推進課福田係長

続きまして、社会教育係です。事業名は家庭教育支援事業です。家庭教育の推進のために、社会教育指導員10名を配置して、市立の幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校での家庭教育学級において、親としての資質の向上を図るための事業を行っています。その他にも乳幼児期の家庭教育の充実のために乳児家庭教育学級、幼児家庭教育学級を開催しています。その他、社会教育講演会や、保育所における社会教育講座等も行っています。実績については資料のとおりです。

令和3年度家庭教育学級の参加者数の目標は、10,500人と定めましたが、実際の参加者数は10,139人です。コロナ禍での家庭教育学級の開催に対する成果としては、参加者数が目標値には届かなかったのですが、安全な学級運営は行うことができたと思っています。

課題としては、主に動画を視聴するだけの学習になってしまい、振り返りの機会がないために学習の効果が表れにくいことが課題となっています。対策と

しては、自身との共感や違いを考えることで、学習効果を感じてもらうため、動画視聴のアンケート集計結果を公表しました。

続きまして14ページです。生涯学習施設管理です。北条にあるつくば市市民研修センターと中央公園内にあるさくら民家園の施設維持管理を行っています。事業の実績は資料のとおりです。目標値は施設の利用人数が市民研修センター35,000人、さくら民家園来園者数7,000人としました。実績は市民研修センターが14,558人、さくら民家園は5,122人です。計画としては利用者の感染拡大防止対策です。利用人数は、両方とも目標値には届かなかったが、施設でクラスターを発生させることなく運営できたということをも成果としました。

課題としては、利用者数の増加は見込めませんが、施設ごとのガイドラインに従い、感染拡大防止に配慮しながら安全に利用してもらうことを優先しました。対策として、検温、消毒、マスクの着用をお願いして、感染拡大防止に努めました。以上です。

○生涯学習推進課渡辺係長

最後に、本日配布させていただきました15ページ目につきまして、科学教育推進事業について、生涯学習推進係渡辺より簡単に御説明します。科学推進事業については、つくば市にある大事な地域資源である科学を切り口にして、子供たちの科学への関心を高めることを目的として、概要に書いてある三つの事業に継続して取り組んでいます。

事業実績につきましては、1、2、3それぞれ記載のような状況です。1番目と2番目については新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、何とか実施をすることができた。その中で、2番のちびっこ博士事業については、動画配信事業が非常に好評で、延べで5万回を超える視聴をいただいたということが一つの成果だと考えています。3番目のつくば科学フェスティバル事業については、現在、開催方針が隔年開催で、昨年度は検討年ということで、今年度11月の開催に向けた検討を実施して参りました。

実績値は記載しているとおりの状況となり、目標については到達ができていない状況ですが、次年度の目標は事業の課題に取り組みながら、今年度は目標達成に向けて事業を展開して参りたいと考えています。以上です。

○伊藤議長

はい。ありがとうございました。まず中央図書館について質問を受けます。まずシートで事前に質問を行っておりますので、シートの方を先に回答いただいて、そのあと、皆さんから質問を受けたいと思いますのでよろしくお願いします。

○事務局(福田係長)

それでは図書館や交流センターのコロナ感染対策について具体的にどのようなになっているのか知りたいという質問です。

○中央図書館柴原館長

はい。中央図書館から事前の御質問の回答をさせていただきます。井坂委員ありがとうございます。コロナ対策が始まりまして2年が過ぎたところですが、まず、安全対策としては、閲覧席の座席数を半減しています。窓際に34席、32席プラス2席ありますが、32席は2人掛けなので、隣同士にならないように椅子を一つ撤去して、1人掛けにしています。窓際に16席プラス囲いがあるところが別にあるのでそこだけに2席そのまま使い、窓際に18席、同じ様に窓際のソファが3人掛けなので、真ん中が座れないよう制限をしています。

この時期、中央図書館2階の集会室を学習室として開放していますが、定員が36なので半分の18席で運用をしています。また館内の滞在時間を基本2時間以内でと呼びかけしています。閲覧席、学習席についても、席の利用は2時間以内でお願いしています。また混雑時、土曜日、日曜日の特に11時、3時付近が混み合う時間帯なので、かなり密の状況が見受けられた時には、館内放送でできるだけ短時間の御利用をお願いしますとアナウンスしています。

利用者の皆様の安全を確保するということが先決ですが、同時に職員が安心

して働けるような環境を整えるために、カウンターにビニールカーテンを設置しています。衛生対策としては、図書館出入口にアルコール消毒剤を設置しています。また、館内に掲示物で、マスク着用等の呼びかけもしています。

最近の対応ですが、アルス1階2階のトイレの出入口付近に除菌マットを設置しています。先ほどの事業報告でも一部お伝えしましたが、イベント時、特に毎週定例で行っているおはなし会等があります。これまでは、子供であれば30名程度入れる部屋があるのですが、人数を10人に制限しています。入室にあたっては、非接触型の体温計で体温を確認して、入室前にアルコール消毒をすることで、職員が一人一人にお声掛けをして対応しております。入室人数が減ったことで、本当に楽しみにしているお子様方のために回数を増やしました。これまで1回だけだった回数を2回に増やす等できる限り参加希望の方に参加していただけるよう、イベント等も工夫しています。以上です。

○伊藤議長

井坂委員、いかがですか。

○井坂委員

様々な対策を講じていると思われるので、イベント等は中止しないで続けてやっていただければと思います。

○伊藤議長

よろしいですか。それでは1ページから2ページまでの間、中央図書館について御質問ございましたらどうぞ。

○皆川委員

はい。皆川でございます。事前に質問送ってなくて申し訳ありません。中央図書館について1点質問したいのですが、まずかなり中央図書館や図書館の充実についてはすごく要望も大きいということで、課題への対策にも書いてありますが、今後施設改修計画を策定していくとありますが、増設を含めて施設計画改修計画の策定のスケジュールと、どのような会議等の場で検討される

のか教えていただきたいと思います。

2 ページですが、分室として、四つの交流センター谷田部、筑波、小野川、荃崎とありますが、開館日数が、事業実績の中に、筑波と小野川については、書いてありますが、他の谷田部と荃崎の開館日数が書いてないので、教えていただきたいのと、この事業実績の中にこの四つの分室の蔵書数を、今後できれば分野別やこの四つにどれだけの図書が配備されているのか知りたいと思いますので、できれば事業実績に今後それが増えているのか年ごとに追っていただければと思うので今後入れていただければと思います。これは意見です。

○中央図書館柴原館長

はい、ありがとうございます。中央図書館柴原です。まず一つ目の質問、中央図書館の施設改修計画ですが、市長のマニフェスト、ロードマップ等にも既に記載され公開されているところですが、今年度は、市民意見を伺うことに努めて参りたいと思います。来年度に向けて施設の改修計画案等の策定もしていければと考えています。その後については、来年度その改修案を基に、設計業務等が発生すると思います。その次の再来年度に、施設の改修の工事が実施されるという計画になっています。

今現在市民意見の聴取につきましては、館内でのアンケート調査を昨年度末に実施しておりまして、自由意見で御記入いただいている状況です。今後は市民意見を、聴取する機会を設けていきたいと考えていますが、今現在具体的にどんな形でというのは、決定しておりませんので、この場では大変申し訳ありませんがお答えできません。

続きまして4交流センターの開館日数ですが、谷田部と荃崎が書いていないのは、中央図書館と同じ260日でしたので、わかりづらいのですが事業実績の中で、開館日数260とあるのが谷田部と荃崎の日数です。筑波は258、小野川は245日です。各図書室の蔵書数についてですが、次年度以降の報告の中に入れていきたいと考えていますが、今、手元に資料がありますので、口頭で述べ

ます。谷田部交流センター図書室の蔵書数ですが、令和3年度末で48,608冊あります。筑波は33,583冊です。続きまして小野川が31,689冊です。最後に荃崎が51,611冊です。以上です。よろしくお願いいたします。

○伊藤議長

よろしいですか。他にございますか。

○稲葉委員

稲葉です。目標に対する成果にコロナで中止になった事業もありましたが、実施方法を工夫することにより、とありますがこの実施方法とは具体的にどのようなにしたのかというのが一つと、もう一つは、来館することが難しい方へ図書館サービスを提供とありますが、どの様に提供したのか教えていただきたいと思います。

○中央図書館柴原館長

中央図書館柴原です。御質問ありがとうございます。先ほどもコロナ対策の方で述べたように、参加者数を絞って、その代わり回数を増やすという工夫や、展示型のイベントに移行したものもあります。これまでは、例えばそれに関する講師の先生をお呼びして、ワークショップ的なもの或いは簡単な講演会をやったこともありますが、似たような内容を取り上げるにあたっては展示を中心に、皆さんに見ていただきながら最後に質問や感想を書いていただいて、ボードに貼っていただいたく等工夫をしました。

また、来館困難の方へのサービスとして、図書館の郵送貸出サービスがあります。これは希望する方に郵送するサービスなのですが、郵送料は利用者の負担になってしまうので、実際の利用は全くありませんでした。図書館やその建物には気分的に行きたくない方には、自動車図書館で、逆に地域の方に本を配送しているので、近くのステーションで借りると建物の中に入ることはなく密にならず安心して利用できるため自動車図書館サービスを継続して行いました。

今年度から1台増えて3台体制で、ステーションも4か所増えました。今年度後半はさらに4か所増やすので準備を進めています。今後も随時ステーションの見直し等、コロナでなくても来館や、開館するに当たり課題がある方もいたので、そのような方にも図書館サービスを届けられるように引き続き様々な工夫をしていきたいと考えています。

○伊藤議長

よろしいですか、他にございますか。

○伊藤議長

次は文化芸術課を議題として、3ページから5ページまでです。これは井坂委員、(質問が)共通しているからよろしいですか。

○井坂委員

はい。

伊藤議長

では、皆様の御質問を受けます。いかがでしょうか。はい。飯岡委員。

○飯岡委員

御説明ありがとうございました。4ページ左側の事業の課題で、講座申込者が少なく、開催中止となる講座もあるということで、どういうものが中止になったということと、今後の対策について教えてください。

○文化芸術課山崎主任主査

令和3年度開催見送りとなった講座は5講座ありました。新型コロナウイルスの感染拡大による見送りもありましたが、消費者トラブル対処法が1件、応募者が少なく開催を中止しています。また同様の消費者トラブルの対処講座を、他交流センター2箇所で企画をしましたが、人数が少なかったため二つの施設合同で開催したことがありました。

○伊藤議長

よろしいでしょうか。

○飯岡委員

5 ページのふれあいプラザの件について、アンケートの実施状況で満足度が8割を超えたということですが、不満が少なかったというのはいいことなのですが、念のため確認なのですが、色々な御意見等なかったでしょうか。その様な意見に対して解消はできたかどうかという質問です。

○文化芸術課山崎主任主査

施設の管理やサービス対応に関してということでしょうか。施設の掲示物等をより見やすくする等、話があった時は文化芸術課からも、ふれあいプラザに連絡をして改善するように適宜お願いをしています。

○伊藤議長

よろしいですか。はい、上田委員どうぞ。

○上田委員

社会教育事業全般がそうですけれどもコロナの対策をしながらぎりぎりの判断で中止なり、或いは色々工夫を凝らしながら開催していただいていることに大変ありがたいと思っています。

交流センターについてですが、17館それぞれ多少の違いはあると思いますが、今現在職員の配置状況がどうなっているのかを、教えていただきたいということが1点目と、それから様々な講座を開催していると思いますが、その企画立案、実施を交流センター或いは文化芸術課の職員の方々がしているのか、或いは市民部(文化芸術課)と教育局(生涯学習推進課)と部局が違いますが、連携体制や情報共有はあるのか教えていただきたいと思っています。

○文化芸術課山崎主任主査

職員配置状況は、通常3名から4名程度どの交流センターでも配置しています。特に住民票や戸籍を発行している交流センターもありますので、そのようなところはプラスアルファで職員を配置している状況です。

2点目の講座の企画、立案については、基本的に交流センターの職員が企画

しています。人気のある講座や世代間でばらつきがないように乳幼児向け、乳幼児とお母様向け、小学生向け、一般の方向、高齢者向けと幅広く対象を設定した講座をバランスよくできるよう各職員で努力をしています。生涯学習推進課にも、必要に応じてアドバイスを求めることもあります。

○上田委員

交流センター全てに1名以上は、つくば市の正規職員が配置されている状況ですか。

○文化芸術課山崎主任主査

はい。

○上田委員

わかりました。ありがとうございます。

○伊藤議長

よろしいですか、他にございますか。

○谷村委員

谷村です。質問ではなく意見ですが、交流センターの講座について、今マックスで講座を開設しているのかと思いましたが、決算額が半額位です。休講になった講座は数少ないので、多分当初からあまり講座数が無かったと思われませんが、この独自の審議会が別にあるので、そちらで詳しく審議されているとは思いますが、高齢者が今、とても元気です。全体の若い人、子育て中の人、色々な人に焦点を当てるのは、大変だと思いますが、どちらかという、高齢者が楽しみにして5月の講座の案内を開きますが、魅力がないです。これに行こうとか、シフォンケーキを作ろうとか、何か行きたいなという魅力がないので、もう少し60代、70代、80代の皆さんが参加したいと思えるような講座を是非考えていただきたいと思います。予算化されているマックスを使って、もっと講座の数を増やしていただきたい。意見です。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。しっかりお聞きいただいて、お願いしたいと思います。他にございますか。

○鈴木委員

谷村委員の御意見すごくいいなと思ったのですが、講座を決める時に、年齢20代から70代とか80代とか、色々な方の御意見やリクエストを聞くことは、もちろんされているのでしょうか。

○文化芸術課山崎主任主査

はい。毎年、交流センターを利用される方にアンケートをとっており、どのような講座がよろしいですか等、施設の利用や講座の内容についても、意見を頂戴しているので、参考にしながら今後もより良い講座を開催できるように努めていきたいと思っております。

○鈴木委員

ありがとうございます。

○伊藤議長

よろしいですか。他にございますか。では次スポーツ振興課6ページから9ページが対象です。これは事前のシートの御質問はありませんので、どなたか御意見、御質問ありましたらどうぞ。よろしいでしょうか。

それでは次、生涯学習推進課10ページから14ページまでを対象としますが、事前のシート質問があります。井坂委員の質問から御説明願います。

○事務局(渡辺係長)

井坂委員から、中学校の部活動に関する御質問をいただいておりますので、回答させていただきます。まず、土曜日、日曜日における地域への移行についてですが、こちらは令和7年度末までに地域移行を進めていくため、現在、企業、大学、スポーツ少年団等と連携協力を図りながら、部活動の地域移行を推進しているところです。つくば市は大きい地区ですので、学校の実情や地域の実態等を踏まえながら、複数の手だてを考えて取組みを進めていきたいと考えてい

ます。また、併せて部活動指導員の充実については、学校の要望、部活顧問の実態等によって、部活動指導員の確保と派遣も推進していく、ということで回答とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○伊藤議長

はい。よろしいですか。

○井坂委員

井坂です。この問題は、とても大きな問題だと思います。人数が多い部活動は移行ができるかもしれないけども、人数が少ない部活は消えて無くなってしまいう可能性もあるので、学校と受け皿になる社会体育、それぞれの社会教育の部分で連携しながらしっかりやっていただければと思います。よろしくお願いいたします。

○伊藤議長

はい。よろしいですか。感想をありがとうございました。それでは、続いて石黒委員から質問を受けております。御回答願います。

○生涯学習推進課福田係長

御意見ありがとうございました。動画のメリットは、場所と時間を選ばないことが挙げられます。子供と一緒に見たり、空いた時間で見ることもできる等の御意見をいただきました。今後の家庭教育学級において動画は外せないものとなってきたので、皆様の御意見を参考により良いコンテンツを作成して参ります。

講座の動画を視聴することはできますか、という御質問をいただいたのですが、視聴は可能です。動画はY o u T u b e の限定公開となっていますので、後日、各委員の皆様宛にURLを議事録と一緒に送りますので御覧いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

○伊藤議長

よろしいですか。

○石黒委員

はい、ありがとうございます。せっかくなので見てみたいと思っていたので、楽しみにしています。ありがとうございました。

○伊藤議長

はい。それでは事前の質問はすべて終わりましたので、御質問、御意見ございましたらどうぞ。はい。皆川委員。

○皆川委員

皆川です。13 ページの家庭教育支援事業についてです。取組みの目標値や参加者数も書いていただいているのですが、非常にこの取り組みは今後も広げていく必要があると考えています。できたらこの参加人数を講座ごと、例えば乳児家庭教育学級は何人、幼児家庭教育学級は何人という形で、経緯を毎年追っていったらいいと思うので、今後数字を出すように検討をお願いしたいと思います。

○生涯学習推進課福田係長

社会教育係福田です。この後の説明にもありますが、社会教育指導員の事業報告書の中に各事業の数字が挙がっているので、これも各委員に毎年お送りしていきたいと思いますので、そちらで御確認いただければと思います。よろしいでしょうか。

○皆川委員

そちらもお願いしたいのですが、この事業実績報告が全部一覧でまとまっておき、全ての事業が見ることができるので、できたら令和2年分だけではなく3年とか5年分、事業がどう変わっているのか経緯を把握するのは大事だと思うので、ここに数字を掲載していただくように検討していただきたいと思います。

○伊藤議長

比較ができるということですね。要望ということではよろしいですか。坪委員、

御質問ありますか。

○坏委員

家庭教育学級社会教育指導員事業報告の例えば 10 ページの表の見方について、一番上の小学校は、日付の 8 月 3 日が 3 つありますよね。12 月 2 日が 3 つある、ということは、この講座を同時に開催しているのか、一つずつ 20 分置き位に三つ連続して行っているのか、どういう開催方法なのかと。というのは参加人数が三つとも同じなので、どのように表を見たらいいのですか。

○生涯学習推進課福田係長

こちらはほとんどが動画の講座になっていますので、申し込み日が 8 月 3 日であれば、同時に 3 本の動画を申し込んでいただいているので、実際に見ていただいている方も同じ数字になっています。他の学校も大体同じ日にちになっていると思うのですが、その日にちに動画を複数お申し込みいただいたということです。

○坏委員

なるほど、これは 1 冊全部動画なのですか？

○生涯学習推進課福田係長

令和 3 年度なので、対面型の開催が難しかったことがありますので、ほぼ動画の報告になっています。

4 ページの色付の部分が対面で実施した講座ですので、それ以外はほぼ動画になっています。

○坏委員

そうですか、わかりました。もう一つは、家庭教育学級は、PTA の組織に入っている学校もあれば、PTA の組織は別な学校もありますよね。だいぶ開催講座数に差があるので、これは校長先生に協力は願っているのでしょうか。

○伊藤議長

はいどうぞ。

○生涯学習推進課福田係長

直接校長先生にお話しはしていません。各家庭教育学級の先生に直接お話し
て、お願いしています。

○坪委員

校長、教頭先生にもっと理解を持ってもらわないと数とか増えていかない。
だから、校長先生が集まったところで年度当初に1回位協力をしっかり依頼し
ておかないと、実質的な増え方はしていかないと思います。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。貴重な御意見だと思いますので要望も含め
てしっかり受けていただきたいと思います。

○伊藤議長

はい、どうぞ。

○皆川委員

学校で行う家庭教育学級は中々参加者が減っているのですが、講座を開くと
いう大事さもありますが、お母さん同士が横につながる機会にもなると思いま
す。横で繋がって色々な学校の疑問や不安を共有するということができると、
学校に対するクレームも多分減ると思います。どうしても不安感が増幅してし
まい、それを子供や学校に言ってしまうという感じも見受けられます。家庭教
育学級はそういう意味で非常に大事な事業だと思いますので、横の連携を広げ
ていくという意味でも、学校の校長先生にも御理解いただきながら事業を進め
ていただければと思います。

○伊藤議長

要望ということによろしいですか。

○長橋委員

市P連の長橋です。今、学校の中で横の繋がりということが出ましたが、今
年度アンケートを実施して色々な意見を集約するというのを始めたと思うの

ですが、オンラインの会議システムを使って意見交換をするという場を、何か設けたらいいのではと今思ったので、検討をお願いします。

○伊藤議長

はいどうぞ。

○生涯学習推進課福田係長

オンラインにつきましても環境は整っていますので、希望する学級があれば開くことは可能ですので、今後各学級に働きかけるようにしていきたいと思います。

○長橋委員

私の方からも周知していきたいと思います。ありがとうございます。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。鈴木委員どうぞ。

○鈴木委員

鈴木です。2点お話があります。今、坪先生の御意見すごく大事だなと思いました。私も9ページで、葛城小学校の校長先生がアニメから学ぶ家庭教育というのでお話しているのがすごくユニークだなと思ったのですが、校長先生自ら講演されているのが全く他は無くないという点と、竹園東中学校はこれだけしているのに、例えば荃崎中学校は一つだけとか、その学校による温度差というか地域の色々な意識の差かもしれないですが、10個やっている学校と一つだとちょっと差がありすぎるということがとても気になります。最低一つじゃなくて三つとか、坪先生がおっしゃったようにもう少し幅広く学校のバランスも、内容も増えたらいいのではということが1点と、もう一つは先ほどもありましたが、動画視聴は子供を持つ親は好きな時間に見られるという良い点もあると同時に、孤独な子育ての中で横との繋がりが無いのがすごく心配です。私も幾つか動画の講座の司会をする時に、L I V Eだとチャットで質問をしたり、チャットで、横でパパパッと意見することで、見ている人も参加したり、拍手の

絵文字を送ってくる若いママがいたりして、それで参加している気になるという視聴者の方もいるので、そのようなスタイルは何かされていますか。

○伊藤議長

はいどうぞ。

○生涯学習推進課福田係長

確かに各学校によって温度差があるのは、一目瞭然です。その年の役員にもよって熱心な役員もいれば、ちょっとという役員もいますので、それによってばらつきが出ております。なるべく差が出ないように今後働きかけをしていきたいと思っております。L I V Eで動画視聴は、難しい部分はありますが出来ないことはないのです、今後、御要望があれば環境がありますので、L I V Eでの動画視聴も行って参りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○鈴木委員

ありがとうございます。お願いします。

○布浦委員

参加人数の少ない点と、その内容の分析は今後必要かと思いますが、いかがでしょうか。

○伊藤議長

はい、どうぞ。

○生涯学習推進課福田係長

実際に並べてみると、各学校の温度差が非常によくわかる資料になっていますので、これからも資料を使いながらなるべく各学校で差が出ないように働きかけしていきたいと思っております。

○布浦委員

はい、ありがとうございます。

○伊藤議長

他にございますか。

○鈴木委員

情報共有する時に、例えば荃崎の中学校の方達は情報があまり無いのではないかと思います。でも竹園はたくさん持っている。だから、どこに申し込めばこういうところに連絡がつくという情報も出してあげると、情報が集まるのが少ない委員や人脈がない委員も拾えるので、そういうフォローもするともっと沢山できるのではないかと思います。

○伊藤議長

はい。御意見ということでよろしいですか。他にございますか。それでは以上で質疑は打ち切ります。大変貴重な御意見、要望、色々ございました。それを含めまして令和3年度の社会教育事業の実績報告について御承認いただけますでしょうか。

〈拍手〉

はい、ありがとうございます。報告通り決しました。それでは次の議題に移ります。令和3年度社会教育指導員の方々の事業報告書となります。10名の方が派遣され特別指導或いはチェックをされる立場の方々の実績報告ですので、これを議題といたしまして御説明いただきます。

6 (2)令和3年度社会教育指導員事業報告書について

○生涯学習推進課岩村社会教育指導員

簡単に説明させていただきます。つくば市の社会教育指導員をしております岩村と申します。よろしく願いいたします。この令和3年度指導員事業報告書というのは、1年間かけて指導員10名がそれぞれ社会教育推進事業を三つの班に分かれて、社会教育係、青少年教育係、生涯学習推進係でそれぞれ活動したものをまとめたものになります。10名の指導員が、全ての学校71学級で全ての学級を皆で手分けをして担当しています。

4ページから16ページまでが、1年間の事業報告です。これが1年間家庭教

育学級で実施されたことになるのですが、令和3年度はコロナで、ほぼ従来の対面講座を開催することができませんでした。そのため課で動画配信用の動画を作りました。それが巻末にある資料1です。資料1にでている33コンテンツを作り、この33の講座の中から各家庭教育学級の役員並びに学校の先生方、教務主任、教頭先生、或いは1年生担当の先生の3者で、講座の内容を決めて、動画の配信を月毎に行いました。動画の講師に関しては、従来、家庭教育学級で講話をしてくださった先生、或いはつくば市の生涯学習推進課の考えに賛同してくださった先生方に御依頼をして動画を収録し、こちらでYouTube化しました。月毎の配信なので、同じ月で2つ、3つの動画配信の場合は、3本の動画が、例えば7月2日、7月2日、7月2日と配信月が日にちとして上がっています。その時に選んだ動画の内容、分類とあるのは、全て五つの柱に基づいて作成していますので、人権、食育、或いはメディアという分類に当たっています。参加人数は、申し込み人数のことです。その為、学級によって17人申し込み、或いは義務教育学校は3桁になります。かなりの数の申し込みが来ていた、という見方です。令和3年度はオレンジで示したところは中でも小規模で開催できる学級は、対面形式を希望して対面でやった実績になります。それ以外のところはすべて動画配信です。やはり学級によって申込数にすごく差がでています。それをまとめたものが、それをまとめたものが巻末資料2と資料3の数字です。資料3は全ての学校の令和2年度と令和3年度の視聴数です。令和2年度が4か月間しかなかったのは、動画の作成が間に合わず配信月が11月からになりました。その為、実際に令和2年度は、11月から翌年の2月までの配信です。令和3年度は、1年間なので7月から2月までの申し込み数です。

これを見ると課題が随分多くあり、北部、中央部、南部の差を感じざるを得ないところがあります。その課題には、アンケートで、Wi-Fi環境が悪かった、それから申し込みが電子なのでIT弱者と言われていたような方々の影

響が出ているのではないかと感じざるを得ません。今年度令和4年度も動画の配信を例年通り行っていますが、今年度は対面でやりたいという学級も増えてきています。横の繋がりを取りたいことから、対面講座と動画配信のハイブリッド型で今現在行っています。この数字を追う中で、課題を浮き彫りにしてできれば地域差をなくしていくことを今後の課題として取り組んでいきたいと思っております。以上です。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。皆さんの関心の高い問題ですが、10名の方々がそれぞれの立場で御指導或いは助言を行いながら、業務を行ったという報告です。もしお伺いしたいことがございましたら、後で事務担当の方にお尋ねするということで、今日は報告で御了承いただきたい。よろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは今日の議題はすべて終了いたしました。御協力いただきましてありがとうございました。以上でマイクは事務局の方にお返しいたします。御協力ありがとうございました。

7 その他

○事務局(福田係長)

お知らせが何点かあります。10月14日の金曜日に、県の社会教育委員研修会が市民ホールとよさとで開催予定です。県南開催でつくば市が会場となりました。皆様の机の上に名刺を置かせていただきましたので、是非積極的な参加をお願いします。詳しいことは、分かり次第委員の皆様へ通知します。

○生涯学習推進課岩村社会教育指導員

講演会のチラシを置かせていただいています。10月22日(土)イーアスホールで弁護士の二井矢旬子さんの講演を依頼しています。いじめ問題は大きな人権課題でもあるので、できれば予防の方策として、親と学校が連携をとるという視点でお話いただきます。是非委員の皆様にも参加いただければと思います。

8 閉会

○事務局(澤頭課長)

それでは、皆様、大変長い間ありがとうございました。伊藤議長、ありがとうございました。以上をもちまして令和4年度第1回社会教育委員会議閉会とさせていただきます。

なお、次回第2回は来年2月中旬を予定に準備を進めさせていただきたいと考えております。委員の皆様、本日は大変ありがとうございました。

令和4年度第1回つくば市社会教育委員会議

次 第

日時 令和4年(2022年)8月22日(月)

午前10時

場所 つくば市役所 会議室203

- 1 開会
- 2 委嘱状交付式
- 3 挨拶
- 4 自己紹介
- 5 議長・副議長選出
- 6 議事 (1) 令和3年度社会教育事業の実績報告について
(2) 令和3年度社会教育指導員事業報告書について
- 7 その他
- 8 閉会

資料1 つくば市社会教育委員条例・つくば市社会教育委員会議運営規則

資料2 つくば市社会教育委員名簿

資料3 令和3年度社会教育事業の実績報告 ※事前送付

資料4 令和3年度社会教育指導員事業報告書 ※事前送付

資料 1

〇つくば市社会教育委員条例

平成 2 年 3 月 27 日

条例第 8 号

改正 平成26年 3 月 25 日条例第12号 令和 4 年 7 月 1 日条例第26号

(設置)

第 1 条 社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条の規定に基づき、社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

(委員の定数及び委嘱の基準)

第 2 条 委員の定数は、16人とする。

2 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(平26条例12・一部改正) (令 4 条例26・一部改正)

(委員の任期)

第 3 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員が委嘱されたときの要件を欠いたときは、委員の資格を失う。

(委任)

第 4 条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員設置条例の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員設置条例（昭和63年つくば市条例第62号）は、廃止する。

附 則（平成26年条例第12号）

この条例は、平成26年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 4 年条例12号）

この条例は、令和 4 年 7 月 1 日から施行する。

〇つくば市社会教育委員会会議運営規則

平成2年4月3日

教委規則第2号

改正 平成10年4月1日教委規則第9号 平成14年10月28日教委規則第15号
平成20年3月31日教委規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、つくば市社会教育委員条例（平成2年つくば市条例第8号）第4条の規定に基づき、社会教育委員（以下「委員」という。）の会議運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 委員の会議（以下「会議」という。）には、委員の互選による議長及び副議長を置く。

(平10教委規則9・一部改正)

(議長及び副議長の任期)

第3条 議長及び副議長の任期は、委員の任期中とする。

(議長及び副議長の職務)

第4条 議長は、会議を主宰する。

2 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平10教委規則9・一部改正)

(会議の招集)

第5条 会議は、必要のある場合に議長がこれを招集する。

(付議事件)

第6条 会議開催の日時及び場所は、会議に付議すべき事件とともに議長があらかじめ委員にこれを通知しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、会議招集の通知後に急施を要する事件が生じたときは、これを会議に付議することができる。

(定足数)

第7条 会議は、在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

(表決)

第8条 会議の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(説明の請求等)

第9条 委員は、会議において議事に関する職員（以下「関係職員」という。）に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の会議出席等)

第10条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(平10教委規則9・一部改正)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則（昭和63年つくば市教育委員会規則第5号）は、廃止する。

附 則（平成10年教委規則第9号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第15号）

この規則は、平成14年11月1日から施行する。

附 則（平成20年教委規則第6号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

つくば市社会教育委員名簿

任期（2年）：令和4年8月1日～令和6年7月31日

氏名順

No.	社会教育委員氏名	役職等	区分
1	坏 文雄	市図書館協議会会長	社会教育関係者
2	飯岡 宏之	市子ども会育成連合会会長	家庭教育の向上に資する活動をする者
3	井坂 孝	並木中等教育学校校長	学校教育関係者
4	石黒 澄子	一般社団法人つくば市スポーツ協会 理事	社会教育関係者
5	伊藤 達也	つくば市シルバークラブ連合会会長 元公民館運営審議会委員	社会教育関係者
6	稲葉 房子	元幼稚園長	学識経験者
7	上田 孝典	筑波大学准教授 人間系教育学域	学校教育関係者
8	金井 恵美	こども育成課放課後子供教室コーディネーター	家庭教育の向上に資する活動をする者
9	鈴木 もえみ	フリーアナウンサー	学識経験者
10	高田 正澄	筑波山地域ジオパーク推進協議会教育・学術部会員、認定ジオガイド	社会教育関係者
11	谷村 安子	県退職校長会常任理事 女性退職校長会副会長	学識経験者
12	長橋 進也	市PTA連絡協議会顧問	家庭教育の向上に資する活動をする者
13	中山 正巳	市青少年相談員連絡協議会会長	社会教育関係者
14	平野 浩之	要小学校長	学校教育関係者
15	布浦 万代	つくば市国際交流協会理事長	社会教育関係者
16	皆川 幸枝	つくば市議会議員	学識経験者

令和4年度第1回つくば市社会教育委員会議

資料3 令和3年度社会教育事業の実績報告

中央図書館
文化芸術課
スポーツ振興課
生涯学習推進課

日時 令和4年(2022年)8月22日(月)
午前10時

場所 つくば市役所 会議室203

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	中央図書館			係	管理係 サービス係		
事業名	図書館運営に要する事業						
予算額	53,025 千円			決算額	51,115 千円		
事業概要				事業実績			
目的	図書館資料の充実を図り、読書や調べ学習など市民の様々な要望に応えるべく積極的に生涯学習を支援する。			事業実績	開館日数 260日 開館時間 9:30～19:00 一部の祝日9:30～17:00 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館30日(8/18～9/22) ※電気設備改修工事に伴う停電による図書館情報システム停止のための休館(12/28)		
概要	<ul style="list-style-type: none"> 1 各種図書館事業 <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験 <ul style="list-style-type: none"> 8年生を対象とした事業 ・ジュニア図書館員 <ul style="list-style-type: none"> 4、5、6年生を対象とした事業 ・学校訪問ブックトーク <ul style="list-style-type: none"> 小中学校、義務教育学校を訪問し、本を紹介する事業 ・インターンシップの受入 <ul style="list-style-type: none"> 図書館勤務を志す大学生を対象とした事業 ・ファーストブック講座 <ul style="list-style-type: none"> 子育てに絵本を活用するきっかけをつくる事業 ・図書リサイクル <ul style="list-style-type: none"> 不用になった図書を市内公共施設や市民に還元する事業 ・広報活動 <ul style="list-style-type: none"> 公園通りの図書館通信「ヨモッカ」7,000部(年1回)及び「こどもヨモッカ」7,000部(年1回)の発行 ・ワークショップ「図書館マスターになろう」 図書館振興財団主催「図書館を使った調べる学習のサポート」プログラムに基づくワークショップ 2 図書館協議会、図書館ボランティア活動 3 図書備品 <ul style="list-style-type: none"> 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入 				<ul style="list-style-type: none"> 1 各種図書館事業 <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験(8年生対象)：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ・ジュニア図書館員(4,5,6年生対象)：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ・学校訪問ブックトーク(4年生,7年生対象)：小学校20校、中学校3校 ・インターンシップ受入れ：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ・ファーストブック講座：3月20日 4名参加、3月26日 10名参加 ・図書リサイクル(不用図書を市民に提供する事業)：11,147冊配布 ・公園通りの図書館通信「ヨモッカ」2月発行、「こどもヨモッカ」10月発行 ・ライブラリー・ピクニック：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 ・ぬいぐるみのおとまり会：12月3・4日 ・World week：11月4日～30日 2 図書館協議会：2回開催(8月、3月) 図書館ボランティア活動(166名登録、10分野のボランティアに分かれた活動) 3 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入(受入資料点数：24,386点) 		
年度	令和2年度		令和3年度		取組実績値	所蔵資料点数	483,263
取組の目標値	所蔵資料点数	490000	所蔵資料点数	490,000			
今年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問ブックトーク事業の推進 ・読書推進事業の実施 ・図書館事業の積極的なPR ・自動車図書館運行事業の充実 ・図書返却事業の充実 ・学校図書館支援事業の推進 ・これからの図書館のあり方についての検討 ・新たな移動図書館車両の導入 ・返却ポイントの増設 			目標に対する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあったが、実施方法を工夫することなどにより実施できたものにより読書推進及び図書館の利用促進を図ることができた。 ・図書館が実施している各種事業などを広報することにより、図書館に対する理解を深め、利用の促進及び、読書活動の推進が図れた。 ・図書館に来館することが難しい方へ図書館サービスを提供することができた。新たに移動図書館車両を1台導入した。新車両の運行は、令和4年度から開始する。 ・市内各所で図書を返却できるようにすることで、利用者の利便性が向上した。また、島名交流センターにブックポストを新たに設置した。 ・図書館懇話会からの提言書の内容を参考とした中央図書館施設改修計画の策定について検討を行った。 		
事業の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの事業が中止、又は縮小となった。収束が見えない中、感染症防止対策など、事業の実施に当たっての工夫が必要となる。 ・図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。令和2年度に引き続き、この提言の内容について検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。 			課題への対策	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった事業があったが、その中で実施方法を工夫することにより事業を実施し、読書推進及び図書館の利用促進を図った。</p> <p>図書館の増設を含め図書館に対する期待や要望が大きいことから、図書館懇話会からの提言書の内容を参考にしながら、中央図書館の施設改修計画を策定していく。</p>		
				次年度目標	所蔵資料点数	490,000	

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	中央図書館			係	管理係 サービス係	
事業名	オンライン地域交流センター図書館運営に要する事業					
予算額	40,405 千円			決算額	40,228 千円	
事業概要				事業実績		
目的	オンライン化されている地域交流センター図書館の業務運営を中央図書館から委託することにより、中央図書館と4か所(谷田部・筑波・小野川・荃崎)の交流センター図書館との連携強化を図り、円滑な運営と市域全体の図書館サービスの向上に資する。			事業実績	開館日数 260日(筑波は258日、小野川は245日) 開館時間 平日9:30~19:00 土・日・一部の祝日9:30~17:00 ※新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休室30日(8/18~9/22) ※空調設備工事のため、6/1~21 小野川休室 ※選挙(投票所)のため、10/31 小野川休室 ※電気設備更新工事のため、12/11・12 筑波休室 ※電気設備改修工事に伴う停電による図書館情報システム停止のための休室(12/28)	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・4交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入 ・4交流センター図書室運営業務委託 ・4交流センター図書室図書備品購入 				<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料の購入を積極的に行い蔵書数の増に努め、委託職員と連携を密にし、地域図書館サービスの向上に努めた。 	
年度	令和2年度		令和3年度		取組実績値	貸出冊(点)数 420,619
取組の目標値	貸出冊(点)数 385,000	貸出冊(点)数 385,000	貸出冊(点)数 385,000	貸出冊(点)数 420,619		
今年度の計画	中央図書館とオンライン化されている4交流センター図書室の円滑な運営と地域図書館的役割の充実を図る。			目標に対する成果	<ul style="list-style-type: none"> ・交流センター図書室と連携をとり、図書館サービスの向上に努めた。 ・新刊本の購入を増やし、不用図書の除籍を行い、利用しやすい配架に努めた。 ・地域の特色を生かした図書資料の整備が図ることができた。 	
事業の課題	平成27年度からオンライン4交流センター図書室運営業務委託を図書館が行い、新しい図書資料を増やしてきた。引き続き、市民がサービスの向上を享受できるよう各交流センター図書室の蔵書の充実を図っていく。また、地域の特色を生かした資料の整備と、委託職員との連携を図りサービスの向上を目指す。交流センター図書室によって、資料の老朽化が進んでいたり、利用者が急増していたりと状況が異なるため、資料購入費の配分の方法が課題となる。 令和3年度で1年間の運営業務委託契約期間が終了するので、現在の委託業務について検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容についても検討の上、令和4年度以降の運営業務の委託内容に反映させる必要がある。 また、予算の増額が困難な中、運営業務に必要な人材(図書有資格者)を継続して確保していくことが課題となる。			課題への対策	<ul style="list-style-type: none"> ・各図書室の蔵書について、地域の特色をいかしながら、新たな図書資料の受入数を増やし、その充実を図った。 ・各図書室の利用状況に応じた資料購入費の配分を行い、利用者の多い図書室の蔵書の充実を図った。その効果を検証し、今後の資料購入費の配分の方法を検討していく。 ・委託職員との連携を密に図り、サービスの向上に努めた。 ・各図書室の状況把握を行い、受託事業者と随時情報の共有化を図った。 	
	次年度目標	貸出冊(点)数 430,000		貸出冊(点)数 430,000		

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	文化芸術課		係	文化振興係	
事業名	つくば市民文化祭				
予算額	11,600 千円		決算額	568 千円	
事業概要			事業実績		
目的	文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに、創作意欲の向上と世代間の交流促進を目的としている。		事業実績	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、実行委員会の審議を経て市民文化祭は中止となった。 代替事業として、市民文化祭参加団体の紹介をするパンフレットを作成し、地域交流センターなどで配布した。	
概要	<p>○開催期間 11月6日(土)～7日(日) ※ノバホール音楽会は11月13日(土)～14日(日) ※荖崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、市民ホールとよさと、豊里体育館 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館 荖崎会場：荖崎交流センター、市民ホールくきざき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール</p> <p>○開催部門 【展示部門】 絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽 など 【ステージ部門】 民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンス など 【その他】 囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】 声楽・器楽</p>				
年度	令和2年度	令和3年度	取組実績値	パンフレット参加団体数	100団体
取組の目標値					
今年度の計画	三密を避けた開催様式を検討する。		目標に対する成果	市民文化祭は中止となったが紹介パンフレットを作成したことで、成果発表と情報共有に繋がり、目的とする創作意欲の向上と世代間の交流促進に一定の成果が得られた。	
事業の課題	参加者の半数以上が高齢者である。いかに若い世代の参加者を増加させるかが今後の課題となっている。		課題への対策	感染症対策を行った上で、世代を問わず多くの市民が文化祭への参加意欲をもてる企画の検討と実施。 参加申し込みの電子申請を開始し、時間の制約なく申し込みできるようにする。	
			次年度目標	来場者数	25,000人

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	文化芸術課			係	地域交流支援係	
事業名	地域交流センター講座					
予算額	5,080 千円			決算額	2,416 千円	
事業概要				事業実績		
目的	市民に学習機会を提供し、生涯学習社会の実現に寄与するため。			事業実績	5月及び9月の広報つくばで受講生を募集し、計98講座を実施した。内訳は、一般向けが80講座、高齢者向けが3講座、親子向けが15講座であった。小中学生向けの講座は企画したものの、新型コロナウイルス感染症のために中止した。 平日昼間の参加が難しい方にも対応し、夜間に2講座、土日祝日に9講座を実施した。	
概要	市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。前期講座は、46講座、定員721名で5月に募集。後期講座は、46講座、定員716名で9月に募集。					
年度	令和2年度		令和3年度		取組実績値	延受講者数 2,628名 地域交流センター講座 2,628名 高齢者学級 中止 地域コーディネーター講習会 中止
取組の目標値	延受講者数		延受講者数	1,100人		
今年度の計画	講座の内容は、高齢者・小学生・親子・女性・男性向けなど多岐にわたり企画し、土日、夜間の講座も開講する。 また、つくば市消費生活センターや消防署など他部署による普及促進講座も開講する。			目標に対する成果	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、地域交流センター前期講座及び後期講座を開催した。夜間や土日に開催する講座も企画し、利用者のニーズに広く応えるものを提供した。高齢者学級及び地域コーディネーター講習会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	
事業の課題	地域交流センター講座において、多くの参加申込がある講座がある一方で、講座申込者が少なく開催中止となる講座もある。			課題への対策	アンケート等により利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要がある。	
				次年度目標	延受講者数	2,500人

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	文化芸術課		係	地域交流支援係													
事業名	生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理																
予算額	104,901 千円		決算額	96,991 千円													
事業概要			事業実績														
目的	豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため。																
概要	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。 利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。		事業実績	<p>○利用者数（フィットネスプール、多目的ホール、研修室、会議室、視聴覚室、軽運動室、調理実習室、市民活動室、録音室、保育室、展示コーナー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総利用者数 36,940人 ・うち免除者数 19,664人（免除率 53.23%） <p>○自主事業（講座・セミナー等）</p> <p>講座開講実績（通年：プール、パソコン、外国語、料理、運動、音楽、芸術、親子、文化、伝承その他）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座数 491講座 ・延受講者数 10,092人 <p>イベント実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント数 2回 ・延参加者数 360名 <p>○アンケートの実施状況（利用者の満足度、苦情等）回収件数 2593件</p> <table border="1"> <tr> <td>施設の管理状態</td> <td>満足88.4%</td> <td>ふつう10.8%</td> <td>不満 0.7%</td> </tr> <tr> <td>施設の使いやすさ</td> <td>満足82.0%</td> <td>ふつう15.3%</td> <td>不満 2.8%</td> </tr> <tr> <td>スタッフの対応</td> <td>満足86.0%</td> <td>ふつう13.7%</td> <td>不満 0.3%</td> </tr> </table>		施設の管理状態	満足88.4%	ふつう10.8%	不満 0.7%	施設の使いやすさ	満足82.0%	ふつう15.3%	不満 2.8%	スタッフの対応	満足86.0%	ふつう13.7%	不満 0.3%
施設の管理状態	満足88.4%	ふつう10.8%	不満 0.7%														
施設の使いやすさ	満足82.0%	ふつう15.3%	不満 2.8%														
スタッフの対応	満足86.0%	ふつう13.7%	不満 0.3%														
年度	令和2年度	令和3年度															
取組の目標値	ふれあいプラザ利用者数	ふれあいプラザ利用者数	25,000人	取組実績値	ふれあいプラザ利用者数（展示コーナー含む） 36,940人												
今年度の計画	生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。			目標に対する成果	新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、利用者のニーズに沿った講座の開催やイベントの実施を行った。												
事業の課題	開館から10年以上が経過し、建物・設備とも経年劣化による修繕箇所が増えているため、計画的に改修を行っていく必要がある。			課題への対策	施設や各種設備の修繕について、計画的に実施した。												
				次年度目標	ふれあいプラザ利用者数 35,000人												

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	スポーツ振興課		係	スポーツ推進係	
事業名	スポーツ推進委員・スポーツ推進審議会委員				
予算額	3,664 千円		決算額	809 千円	
事業概要			事業実績		
目的			事業実績		
概要	<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市主催事業(つくばウォークラリー大会、つくば健康マラソン等)において係員として協力する。 ・県南スポーツ推進委員協議会研修会に参加する。 <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会において、つくば市スポーツ推進計画の進行管理の実施状況とスポーツ事業の概要について報告し、審議いただくと共に、スポーツ推進に関する施策について、委員の意見等を各種施策に反映させる。 			<p>(スポーツ推進委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ事業協力 つくばウォークラリー大会、スポーツフェスティバル、つくばマラソン大会及びつくば健康マラソン大会等の市主催事業が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、事業協力は行わなかった。 ・研修参加 県南スポーツ推進委員協議会研修会及び関東スポーツ推進委員研究大会が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、市スポーツ推進委員研修会は実施することができた。市の研修会では、スポーツフェスティバルで実施する大人のスポーツテストを行い、実際に体験しながら測定手順等を確認した。 ・会議等参加(延べ84名参加) <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月18日 第1回：スポーツ推進計画進行管理 ほか ・11月19日 第2回：辞令交付式及びスポーツ振興事業の説明 	
年度	令和2年度	令和3年度	取組実績値		
取組の目標値					
今年度の計画	<p>(スポーツ推進委員)</p> <p>市が開催するイベント等において、協力や参加をするスポーツ推進委員数：100名</p> <p>(スポーツ推進審議会委員)</p> <p>スポーツ推進審議会開催数：2回</p>		目標に対する成果	<p>(スポーツ推進委員)</p> <p>多くのイベントや研修会は中止となったが、開催できた市の研修会では自らの体力を知り、また、測定手順等を確認することで、次年度以降の事業協力を備えることができた。</p> <p>(スポーツ推進審議会)</p> <p>審議会を2回開催した。第1回審議会では、スポーツの振興や推進計画の進行管理等について、審議会委員から提言・助言を伺うことができた。</p> <p>また、スポーツ施策に市民の意見を反映するため、つくば市スポーツ推進審議会条例を改正し、初めて市民委員を選任することができた。</p>	
事業の課題	<p>(スポーツ推進委員)</p> <p>スポーツ推進委員として更なる資質の向上、活動の促進を図る。</p>		課題への対策	<p>(スポーツ推進委員)</p> <p>スポーツ推進委員の資質向上や活動の推進を図るため、市研修会を充実させる。また、令和5年4月の改選に合わせて委員選任の方法を見直す。</p>	
			次年度目標		

事務事業マネジメントシート 積算根拠

令和3年度

174 スポーツ推進委員協議会:当初予算事業計画調書②つくば市スポーツ推進委員事業				
		予算	予算(切上げ)	決算
01 報酬	スポーツ推進委員報酬	2,016,000	2,016,000	504,000
07 報償費	研修会時の指導員謝礼	31,000	31,000	0
08 旅費	費用弁償(推進委員分)	993,400	994,000	170,000
	普通旅費	5,200	6,000	0
	特別旅費	29,940	30,000	0
13 使用用及び賃借料	駐車場使用料	0	0	0
	自動車賃借料(推進委員分)	55,000	55,000	0
18 負担金補助及び交付金	関東スポ推進協議会負担金	0	0	0
	県スポ推進協議会負担金	41,600	42,000	41,600
	県南スポ推進協議会負担金	38,000	38,000	38,000
	関東スポ推進研究協議会参加費	6,000	6,000	0
	合計	3,216,140	3,218,000	753,600

175 スポーツ推進審議会事業:当初予算事業計画調書①スポーツ推進審議会事業				
		予算	予算(切上げ)	決算
01 報酬	審議会委員報酬	352,000	352,000	128,000
	理事報酬	3,600,000	3,600,000	3,600,000
08 旅費	審議会委員旅費	88,000	88,000	24,000
	理事旅費	114,400	115,000	30,750
10 需用費	食糧費(審議会分)	6,600	7,000	0
12 委託料	会議録作成委託	0	0	0
	合計	4,161,000	4,162,000	3,782,750

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	スポーツ振興課		係	スポーツ・レクリエーション係	
事業名	スポーツ大会開催				
予算額	24,661 千円 (内つくばマラソン負担金15,000)		決算額	17,158 千円 (内つくばマラソン負担金15,000)	
事業概要			事業実績		
目的	市民のスポーツへの意識高揚を図るとともに、つくば市及び全国のランナーの技術向上と交流の場を提供する。				
概要	<p>(つくばマラソン) つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が主催し、筑波大学陸上競技会場・多目的グラウンドを中心会場とした日本陸上競技連盟公認コースにおいて、42.195Kmの部、10Kmの部を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p>		事業実績	<p>(つくばマラソン) 新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のような現地にランナーを集めた形式での大会は開催できなかったが、代替として現地での大会と比べ、より参加のハードルが低いオンラインでのマラソン大会を開催した。また、オンラインマラソンの参加者への特典として、筑波大学監修のランニングレッスン動画の作成や、抽選で市内物産品の進呈等を行う等、各団体との連携も図った。</p> <p>(健康マラソン) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により大会2週間前に中止としたが、定員の設定や参加資格をつくば市内在住者に限定するなど、新たな大会様式の検討を行うことができた。</p> <p>(つくばスポーツフェスティバル) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により参加者の募集開始前に中止したが、関係団体と調整し、障害者スポーツの体験を取り入れた新たなイベント内容の検討を進めることができた。</p>	
年度	令和2年度	令和3年度	取組実績値		
取組の目標値					
今年度の計画	<p>(つくばマラソン) 今年度の大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、次の大会に向けてランナーが参加できる代替イベントを開催する。また、来年度の開催に向けて、引き続き、感染症対策を踏まえた大会運営について検討していく。</p> <p>(健康マラソン) 新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、「ランナーに愛されるまちの実現」の取組の一環とし、気軽に参加できる大会を開催する。</p>		目標に対する成果		
事業の課題	<p>(つくばマラソン) 雨天時を含め、新型コロナウイルス感染症感染防止策を講じた会場の見直しやレイアウトの変更等の検討をおこなう。</p> <p>(健康マラソン) 新型コロナウイルス感染症感染防止策を講じた運営方法や会場レイアウトの検討をおこなう。</p>		課題への対策	感染症感染拡大期の開催は、国の方針、市の方針などに沿った対策を講じて実施する。	
			次年度目標		

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	スポーツ振興課		係	スポーツ・レクリエーション係	
事業名	スポーツ教室開催				
予算額	3,356 千円		決算額	1,613 千円	
事業概要			事業実績		
目的	スポーツ教室を開催することにより、市民スポーツ振興の啓発、市民同士が交流できる環境の提供及び市民の健康づくりを図る。		事業実績	13教室の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により、6教室（ランニング／スラックライン／車いすバドミントン／子どものスポーツ体験教室（高学年）／車いすバスケ／ヨガ（親子））を中止し、7教室（テニス／体幹／トレイルラン／バドミントン／スプリン／ヨガ（シニア）／スポーツ体験（低学年））を開催し、感染症対策を講じた教室運営のノウハウを蓄積することができた。	
概要	市民を対象に、市報・つくば市HP・facebook等で募集を行い教室を開催する。				
年度	令和2年度	令和3年度	取組実績値		
取組の目標値					
今年度の計画	新型コロナウイルス感染症への感染対策を実施するとともに、様々な種類のスポーツ教室を広く開催し、より多くの市民がスポーツに触れる機会を提供する。		目標に対する成果		
事業の課題	参加者も含めた市民の意見を参考に、より多くの市民がスポーツを始めるきっかけづくりとなる教室を取り入れていく。		課題への対策	感染防止対策を講じたうえで教室を開催する。市民がスポーツを始めるきっかけづくりとなる教室かどうかの効果を、民間も含めたスポーツ教室事業の現状や教室の参加者アンケートなどから把握し、改善につなげていく。	
			次年度目標		

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課				係	青少年教育係	
事業名	青少年健全育成事業						
予算額	6,033 千円				決算額	3,399 千円	
事業概要				事業実績			
目的	つくば市青少年相談員(60人)が中心となり青少年の非行防止や青少年健全育成のための事業を展開する。				事業実績	○青少年相談員の活動 ・あいさつ・声かけ運動(個人活動)1,368回 ※新型コロナウイルス感染症拡大により、団体での活動を行わず、個人で活動したため、実施数が大幅に増加した。 学校の状況や要望の把握 ・「青少年の健全育成に協力する店」訪問登録活動 A区分登録店舗数(203店舗) ・広報誌「相談員だより」年1回発行 ◇新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止 ・まつりつくばでの啓発活動(8月24日・25日) ・薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ・地区巡回パトロール ・学校と相談員の情報交換会を実施(6月～8月) ○補助金交付事業 市子ども会育成連合会：1団体 青少年を育てるつくば市民の会：4団体(大穂、豊里、谷田部、荃崎)	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動(7月～12月実施) ・学校訪問(6月～7月実施) 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動(通年) 市内小・中学校及び高校において実施 ・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会 						
年度	令和2年度		令和3年度		取組実績値	あいさつ・こえかけ運動実施数	1,368回
取組の目標値	あいさつ・声かけ運動実施数	120回	あいさつ・こえかけ運動実施数	120回			
今年度の計画	あいさつ・声かけ運動実施数：120回 「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動を積極的に推進していく。				目標に対する成果	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、あいさつ・声かけ運動を各個人で実施したため、目標数を大幅に超える実施回数となった。訪問活動実施店舗について、累計390店舗、うち新規の登録は2店舗で青少年健全育成に意識を高めることができた。	
事業の課題	青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施する。				課題への対策	青少年相談員が、青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。	
					次年度目標	あいさつ・こえかけ運動実施数	120回

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課		係	青少年教育係	
事業名	青少年体験学習事業				
予算額	1,208 千円		決算額	289 千円	
事業概要			事業実績		
目的	青少年の自主的な活動や体験を行い、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、学外の体験学習を通して社会力を育成するために事業を推進する。		事業実績	<p>○青少年体験学習事業 「ロボットを指令どおり動かそう!」 ※茨城県独自の緊急事態宣言が発令されたため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止した。(期日: 8月6日(金))</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の居場所利用者数 1,040人</p> <p>○この指と一まれ!事業 茨城県独自の緊急事態宣言が発令されたため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、8月11日(水)にオンラインでキックオフ・説明会を行い、10月31日(日)ドリームフェスタを開催 (SDGsクイズ、チアダンス、ボッチャ、ヨガ)</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 交付団体数 6 団体</p>	
概要	<p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。 期日: 8月6日(金) 午前・午後2回実施予定 対象: つくば市の4年生から9年生 協力団体: つくば工科高等学校</p> <p>○この指と一まれ!事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現たいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。また、毎月1回社会教育指導員が青少年の活動の相談対応・支援を行う。さらに居場所事業の周知のために特別開催日を設定した。</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金</p>				
年度	令和2年度		令和3年度		
取組の目標値	青少年体験学習事業参加者数	24人	青少年体験学習事業参加者数	24人	取組実績値 青少年体験学習事業参加者数 0人
今年度の計画	青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。		目標に対する成果	「この指と一まれ!」事業では、青少年たちが企画を考え、企画を実現することができたことで、企画計画力、コミュニケーション力、チームワークが培われ、「社会力」の育成に繋げることができた。	
事業の課題	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、感染防止対策を行い、青少年が自主的な活動や体験ができるよう、事業の展開を図る。		課題への対策	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、参加人数を減らしたり、密にならないよう距離をおき、感染防止対策を行い、事業を行った。併せて、安全に事業ができるよう対策を行った。	
			次年度目標	青少年体験学習事業参加者数	24人

令和3年度 社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課			係	青少年教育係	
事業名	つくば市成人の集い事業					
予算額	5,027 千円			決算額	7,989 千円	
事業概要				事業実績		
目的	次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝い、社会の一員としての自覚と責任感を育成するとともに、日頃学業などでつくば市を離れている新成人全体の交流の機会として、成人の集いを開催する。			事業実績	新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、密にならないよう席を空け、式典を4回に分け開催。 茨城県知事の要請により、出席者には新型コロナウイルスワクチン2回接種済み証明又は、PCR検査等での陰性証明が必要となったことから、対応策として会場において、水素燃料電池バス「SORA」をベースにした感染症対策システムを備えた災害医療モビリティ内でPCR検査を実施した。また接種状況確認所を設け、市内在住の新成人の接種状況を確認した。 ○期 日 令和4年(2022年)1月9日(日)、10日(祝) ○会 場 つくばカピオ ○参加者 1,621人 ○式 典 午前の部 午前11時00分から午前11時30分まで 午後の部 午後2時30分から午後3時00分まで ※2日間4回に分けて、式典を開催 ○アトラクション 森と林 後日、来場できなかった新成人のために、式典動画を年度末まで配信した。	
概要	市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。 ○主 催 つくば市・つくば市成人の集い実行委員会 ○期 日 令和4年(2022年)1月9日(日)、10日(祝) ○会 場 つくばカピオ アリーナ ○該当者 平成13年(2001年)4月2日～ 平成14年(2002年)4月1日生まれの方 対象者数 約2,800人					
年度	令和2年度		令和3年度		取組実績値	参加者数 1,621人
取組の目標値	参加者数	1,500人	参加者数	1,500人		
今年度の計画	式典を円滑に進行すること。			目標に対する成果	社会の一員として、自覚を促す機会が図れた。 つくば警察署の協力を得て、「式典会場内外の警備体制」や違法車両対策、参加者の安全確保を図ることができ、円滑な式典運営に寄与した。	
事業の課題	新型コロナウイルス感染症の終息が見えないことから、感染症感染拡大防止対策を慎重に行う必要がある。			課題への対策	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、入場にあたり、マスク着用の徹底、検温、手指消毒後の入場を徹底的にした。また、入場後密にならないよう、着座できる席を限定した。	
				次年度目標	参加者数	1,500人

令和3年度社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課			係	社会教育係	
事業名	家庭教育支援事業					
予算額	1,890千円			決算額	1,232千円	
事業概要				事業実績		
目的	家庭教育学級の実施			事業実績	各市立幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校家庭教育学級（通年） 吉沼祖父母学級（通年） 大穂、吾妻、みどりの乳児家庭教育学級（春学級、秋学級、冬学級） 竹園、ゆかりの森幼児家庭教育学級（10月） 令和3年度第1回社会教育講演会（10/23） ・日本体育大学教授 野井 真吾 氏 令和3年度第2回社会教育講演会（3/5） ・社会調査支援機構チキラボ所長 荻上 チキ 氏 家庭教育講話（入学説明会時、就学前検診時） 社会教育講座 ・保育所 ・親子講座 ・企業 ・科学技術振興課共催	
概要	<p>家庭教育の推進のために社会教育指導員を配置し、幼稚園や小・中学校での家庭教育学級において、親としての資質の向上を図るための事業を実施する。</p> <p>乳幼児期の家庭教育の充実のため、乳児家庭教育学級を市内3か所、幼児家庭教育学級を2か所計画し、保育所における社会教育講座を9か所で実施する。社会教育講演会を年2回開催し、学級の枠を超え、市内在住、在勤、在学者への学習機会を設ける。</p> <p>なお、今年度も新型コロナウイルス感染症対策をとり、講座や講演会の開催は、会場の参加人数を制限し、オンラインや動画配信を実施する。</p> <p>小・中学校の就学時健診や入学説明会において家庭教育セミナーを開催していたが、コロナ禍によりセミナー実施が困難であったため、新たに動画を作成し、家庭教育に関する学習機会の拡充を図る。</p>					
年度	令和2年度		令和3年度		取組実績値	家庭教育学級 参加者数 10,139人
取組の目標値	家庭教育学級 参加者数 20,500人	家庭教育学級 参加者数 10,500人				
今年度の計画	コロナ禍での家庭教育学級の開催			目標に対する成果	参加者数が目標値に届かなかったが、安全な学級運営を優先し、学びの機会を提供することができた。	
事業の課題	主に動画を視聴するだけの学習になってしまい、振り返りの機会がないため、学習の効果が表れにくい。			課題への対策	家庭教育動画を視聴した参加者へアンケートを実施し、集計した結果を参加者に公表し、自身との共感や違いを考えることで、学習効果を感じてもらう。	
				次年度目標	家庭教育学級 参加者数 10,500人	

令和3年度社会教育事業の実績報告

担当課	生涯学習推進課			係	社会教育係	
事業名	生涯学習施設管理					
予算額	29,459千円			決算額	29,329千円	
事業概要				事業実績		
目的	施設の適切な維持管理			事業実績	○市民研修センター 講座の実施（前期，夏期，後期，新春） ・自力整体講座 ・週末のヨガ講座 ・初心者のパソコン講座 ・アビ先生と英語で遊ぼう ・木彫り仏像創作講座 ・スマホタブレット講座 夏休み子どもイベント ・おもしろ理科実験 ○さくら民家園 ひな人形展示（2月～3月上旬）	
概要	生涯学習社会の実現に寄与するためつくば市市民研修センター（北条）の指定管理を行う。また、郷土に対する理解、伝統文化の継承などを目的として、古民家を有するさくら民家園（中央公園）の維持管理を行う。 市民研修センターにおいては、利用団体合同発表会、夏休み子どもイベントなど多種多様なイベントを実施。さくら民家園においては、2～3月にかけてひな飾りを展示する。					
年度	令和2年度		令和3年度		取組実績値	施設利用人数 来園者数 14,558人 5,122人
取組の目標値	施設利用人数	35,000人	施設利用人数	35,000人		
	来園者数	7,000人	来園者数	7,000人		
今年度の計画	利用者への感染拡大防止対策			目標に対する成果	利用人数、来園者数は目標値に届かなかったが、施設でクラスターを発生させることなく運営ができた。	
事業の課題	コロナ禍において利用者数増加は困難であるが、施設ごとの利用ガイドラインに従い、感染拡大防止に配慮しながら安全に利用してもらうことが最優先になる。			課題への対策	今後も利用者に検温、手指消毒、マスク着用をお願いし、感染拡大防止に努める。	
				次年度目標	施設利用人数 来園者数 35,000人 7,000人	

担当課	生涯学習推進課			係	生涯学習推進係	
事業名	科学教育推進事業					
予算額	2,327千円			決算額	1,908千円	
事業概要				事業実績		
目的	数多くの研究所を有し、多数の研究者が研究に取り組む地域資源を生かして、子供たちの科学への関心を高める。					
概要	<p>① つくば科学出前レクチャー事業 学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究者等と連絡調整し、現役研究者等を専門テーマの講師として派遣する。</p> <p>② つくばちびっ子博士事業 科学技術に触れ科学への関心を高めることを目的に、小中学生が研究機関等をクイズラリーにより巡る。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル事業 市内の各学校や、研究機関等が科学実験等を出展し、楽しみながら科学や理科への興味・関心を高めさせる。</p>			事業実績	<p>① つくば科学出前レクチャー事業 新型コロナウイルス感染症による学校の休校により、通常の授業を優先するなどにより、実施回数は令和2年度よりも減となった。 【実績】 実施回数2回(前年度6回) 参加者数 61人(前年度239人)</p> <p>② つくばちびっ子博士事業 新型コロナウイルス感染症の影響下でも事業が実施できるよう、新たに動画配信を行うなどの取組を実施した。現地見学は、茨城県からの感染拡大市町村の指定を受け、7月30日以降中止としたため、大幅な減となった。 【実績】 来場者数(延べ) 7,112人(令和元年度 134,506人) (※動画再生回数(延べ) 53,258回)</p> <p>③ つくば科学フェスティバル事業 開催内容を見直し、隔年開催としたことを受け令和4年度の開催に向けた検討を行った。</p>	
年度	令和2年度		令和3年度		項目	実績
取組の目標値	①講座実施回数	15回	①講座実施回数	15回	①講座実施回数	2回
	②パスポート提出者数	4,500人	②パスポート提出者数	5,000人	②パスポート提出者数	2,335人
	③科フェス来場者数	17,000人	③科フェス来場者数	17,000人	③科学フェスティバル来場者数	0人(開催しない年度のため)
今年度の計画	子供たちの科学への興味、関心が高められるような取り組みとする。			目標に対する成果	科学出前レクチャー事業では、学校の休校等の影響により当初計画から大幅な減であったが、オンライン会議システムを利用するなど、新たな活動が展開できた。また、つくばちびっ子博士では、動画配信を実施したことにより、多くの児童生徒が家にいながら参加できた。	
事業の課題	いずれの事業も、多くの子供たちが1つの場所に集まる性質を持つ事業であるため、新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じる必要がある。 各事業は、学校の協力が不可欠であることから、学校の教職員の負担とならないような事務フローを検討する。					
	課題への対策				<p>① つくば科学出前レクチャー事業 オンライン会議システムの利用可否を調査項目に加えるなど、オンライン対応を強化するほか、従前学校が行っていた事務負担を軽減する等の措置を講じる。</p> <p>② つくばちびっ子博士事業 引き続きオンラインで開催するとともに、現地開催にあたっては県からの指針を徹底するよう、協力機関に周知する。パスポートの回収は、学校側の事務が最小限となるよう事務フローの抜本的見直しを図る。</p> <p>③ つくば科学フェスティバル事業 従前、学校取りまとめで行っていた標語の募集を市で取りまとめるなど、負担軽減に努める。</p>	
	次年度目標				<p>①講座実施回数 15回</p> <p>②パスポート提出者数 5,000人</p> <p>③科学フェスティバル来場者数 17,000人</p>	

令和3年度

社会教育指導員事業報告書



つくば市教育局生涯学習推進課

つくば市社会教育指導員



目次

I つくば市社会教育指導員	1
1 職務	
2 社会教育指導員とは	
II 社会教育指導員推進事業	1
1 家庭教育学級	
2 社会教育講演会	
3 家庭教育講話(セミナー)	
III その他	3
1 青少年居場所事業	
2 市民部から教育局への移管について	
3 嘱託職員から会計年度任用職員へ	
IV 今年度の実施事業報告	
1 家庭教育学級事業一覧	4
2 社会教育班 活動報告	
1 乳児家庭教育学級(春学級・秋学級・冬学級)	22
2 幼児家庭教育学級.....	24
3 社会教育講座 保育所編.....	25
4 社会教育講座 親子講座編(家庭の日).....	29
5 社会教育講座 企業編.....	31
6 社会教育講座 科学技術振興課共催事業.....	32
7 第1回 社会教育講演会.....	34
8 第2回 社会教育講演会.....	35
9 家庭教育講話(家庭教育セミナー)実施一覧.....	36
10 家庭教育講話動画作成.....	37
11 社会教育指導員スキルアップ研修	39
3 青少年教育班 活動報告	
1 青少年体験学習事業「この指と〜まれ!」事業	40
2 青少年体験学習事業「夏休みイベント」.....	43
3 青少年の居場所事業.....	44
4 生涯学習推進班 活動報告	
1 障害者のための生涯学習講座.....	47
5 社会教育指導員体制.....	49
6 編集後記	50

I つくば市社会教育指導員

I 職務

- (1) 生涯学習・社会教育の特定分野についての直接指導
- (2) 生涯学習・社会教育に係る学習相談
- (3) 社会教育団体の育成及びその事務
- (4) その他任命権者の指示する事項

(「つくば市会計年度任用職員(社会教育指導員)に関する内規」より)

2 社会教育指導員とは

- (1) つくば市教育局に所属する会計年度任用職員である。
- (2) 令和3年度は10名の社会教育指導員が、生涯学習推進課に配属されている。
- (3) 生涯学習推進課で社会教育指導員は、家庭教育学級の指導・助言のほか、3つの係に分かれてそれぞれの事業の業務を行う。

- ①社会教育班 (社会教育、家庭教育事業に関する情報収集と企画運営)
- ②青少年教育班 (青少年体験事業、居場所事業)
- ③生涯学習推進班 (障害者のための生涯学習講座の推進、生涯学習事業)

II 社会教育指導員推進事業

I 家庭教育学級

社会教育指導員は、各家庭教育学級(表1)で、学習内容に偏りがないように「学習の5つの柱」に沿って講座を企画するよう指導・助言する。

1	子どもの心身の理解とその発育
2	メディア学習
3	人権学習
4	食育
5	伝統文化の伝承

令和3年度家庭教育学級開設状況 (表1)

学級の種類	学校数	家庭教育学級開設数
幼稚園	16	16
小学校	29	29
中学校	12	12
義務教育学校	4	3
祖父母学級		1
乳児学級		9
幼児学級		2
全合計		71

(1) 幼稚園 小学校 中学校 義務教育学校

家庭の教育力を高めるために、昭和47年（旧桜村）から保護者による「自主企画・自主運営」の学習の場である家庭教育学級が開設されている。当初は県より派遣された社会教育主事が中心になって開設の助言を行ってきたが、昭和49年より主に社会教育指導員がその役割を担っている。

(2) 乳・幼児家庭教育学級

乳幼児を持つ親が、子育てや家庭教育の在り方について学ぶ学級である。昭和56年「子育てについて考える」という竹園公民館講座、そして昭和57年「竹園若いミセスの講座」を母体に誕生以来、15,000人を超える親子が巣立っている。令和元年度より、子どもの発達課題の違いから乳児家庭教育学級と幼児家庭教育学級に分けて実施することとした。

(3) 祖父母学級

県下唯一の祖父母家庭教育学級が吉沼小学校に1学級開設されている。

2 社会教育講演会

社会教育講演会は、乳幼児から思春期までの子どもを持つ保護者や一般市民を対象に、実施する。託児の開設、手話通訳付で行い、年に2回開催とする。令和元年度より、より幅広いテーマを取り上げるために家庭教育講演会を改め、社会教育講演会とし、子どもや青少年を取り巻く現代的課題について理解を深める学習機会である。

3 家庭教育講話(セミナー)

「すべての保護者を対象に情報の提供」との考えから、平成19年度より市内小学校の就学時健康診断・入学説明会等を利用して家庭教育の重要性を伝え平成23年度からは中学校、平成25年度からは公立幼稚園においても実施されるようになった。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止から、幼稚園、小・中・義務教育学校での家庭教育講話が、中止あるいは動画配信に切り替わるケースが後半特に増えた。

Ⅲその他

1 青少年居場所事業

近年地域社会では、青少年の居場所や活動の場が少なくなってきたり、地域が青少年との関わりを持つ機会が減少してきている。このような状況が青少年に与える影響は大きく子どもたちの成長期に必要な体験や経験の欠如につながっている。このような時代背景の中で、青少年にとってふさわしい「青少年居場所づくり」を、つくば市においても平成25年度より、つくば市生涯学習推進基本計画に盛り込み、地域交流センターにおいて事業の推進を図っている。

2 市民部から教育局への移管について

平成20年4月1日より、生涯学習・社会教育に関する所掌を補助執行により市民部文化芸術課が所管し、つくば市教育委員会が任命する社会教育指導員(当時嘱託職員)についても市民部の所管施設である地域交流センターに配置され、文化芸術課が所管してきた。平成30年4月1日から、行政組織改編により、生涯学習、社会教育に関する所掌の市民部での補助執行を廃し、教育局(生涯学習推進課)に移管となった。

3 嘱託職員から会計年度任用職員へ

地方公務員法の改正に伴い、令和2年4月1日より新たに設けられた非常勤職員制度会計年度任用職員の導入により、社会教育指導員も嘱託職員から会計年度任用職員に移行した。

令和3年度 家庭教育学級事業一覧

事業一覧表の記載について

講座分類: つくば市では、学級活動を5項目(基本の柱)に分類しています

1 子どもの心身の理解とその発育 2 メディア学習 3 人権学習 4 食育 5 伝統文化の伝承

令和3年度もコロナ禍のため、一部対面講座を実施した学級もあつたが、ほとんどの家庭教育学級は動画配信となった。

○幼稚園家庭教育学級 : 16学級 対象年齢: 4歳児 5歳児 対面で実施講座

学級名	大穂幼稚園	主対象学年: 全学年	学級生数: 34 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	救急講習～子ども編～	1	救急救命士	24
8/3	親子で高めるレジリエンス～立ち直る力～イライラしても失敗しても大丈夫! I'm OK. You're OK. We are OK!	1	東京大学大学院医学系特任助教	24
8/3	保護者から子どもへ「性の話し」 幼児から小学校低学年まで	3	助産師	24
12/8	上手にケアしてむし歯予防	1	大穂保健センター	27

学級名	上郷幼稚園	主対象学年: 全学年	学級生数: 19 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/1	メディアの危険を知って、安心安全な子育てを!	2	茨城県地域活動連絡協議会会長	20
12/2	食育	4	社会教育指導員	20

学級名	谷田部幼稚園	主対象学年: 全学年	学級生数: 145 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	家庭教育講話	1	社会教育主事 社会教育指導員	33
8/3	救急講習 ～子ども編～	1	救急救命士	33
11/2	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	24
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	24
1/6	わらべうたと手遊び(幼児編)	5	わらべうたの会つくご主宰	22
1/6	少し先に迎える思春期に心の問題を起こさないような 幼少期の子育てについて	1	東京都スクールカウンセラー	22

学級名	手代木南幼稚園	主対象学年: 全学年	学級生数: 18 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	家庭教育講話	1	社会教育主事 社会教育指導員	3
8/3	救急講習～子ども編～	1	救急救命士	3
8/3	子どもの健康と食生活～からだところの成長メシ～	4	筑波大学体育系准教授	3
11/2	少し先に迎える思春期に心の問題を起こさないような幼少期の 子育てについて	1	東京都スクールカウンセラー	4
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	4
11/2	答えられますか?子どもからの「性」の質問 (幼児から小学校低学年編)	1	助産師	4

学級名	松代幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 90 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	親子で高めるレジリエンス～立ち直る力～イライラしても失敗しても大丈夫! I'm OK. You're OK. We are OK!	1	東京大学大学院医学系特任教授	40
11/2	正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～	2	情報リテラシー講師	20

学級名	二の宮幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 41 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/2	意欲を上げる食生活～やる気UPメシ～	4	筑波大学体育系 准教授	23
7/2	子どもの救命救急	1	つくば市消防本部	23
7/2	子どもの自己肯定感を高める子育て	1	筑波大学医学医療系 准教授	23
11/2	わらべうたと手遊び(幼児編)	5	わらべうたの会つくご主宰	15
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	15

学級名	東幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 19 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1.寝ること・食ること・体を動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	10
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう2. ストレスフリーな 家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医	10
12/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	10

学級名	島名幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 43 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/2	意欲を上げる食生活～やる気UPメシ～	4	筑波大学体育系准教授	16
7/2	子どもの健康と食生活～からだところの成長メシ～	4	筑波大学体育系准教授	16
7/2	子どもの自己肯定感を高める子育て(1)子どもへの関わりの大原則 (2)親がついてしまうNGな対応(3)子どもの特性に合った対応	1	筑波大学医学医療系准教授	16
11/2	少し先に迎える思春期に心の問題を起こさないような 幼少期の子育てについて	1	東京都スクールカウンセラー	7
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	7

学級名	桜幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 38 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
9/2	家庭教育講話	1	社会教育主事 社会教育指導員	11
1/6	救急講習～子ども編～	1	救急救命士	8
1/6	答えられますか?子どもから「性」の質問 (幼児から小学校低学年編)	3	助産師	8

学級名	竹園東幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 25 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
12/2	少し先に迎える思春期に心の問題を起こさないような 幼少期の子育てについて	1	東京都スクールカウンセラー	15
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう ストレスフリーな家庭生活のためペアレンティングを学ぼう	3	文教大学教授 小児科医	15

学級名	竹園西幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 33 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/2	わらべうたと手遊び(幼児編)	5	わらべうたの会つくんこ主宰	17
7/2	子どもの自己肯定感を高める子育て	1	筑波大学医学医療系准教授	17
7/2	保護者から子どもへ「性的話」幼児から小学校低学年まで	3	助産師	17

学級名	桜南幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 26 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/2	わらべうたと手遊び(幼児編)	5	わらべうたの会つくんこ主宰	12
7/2	子どもの健康と食生活～からだどこころの成長メシ～	4	筑波大学体育系准教授	12
7/2	体罰等によらない子育てを上げよう! ～みんなで育児を支える社会に～	3	社会福祉士	12

学級名	吾妻幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 20 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/2	お家で伝える性教育(幼児編)	3	思春期保健相談士	14
7/2	子どもの自己肯定感を高める子育て	1	筑波大学医学医療系准教授	14
7/2	自尊心をどう理解し育むか	1	日本ウェルネススポーツ大学教授	14
8/3	ICT時代 子どもたちに必要なことは!	2	NPO法人 子どもとメディア関東事務局長	5
8/3	いのちを学ぶ・いのちを考える	3	日本ウェルネススポーツ大学教授	5
8/3	保護者から子どもへ「性的話し」幼児から小学校低学年まで	3	助産師	5
9/2	救急講習～子ども編～	1	救急救命士	7
9/2	親子で高めるレジリエンス～立ち直る力～	1	東京大学大学院医学系特任助教	7
11/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう	1	文教大学教育学部教授	10
11/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食べること・からだを動かうことが基本です	1	文教大学教育学部教授	10
12/2	正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～	2	情報リテラシー講師	7
12/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	7

学級名	筑波幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 33 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/2	意欲を上げる食生活～やる気upめし～	4	筑波大学体育系准教授	22
11/12	家庭生活における防災対策及び子どもの救急対応	1	つくば市北消防署救急救命士 筑波分署機関員	18

学級名	高崎幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 22 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/2	子どもの救命救急	3	救急救命士	9
7/2	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	9

学級名	岩崎幼稚園	主対象学年:全学年	学級生数: 17 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/2	救急講習～子ども編～	1	救急救命士	14
1/5	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	10

○小学校家庭教育学級 : 29学級

学級名	前野小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 20 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	自尊感情をどう理解し育むか	1	日本ウェルネススポーツ大学教授	7
8/3	保護者から子どもへ「性の話し」 小学校高学年から	3	助産師	7
8/3	保護者から子どもへ「性の話し」 幼児から小学校低学年まで	3	助産師	7
12/2	正しい脳育のための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食ること・からだを動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	5
12/2	正しい脳育のための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医	5

学級名	要小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 114 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	親子で高めるレジリエンス～立ち直る力～イライラしても失敗しても大丈夫! I'm OK. You're OK. We are OK	1	東京大学大学院医学系特任教授	6
1/6	正しく怖がるインターネット～事前に学ぶ情報モラル～	2	情報リテラシー講師	2

学級名	大曽根小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 114 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	保護者から子どもへ「性の話し」 幼児から小学校低学年まで	3	助産師	33
11/2	正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～	2	情報リテラシー講師	13
1/6	救命救急 ～子ども編～	1	救命救急士	16

学級名	上郷小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 45 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/16	1年生の学校生活と親の関わり	1	上郷小学校	16
11/2	絶対に失敗しないスマホの使い方	2	情報リテラシー講師	6

学級名	今鹿島小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 18 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	6

学級名	沼崎小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 64 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
11/2	正しく怖がるインターネット	2	情報リテラシー講師	7
2/2	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	6

学級名	谷田部小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 526 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	救急救命 ～子ども編～	1	救急救命士	31
8/3	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	31
8/3	正しく怖がるインターネット ～事例に学ぶ情報モラル～	2	情報リテラシー講師	31
12/2	わらべうたと手遊び	5	わらべうたの会つくんこ主宰	12
12/2	無駄なく、楽しく、健康な食事づくりのヒント	4	つくば国際大学准教授	12
2/2	少し先に迎える思春期に心の問題を起こさないような幼少期の子育てについて	1	東京都スクールカウンセラー	11
2/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	11

学級名	谷田部南小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 60 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	家庭教育講話	1	社会教育主事 社会教育指導員	10
8/3	子どもの自己肯定感を高める子育て	1	筑波大学医学医療系准教授	10
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	2

学級名	柳橋小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 11 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	意欲を上げる食生活 ～やる気Upメシ～	4	筑波大学体育系准教授	3
12/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	3

学級名	手代木南小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 250 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
11/2	少し先に迎える思春期に心の問題を起こさないような幼少期の子育てについて	1	東京都スクールカウンセラー	60
11/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医	60
11/2	答えられますか?子供からの「性」の質問 (幼児から小学校低学年編)	1	助産師	60

学級名	松代小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 450 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
11/2	家庭教育講話	1	社会教育主事 社会教育指導員	36
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	36
2/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食ること・からだをうごかすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	23
2/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医	23

学級名	葛城小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 362 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	親子で高めるレジリエンス～立ち直る力～イライラしても大丈夫! I'm OK. You're OK. We are OK!	1	東京大学大学院特任教授	52
11/18	アニメから学ぶ家庭教育 「サザエさん」「ちびまる子ちゃん」から家族を考えてみよう	1	葛城小学校校長	39
2/2	答えられますか?子供からの「性」の質問 (幼児から小学校低学年編)	1	助産師	53
2/2	答えられますか?子どもからの「性」の質問 (幼児から小学校低学年編)	1	助産師	53

学級名	二の宮小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 415 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
12/2	救命講習～子ども編～	1	救急救命士	71
12/2	答えられますか?子どもからの「性」の質問 (幼児から小学校低学年編)	1	助産師	71
12/2	答えられますか?子どもからのせ「性」の質問 (中高学年以上編)	1	助産師	71
1/6	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	56
1/6	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食ること・からだをうごかすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	56
1/6	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医	56

学級名	東小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 473 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
1/6	子どもが求める子どもの居場所～いじめの問題を考える～	3	NPO法人ストップいじめ!ナビ副代表	11
1/6	子どものからだところの今 ～子どものからだの”おかしさ”を科学する～	1	日本体育大学教授	11
1/6	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	11

学級名	小野川小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 237 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
1/6	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食ること・体を動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	17
1/6	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医	17

学級名	真瀬小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 21 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	お家で伝える性教育(二次性徴編)	3	思春期保健相談士	7
8/3	子どもの自己肯定感を高める子育て	3	筑波大学医学医療系准教授	7
8/3	保護者から子どもへ「性の話し」幼児から小学校低学年まで	3	助産師	7
12/2	子どもが求める子どもの居場所～いじめの問題を考える～	3	NPO法人ストップいじめ!ナビ副代表	4
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食すること・からだを動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	4
12/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	4

学級名	島名小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 131 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	意欲を上げる食生活～やる気UPメシ～	4	筑波大学体育系准教授	18
8/3	家庭教育講話	1	社会教育主事 社会教育指導員	18
8/3	子どもの自己肯定感を高める子育て	1	筑波大学医学医療系准教授	18
11/2	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	9
11/2	正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～	2	情報リテラシー講師	9

学級名	栄小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 59 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
11/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食すること・からだを動かすことが基本	1	文教大学教授 小児科医	11
11/2	正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～	2	情報リテラシー講師	11

学級名	九重小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 40 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	救急講習～子ども編～	1	救急救命士	12
8/3	保護者から子どもへ「性の話し」小学校高学年から	3	助産師	12
8/3	保護者から子どもへ「性の話し」幼児から小学校低学年まで	3	助産師	12
12/2	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	6
12/2	体罰等によらない子育てを上げよう! ～みんなで育児を支える社会に～	3	社会福祉士	6

学級名	栗原小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 60 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	救急講習～子ども編～	1	救急救命士	14
8/3	親子で高めるレジリエンス～立ち直る力～	1	東京大学大学院医学系特任助教	14
11/2	子どもが求める子どもの居場所～いじめの問題を考える～	3	NPO法人ストップいじめ!ナビ副代表	28
11/2	答えられますか?子どもからの「性」の質問 (幼児から小学校低学年編)	3	助産師	28

学級名	竹園東小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 701 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/2	ICT時代 子ども達に必要なことは!	2	NPO法人 子どもとメディア関東事務局長	52
7/2	コロナ禍で子どもはどんなストレスを受けてきたか	3	NPO法人ストップいじめ!ナビ副代表	52
7/2	自尊感情をどう理解し育むか	3	日本ウエルネススポーツ大学教授	52
11/2	救急講習~子ども編~	1	救急救命士	34
11/2	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	34
11/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう! 寝ること・食ること・かたを動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	34

学級名	竹園西小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 638 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	子どもの健康と食生活~からだところの成長メシ~	4	筑波大学体育系准教授	28
8/3	親子で高めるレジリエンス~立ち直るカ~ イライラしても失敗しても大丈夫!	3	東京大学大学院医学系特任助教	28
8/3	正しく怖がるインターネット~事例に学ぶ情報モラル~	2	情報リテラシー講師	28

学級名	並木小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 369 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	子どもの健康と食生活~からだところの成長メシ~	4	筑波大学体育系 准教授	52
8/3	親子で高めるレジリエンス~立ち直るカ~ イライラしても失敗しても大丈夫! I'm OK. You're OK. We are OK!	1	東京大学大学院医学系特任助教	52
8/3	保護者から子どもへ「性の話し」小学校高学年から	3	助産師	52
12/2	子どもが求める子どもの居場所~いじめの問題を考える~	3	NPO法人ストップいじめ!ナビ副代表	35
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医	35
12/2	絶対失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	35

学級名	桜南小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 276 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	子どもの健康と食生活~からだところの成長メシ~	4	筑波大学体育系准教授	32
8/3	子どもの自己肯定感を高める子育て	1	筑波大学医学医療系准教授	32
8/3	自尊感情をどう理解し育むか	1	日本ウエルネススポーツ大学教授	32
1/6	救急講習~子ども編~	1	救急救命士	13
1/6	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	13
1/6	正しく怖がるインターネット~事例に学ぶ情報モラル~	2	情報リテラシー講師	13

学級名	吾妻小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 439 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/15	意欲を上げる食生活～やる気UPメシ～	4	筑波大学体育系准教授	23
7/15	子どもの健康と食生活～からだところの成長メシ～	4	筑波大学体育系准教授	23

学級名	葦崎第一小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 586 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
12/2	「答えられますか?」子供からの「性」の質問(中学年)	1	助産師・看護師	11
12/2	救急講習～子ども編～	1	救命救急士	11
12/2	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	11

学級名	葦崎第二小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 158 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
11/1	子どもの発育と栄養	4	管理栄養士	14
11/1	正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～	2	情報リテラシー講師	14

学級名	葦崎第三小学校	主対象学年:全学年	学級生数: 188 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
12/2	少し先に迎える思春期に心の問題を起こさないような幼少期の子育てについて	1	東京都スクールカウンセラー	8
12/2	絶対失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	8

学級名	吉沼小学校	主対象学年:1学年	学級生数: 30 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～	2	情報リテラシー講師	6

○中学校家庭教育学級 : 12学級

学級名	大穂中学校	主対象学年:7学年	学級生数: 171 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	ICT時代 子どもたちに必要なことは!	2	NPO法人 子どもとメディア関東事務局長	10
8/3	子どもの健康と食生活～からだところの成長メシ～	4	筑波大学体育系准教授	10
8/3	親子で高めるレジリエンス～立ち直るカ～イライラしても失敗しても大丈夫! I'm OK. You're OK. We are OK	1	東京大学大学院医学系准教授	10

学級名	豊里中学校	主対象学年:7学年	学級生数: 145 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/9	家庭教育学級の開級にあたって	1	社会教育指導員	44
12/10	文部科学省動画(eーネット安心講座)	2	文部科学省	38

学級名	谷田部中学校	主対象学年:全学年	学級生数: 431 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	意欲を上げる食生活 ～やる気Upメシ～	4	筑波大学体育系准教授	9
8/3	救急講習 ～子ども編～	1	救急救命士	9
8/3	正しく怖がるインターネット	2	情報リテラシー講師	9

学級名	手代木中学校	主対象学年:7学年	学級生数: 188 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	保護者から子どもへ「性の話し」幼児から小学校低学年まで	1	助産師	124
8/3	保護者から子供へ「性の話し」小学校高学年から	1	助産師	124
2/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1.寝ること・食ること・からだを動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	93
2/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 2.ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医	93
2/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	93

学級名	谷田部東中学校	主対象学年:全学年	学級生数: 550 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
11/2	正しい脳育てのために家庭生活を学ぼう 1.寝ること・食ること・からだを動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	22
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	22
11/2	無駄なく、楽しく、健康な食事づくりのヒント	4	つくば国際大学医療保健学部 保健栄養学科准教授	22

学級名	高山中学校	主対象学年:7学年	学級生数: 116 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
12/2	正しい脳育てのために家庭生活を学ぼう 1.寝ること・食ること・からだを動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	5

学級名	桜中学校	主対象学年:全学年	学級生数: 330 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	子どもの自己肯定感を高める子育て	1	筑波大学医療系准教授	30
8/3	保護者から子どもへ(性の話し)小学校高学年から	1	助産師	30

学級名	竹園東中学校	主対象学年:全学年	学級生数: 615 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
7/2	お家で伝える性教育(思春期編)	1	思春期保険相談士	50
7/2	意欲を上げる食生活~やる気upめし~	4	筑波大学体育系准教授	50
7/2	自尊感情をどう理解し育むか	3	日本ウエルネススポーツ大学教授	50
8/3	ICT時代 子どもたちに必要なことは!	2	NPO法人 子どもとメディア関東事務局長	28
8/3	子どもの健康と食生活~からだところの成長めし~	4	筑波大学体育系准教授	28
8/3	子どもの自己肯定感を高める子育て	1	筑波大学医学医療系准教授	28
9/2	子どもの発達と栄養	4	管理栄養士	31
9/2	親子で高めるレジリエンス~立ち直る力~	3	東京大学大学院医学系特任助教	31
9/2	正しく怖がるインターネット~事例に学ぶ情報モラル~	2	情報リテラシー講師	31
11/2	子どもが求める子どもの居場所~いじめの問題を考える~	3	NPO法人ストップいじめ!ナビ副代表	40
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	40
11/2	無駄なく、楽しく、健康な食事づくりのヒント	4	つくば国際大学医療保健学部 保健栄養学科准教授	40
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医	40
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食ること・からだを動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	40
12/2	答えられますか?子どもからの「性」の質問(中高学年以上編)	1	助産師	40
1/6	家庭教育講話	3	社会教育主事 社会教育指導員	20
1/6	子どものからだところの今~子どもとからだの”おかしざ”を科学する~	1	日本体育大学教授	20

学級名	並木中学校	主対象学年:全学年	学級生数: 368 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
12/2	子どもの発達と栄養	4	管理栄養士	52
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食ること・からだを動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	52
12/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	52
1/6	救急講習 ~子ども編~	1	救急救命士	35
1/6	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授	35
1/6	答えられますか?子どもからの「性」の質問(中高学年以上編)	3	助産師	35

学級名	吾妻中学校	主対象学年:全学年	学級生数: 272 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/3	お家で伝える性教育(思春期編)	3	思春期保健相談士	28
8/3	意欲を上げる食生活~やる気UPメシ~	4	筑波大学体育系准教授	28
8/3	自尊感情をどう理解し育むか	1	日本ウエルネススポーツ大学教授	28
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食べること・からだを動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	30
12/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	30
12/2	答えられますか?子どもからの性の質問(中高学年以上編)	3	助産師	30
2/2	正しく怖がるインターネット~事例に学ぶ情報モラル~	2	情報リテラシー講師	12

学級名	高崎中学校	主対象学年:全学年	学級生数: 302 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
8/2	コロナ渦で子どもはどんなストレスを受けてきたか	1	NPO法人 ストップいじめ!ナビ副代表	11
8/2	意欲を上げる食生活~やる気UPメシ~	4	筑波大学体育系准教授	11
8/2	正しく怖がるインターネット~事例に学ぶ情報モラル~	2	情報リテラシー講師	11

学級名	葦崎中学校	主対象学年:全学年	学級生数: 192 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
11/2	正しく怖がるインターネット~事例に学ぶ情報モラル~	2	情報リテラシー講師	11

○義務教育学校家庭教育学級 : 4学級

学級名	春日学園義務教育学校	主対象学年:全学年	学級生数:1200 名	
日付	事業名	分類	講師	参加人数
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師	140
11/2	答えられますか?こどもからの「性」の質問(小学校低学年編)	3	助産師	140
11/2	答えられますか?こどもからの「性」の質問(中高学年編)	3	助産師	140
12/2	少し先に迎える思春期に心の問題を起こさない 幼少期の子育てについて	1	東京都スクールカウンセラー	107
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 1寝ること・食べること・からだを動かすことが基本です	1	文教大学教授 小児科医	107
12/2	正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医	107
1/6	家庭教育講話(英語版)	3	Avi Landau	3
1/6	子どものからだど心の今 ~子どものからだの”おかしさ”を科学する~	1	日本体育大学教授	54
1/6	無駄なく、楽しく、健康な食事づくりのヒント	4	つくば国際大学医療保健学部 保健栄養学科准教授	54

学級名	秀峰筑波義務教育学校	主対象学年:1学年	学級生数: 93 名
日付		分類	講師
11/8	子どもの成長と情報との良い関わり	2	茨城県地域活動連絡協議会会長
			参加人数
			12

学級名	秀峰筑波義務教育学校	主対象学年:7学年	学級生数: 137 名
日付		分類	講師
11/8	子どもの成長と情報との良い関わり	2	茨城県地域活動連絡協議会会長
			参加人数
			15

学級名	学園の森義務教育学校	主対象学年:全学年	学級生数:2088 名
日付		分類	講師
8/3	保護者から子どもへの「性の話し」	3	助産師
11/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師
2/2	正しい脳育のための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医
			参加人数
			131
			129
			106

学級名	みどりの学園義務教育学校	主対象学年:全学年	学級生数:1610 名
日付		分類	講師
2/2	子どもが求める子どもの居場所～いじめの問題を考える～	3	NPO法人ストップいじめ!ナビ副代表
2/2	正しい脳育のための家庭生活を学ぼう 2ストレスフリーな家庭生活のためのペアレンティングを学ぼう	1	文教大学教授 小児科医
2/2	絶対に失敗しないスマホの渡し方	2	情報リテラシー講師
			参加人数
			65
			65
			65

○祖父母家庭教育学級 : 1学級

学級名	吉沼祖父母学級	主対象学年:全学年	学級生数: 17 名
日付		分類	講師
6/5	吉沼小学校運動会参観	1	
11/10	吉沼小学校授業参観(自由参観日)	1	
11/26	吉沼小学校持久走大会応援 (学校農園で栽培した秋じゃがいもプレゼント)	1	
			参加人数
			17
			17
			17

【令和3年度つくば市家庭教育学級の動画視聴アンケート結果】（回答数328）

問1 お子様に通っている学校等について(複数回答)

幼稚園	67
小学校	165
中学校	78
義務教育学校	68

問2 電子申請からの申込方法について

とても簡単だった	110
簡単だった	186
少し難しかった	23
とても難しかった	2

問3 動画の視聴方法について

とても簡単だった	156
簡単だった	154
少し難しかった	10
とても難しかった	2

問4 動画の内容について

とても良かった	122
良かった	167
あまり良くなかった	16
良くなかった	3
視聴しなかったので分からない	13

家庭教育学級の動画に関して、御意見や御感想がありましたら、御自由にお書きください。

1	コロナの感染対策として動画配信という手段になったのだと思いますが、今までの集会型よりもハードルが下がり参加しやすかったです。
2	登録したその日に動画が見れたらいいなと思いました。 好きな時間に見れるので、働いている人にも動画は見やすいと思います。
3	とても勉強になります。これからもお願いします。
4	広範囲なテーマから気に入ったテーマを選択出来て、とても楽しく学習が出来ました。そのような動画配信環境を整備頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。今後も宜しく願い申し上げます。
5	学校に、動画視聴申請のお便りを出すタイミングを、申請開始する初日などにすると、もっと申請数は増えるのかなと思います。
6	家庭によって興味のある内容は、さまざまだと思うので、視聴できるテーマを選択できるようにしてほしい。
7	一連の講座が複数回に分けられていて、視聴時間を確保しやすかった
8	子育てに役立つ情報を視聴することができて、良かったです。
9	SNS利用の低年齢化による危険な場面が増える中、とても為になる動画でした。 毎年見せることで、危機感もうまれるので、また見せたいと思いました。 親が子供に伝えるだけでは、ピンとこない部分もあるので、とても分かりやすく動画にさせていただきありがとうございます。
10	配信期間が1ヶ月というのが短くて残念でした。 できれば3ヶ月～半年くらい期間があったら良かったと思います。 オンライン配信のため、対面講座のように、受講者同士で感想を話し合う機会がなかったのが残念でした。 インプットだけではすぐ忘れてしまうので、アウトプットの場として、例えば動画のコメント欄に感想を残せる仕組みであったら良かったと思いました。

11	家庭教育学級が動画になったのは、学校でのPTA役員(委員?)側としては会場の準備等行わずに開催できるためとても助かっています!また一保護者側としてもいつでも気軽に見れる動画配信は、今の時代にとっても合った形だと思っています。ぜひ動画配信は今後も続けてほしいです。よろしくお願いします。
12	動画配信は、自分の都合のいいときに視聴できるので、ありがとうございます。 ただ、見るのを忘れてしまうことがあるので、できれば動画掲載終了の数日前に、連絡いただければありがとうございます。
13	夏休みや休業期間は家に子どもがいて動画を見る時間が取れなかった。 いっそ子どもと一緒に見られるものがあってもよいのでは、と思いました。前後編や3部分に分かれている動画は、用事のすきま時間でも見る時間がとりやすく、理解もしやすかったです。
14	家庭教育学級委員の動画視聴はなかなか観られない内容で、とても勉強になりました。 仕事をされている方でも、いつでも観たい時に観られるのがとても良いと思いますので、もっと多くの親御さんに観てもらいたいと思っています。
15	あまり長いとまとまって見るのが難しいので30分くらいまでの内容がいい
16	会場に集まる形の家庭教育学級もとてもおもしろかったのですが、Youtubeのほうもとてもおもしろく、楽しみながらみせていただきました。
17	中学生用を作って欲しいです。中学生の子供を持つ家庭に、10歳までに習慣となるように、といった言い回しなどは、我が家は手遅れですね、という感じがしました。
18	レジリエンスの講座が癒やされる内容で、とても良かったです。
19	小さい子がいるので、動画で視聴出来るのはありがたい。 ただ、スキマ時間に学ぶには動画だと途中にしづらいので、ちょっと動画が長すぎると感じた。
20	集まって聞くのも楽しかったのですが、こういう形だと自分の空いている時間に集中して見られるので良かったです。 また、今までは参加できなかった夫にも、情報共有したいものがあれば、見てもらうこともできると思いました。
21	ありがちな動画をわざわざ市で作成する必要があまり感じられなかった。 共働き家庭の実情から乖離したテーマが扱われていてがっかりした。
22	視聴した動画はどれも見聞きしやすく、大変勉強になる内容でした。どうもありがとうございました。 家庭教育学級が学校PTAを介しての参加となるので、視聴側がたくさん視聴したくても開催する学校PTAの方針により年に数件の動画しか視聴できないことが非常に残念です。 学校単位で呼び掛けても興味ある人しか参加しないのはコロナ以前からの課題ですが、最近はPTAがない学校やPTA非加入世帯も増えており、このような世帯の家庭教育を支援する場がありません。 学校PTAでの家庭教育支援ではなく、つくば市が家庭教育を支援し、講演会や動画視聴を幼児・児童・生徒家庭向けに直接呼び掛ける方が今の時代に合っています。
23	タイムリーな内容が多くて大変勉強になりました。ただ、限られた時間の中で三本もの動画を視聴するのはなかなか厳しいものがあったので、もう少しボリュームが少なくじっくり視聴出来たのではないかと感じました。
24	動画内容は子供の病気や怪我の際の対応など、とても役立つもので大変参考になりました。ありがとうございました。 ただ、毎月講座申し込みの登録が必要でかなり手間でした。 年度初めに登録すれば1年間有効にしていだけるともっと見やすくなるなど感じました。
25	長い動画1本より、15分程の動画をテーマごとに3回に分けてくれた方が隙間時間に見ることができるので良かったです。
26	講座の配信が大変便利に感じます。他の参加者の皆さまとの交流はできないのですが、自分の都合で何度でも視聴できるので、より深く学ぶことができたと思います。次年度もぜひ、講座の配信を希望します。
27	子どもへスマホを持たせる時にどんなことを話しあったらいいか、SNSを利用する時の注意など自分にとってはタイムリーな話題でとても参考になりました。
28	申し込み案内が届いた時点で、すぐに申し込みサイトに移動して登録できるようにするか、興味のある動画にいつでもアクセスできるようにしてほしいと思いました。
29	動画視聴なら、もう少しPTA側の書類を簡単にしてほしいです。少し御検討いただけるとありがたいです。 自分達で講師を呼んでお金を使うリアル受講とは違って、報告書や感想もいらないと思います。 この2年はコロナでいきなり変わったので致し方ないと思いますが、(今後のリアル開催に向けて担当を残した方がいいのはありますが、動画だけなら本来書類や担当そのものもいらないと思います。)宜しくお願いたします。
30	申請してから動画視聴期間開始まで時間が空くので、視聴することを忘れてしまい、最終日にバタバタと動画を見ました。
31	性教育等大事だと思います。

32	スマホについて、参考にさせていただきます。
33	動画に予算を費やすより、学校教員の人員確保に全力で取り組んでほしい。
34	今まで視聴した全ての動画内容は素晴らしかったです。ありがとうございます。 学校単位で内容を決めるのではなく、個人が必要なものを選択できるようにして頂けるとありがたいです。
35	今回は見れませんでした、とてもありがたい取組みです。 スマホの渡し方というテーマも年齢的にも良いタイミングでした。 また動画で好きな時間に観れるのは良いと思います。 また、過去の年度の動画や他の学年の動画も見れると良いと思います。
36	自分の都合に合わせて視聴できる点が大変助かります。 内容に関しても、参考になりました。ありがとうございました。
37	子供たちのネット利用のマナーがとても気になります。 今年度も小木曾先生の動画を拝見いたしましたが、子供たちのネット利用の問題は今後も大きな課題になるかと思っています。 ネットは便利な反面、怖さ部分の実例などもあげて(以前保護者向けの講演会ではお話拝聴しましたが)、 せっかくの動画配信の機会に、子供たちにも一緒に聞いてもらえるような環境を作って頂きたいです。
38	とても為になるテーマでした。もう少し要点をまとめて短めにしてくださいと分りやすく、空いた時間に見やすく良かったかなと思います。実際の講演会ではちょうど良い時間の長さだと思うのですが、動画だと長く感じてしまう為。
39	動画視聴は自分の都合に合わせて講座を受講できるので大変よかったです。気になったところはリプレイしたり、 メモしたいときは止められたり優勝も良かった。視聴期間も余裕のある設定だった。 コロナ禍が落ち着いた後も、この方式を継続願いたい。
40	テーマがとても当てはまり、勉強になりました。また、機会がありましたら、色々な動画をみて、 子育ての参考にしたいです。ありがとうございました(*^^*)
41	視聴可能期間がもっと長いと助かります。
42	とても勉強になりました。正しい脳育での動画を見る前は寝る時間を全然気にしていなかったですし、むしろ、眠くても 今日のノルマはやりなさいと子どもに言っていました。最近、できるだけ早く寝かせるよう、意識が変わりました。 また、インターネットやスマホの話も参考になりました。
43	とてもためになり感謝しています。
44	視聴まであと少しだけ楽に出来たらいいと思いました。
45	視聴できる動画の候補を増やしてもらえると選択肢が増えるので嬉しいです。
46	性の講座を見ることができて良かったです。 学校の学習要領から外され、家庭教育に任されても、どのように対応すれば良いのかわからないので。
47	良いコンテンツをありがとうございました。特に、正しく怖がるインターネットが興味深かったです。 リアル講演会もいいですが、このようにオンラインだと日程に縛られないので受講しやすくてありがたいです。
48	理解しやすい内容でよかったですと思いました。
49	共働き家庭で、家では子供達との時間を大切にしたいので、通勤時間等の隙間時間で視聴できることが大変助かります。 また、毎回大変聞きやすく、とても勉強になります。ありがとうございました。
50	オンラインなので、親と子供と一緒に学んで、そのあと家族でディスカッションできるような作りに、工夫して欲しい。 このオンラインの動画を、家庭教育学級委員で登録するのではなく、誰でも好きなものを見れるようにしてほしい。 今年のやり方を繰り返すのではなく、市役所の係の人は、今年はやり方を見直すべきだと思う。 おとしは、コロナでこのやり方を立ち上げたが、去年はおとしのやり方の繰り返しだった。 今年も同じ方法でやるんですか？昨年、各家庭学級委員が登録したにも関わらず、各学校の視聴者数が 低かった結果を踏まえて、市役所の係の人は見直してください。それがあなたの仕事だと思う。
51	オンラインで開催していただきありがとうございます。
52	また視聴してみたいな、と思いました。
53	自分の都合のいい時間に見られるので、とてもよかったです。ありがとうございました。

54	わざわざ学校を介さずに、推進課から配信のお知らせを直接配り、視聴してもらえば良いのではないのでしょうか。正直、学校役員としての仕事をひとつ増やしている気がします。お知らせが届いて、直接市のホームページから申し込みをして視聴できれば問題ないと思います。
55	今は何でも動画配信ばかりなので、正直かなり興味があるものしか視聴する気にならないと思う。コロナとの付き合い方も少しずつ慣れてきたと思うので、校庭での観劇会など(市内の団体)本物を身近で子供達に見せてあげる機会を、家教で取り組んでいただけると嬉しいです。(子供達は色々なことを我慢してきているので)
56	12月の分を見逃してしまいました。残念です。
57	コロナ禍で通常活動が出来ない中、動画配信という形で参加出来てよかったです。好きな時間に視聴できるので助かりました。
58	なかなかふれにくい事、聞きにくい事についての内容だったので、とてもありがたかったです。申込の手続きのシステムを理解するのが、私にはややこしいと感じました。
59	メールが来て、URLをもらいましたが、期日を忘れてしまって、見るのを忘れてしまいました…。申し訳ございません。できれば、見たいときにすぐ見れるようにしていただけると、ありがたいです。本当に申し訳ございません。
60	今のスタイルが良いです。
61	動画ですと、空いた時間に視聴することができたので良かったです。
62	コロナ禍の中で2年。保護者間で顔の見える関係が生まれるきっかけもとても少なくなり、子どもを取り巻く環境としてあまりよくないと感じる。孤立も心配。今年度、家庭教育学級で一度だけ対面式の講演会があり、同じ講演を聴きにきた人というだけでも一体感が得られた。講演後の質疑応答の際に他の保護者の話を聞くことで多様な価値観に触れたり、共感したり、子育ての悩みを共有する有意義なひとときだった。動画視聴を申し込んだが、結局見なかったという声もよく聞いた。オンデマンドの動画視聴だけではなく、視聴者同士が意見交換をしたり、意見交換でなくとも何か共有できる仕組みを設けてみてはいかがでしょうか。
63	母として自分が変わるきっかけになりました。
64	登録制ではなく学校からの学年別メールで配信、視聴ができるの良い。
65	じっくり講話を聞きたい気持ちもありますが、なかなかまとまった時間が取れないことも多く、令和3年度に10分くらいの動画が何種類もあったのが良かったです。すきま時間に見ることができました。長い講話の場合も、単元毎に見られるようになっていっていると、見やすいのではないかと思います。
66	たくさんの方がいつでも閲覧できるようになれば、もっと動画による啓発活動の敷居が下がって良いと思う。わざわざ申請制にする必要があるのかもしれないが、せっかくなのでいつでも、どこでも見られる方が閲覧数も上がると思う。
67	今回、動画をみる機会がありよかったです。知りたいけどながされてしまうこともあり、改めて日頃の様子を振り返ることができました。
68	動画は時間を問わずにいつでもみられて家庭内でも共有しやすいので、これからも動画だと嬉しいです。
69	講師の先生が一生懸命なのは伝わったが、子供には話が難しいものも多かった。子供も飽きないような手遊びや料理の動画が増えても良いのではないかなあ。とおもいました。
70	動画配信による家庭教育学級は負担が少なくて良かったです。出来れば来年度もこの方式のまま行ってほしいです。
71	オンラインの視聴は期間中はいつでも何度でも視聴できるのでとてもよいと思いました。
72	他の自治体の人気コンテンツも紹介いただけたら助かります
73	動画視聴では眠いです。ライブでの開催を熱望します。
74	動画もいいのですが、会場での講演会がいいですね!コロナの収束まで待ちます。
75	申込んですぐに見れたら便利だと思います
76	試聴の時期と学校のオンライン授業や幼稚園の休園が重なり、気が付いた時には視聴期間が過ぎていました。視聴できなくて残念です。

77	長すぎる印象。もう少し短めにまとめて欲しい。
78	視聴する側が、動画をもっと自由に選択できると良いかと思います
79	申し込んでから視聴までのタイムラグが長すぎて忘れてしまったという声を多く聞きました。私も忘れそうでした。もう少し短くなるとよいと思いました。
80	申し込みがだいぶ前のために視聴時期を忘れてしまいがちなので、開始前にお知らせがあると忘れにくくなると思います
81	子どもの現在の年齢に沿った、今すぐ実践できる内容であると嬉しい。
82	「我が家のスマホルール」は大変参考になりました。時間や場所に縛られず視聴できるのは大変助かりました。
83	コロナ禍で動画視聴による活動が余儀なくされましたが、学校に行かずとも職場や自宅でゆっくり視聴できましたのでとても良かったです。動画は何割の親たちが視聴したか、目で見て分かる結果もあったら良いなと思いました。
84	遠くにいなくても、コロナ禍でもおなじ保護者の立場の方が興味を持った内容だったので、大変勉強になりましたありがとうございました。
85	動画の案内は月のはじめか半ばになっており、登録期間はその後しばらく経ってからとなっている。気づいた時には登録期間が終わっていたりするので、配布した時点で登録ができるようにすべき。チラシが素っ気なく親しみが持ちにくい。皆で同時視聴して、その後ZOOMで意見交換会が開けるともっと効果的だと考える。
86	視聴期間も長かったので、自分の時間がある時に視聴できてとてもよかったです。テーマもインターネットや子供の救急の事など、とても興味深い内容で、わかりやすく楽しく視聴できました。ありがとうございました。
87	悩んでいたり迷っていることのガイドラインになり助かりました。色々な考え方を知ることが出来たので、今後も是非発信して頂きたいです。
88	普段聞くことのできない専門家のお話を聞くことができ大変為になりました。参考文献を提示して下さったり、勉強になりました。貴重な機会をどうもありがとうございました。
89	テレビの周りで子供たちがうるさくて声が聞き取れないことがあるので、動画に字幕が付いていると見やすいなと思いました。
90	文化委員を担当していた者ですが、沢山の専門家の方に動画を作成して頂いているので、保護者が各々全動画の中から選べるとより良いと思います。時間をかけて作成した動画が視聴されないのは専門家の方はとても残念だと思います。

乳児家庭教育学級（春学級・秋学級・冬学級）

初めての子育てを経験する保護者対象の乳児家庭教育学級です。お子さんの月齢は2か月から10か月。はじめましての会で行う「身近な人権について」、「子どもの発育について～身近な絵本とわらべうたを～」、「モグモグゴックン（離乳食）」、「いざという時の救命救急」、「ファーストブック」の5講座を3つの学級で年間3期行いました。子育ての学びと仲間づくりを大切にしています。

R3年度 乳児家庭教育学級（春講座）

	はじめましての会	子どもの発育	子どもの栄養	救急講座	ファーストブック	参加人数
大穂	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	
	はじめましての会 (オリエンテーション) 指導員	直江 雅子 中山 愛	健康増進課 栄養士	消防署	中央図書館	10
吾妻	はじめましての会	ファーストブック	救急講座	子どもの栄養	子どもの発育	
	6/3	6/10	6/17	6/24	7/1	
	はじめましての会 (オリエンテーション) 指導員	中央図書館	消防署	健康増進課 栄養士	直江 雅子 中山 愛	6
みどりの (谷田部)	はじめましての会	子どもの栄養	ファーストブック	子どもの発育	救急講座	
	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2	
	はじめましての会 (オリエンテーション) 指導員	健康増進課 栄養士	中央図書館	直江 雅子 中山 愛	消防署	7

2021年度

乳児家庭教育学級

子どもとのかかわり方を学ぼう



参加無料

対象
生後2～10か月の
第一子とその保護者
(市内在住・在勤・在学の方)

申込期間▷ 4月26日(月)～5月13日(木)
申込方法▷ 市ホームページまたはQRコードから申込み

会場	開催日
大穂交流センター (大穂乳児家庭教育学級)	6月1日～毎週(火) (全9回)
吾妻交流センター (吾妻乳児家庭教育学級)	6月3日～毎週(木) (全9回)
市民ホールやたべ (みどりの乳児家庭教育学級)	6月4日～毎週(金) (全9回)

■ 時間 10:00～11:10 (70分間)
■ 定員 各会場 10組程度

□ コロナの感染状況によって、参加方法やオンラインと併用する場合があります。
□ 当日開催できない方については、参加方法をメールでお知らせいたします。
□ 他のお申し込み状況にもよりますが、**抽選中の方など体面にご案内させていただきます。**
□ 不安のある方は生涯学習推進課まで事前に御相談ください。
□ 抽選の結果をメールでお知らせいたします。
□ 申込結果は、5月20日(土)メールまたは電話でご連絡いたします。

育児の不安を解決しましょう

「はじめの絵本（ファーストブック）」や「いざという時の初期対応～心動悸生誕録」など、初めての育児に役立つ講座です。子育ては同じく不安かつきものですが、講座の内容を参考に子育てを楽しんでみてはいかがでしょうか。

参加者の声

- ✓ 今の月齢にあった子育てが学べました
- ✓ 子どもと外に出るきっかけができました
- ✓ 同じ悩みを持つママたちと交流できました
- ✓ 子どもにとっても良い刺激になりました
- ✓ 参加してリフレッシュできました

お問い合わせ

〒305-8555
つくば市教育局
生涯学習推進課

電話 029-883-1111 (内線4520)

つくば市ホームページ

家庭教育学級

http://www.city.tsukuba.lg.jp/

QRコード



世界のあしたが見えるから。TSUKUBA



R3年度 乳児家庭教育学級（秋講座）

	大種	はじめましての会	ファーストブック	子どもの発育について～身近に絵本とわらべうたを～	モグモグゴックン(離乳食)	いざという時の救命救急	参加人数
		9/21	9/28	10/5	10/12	10/19	
	はじめましての会 (オリエンテーション) 指導員	坂井 陽子	直江雅子 中山愛	健康増進課 管理栄養士	北消防署	7	
	吾妻	はじめましての会	ファーストブック	いざという時の救命救急	子どもの発育について～身近に絵本とわらべうたを～	モグモグゴックン(離乳食)	
		9/16	9/30	10/7	10/14	10/21	
	はじめましての会 (オリエンテーション) 指導員	坂井 陽子	桜分署	直江 雅子 中山 愛	健康増進課 管理栄養士	6	
	みどりの (谷田部)	はじめましての会	モグモグゴックン(離乳食)	ファーストブック	子どもの発育について～身近に絵本とわらべうたを～	いざという時の救命救急	
		10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	
	はじめましての会 (オリエンテーション) 指導員	健康増進課 管理栄養士	坂井 陽子	直江 雅子 中山 愛	南消防署	7	

R3年度 乳児家庭教育学級（冬講座）

	大種	はじめましての会	モグモグゴックン(離乳食)	ファーストブック	子どもの発育について～身近に絵本とわらべうたを～	いざという時の救命救急	参加人数
		2/1	2/8	2/15	2/22	3/1	
	はじめましての会 (オリエンテーション) 指導員	健康増進課 管理栄養士 野元 優理恵	中央図書館 坂井 陽子	直江 雅子 中山 愛	北消防署	6	
	吾妻	はじめましての会	ファーストブック	モグモグゴックン(離乳食)	子どもの発育について～身近に絵本とわらべうたを～	いざという時の救命救急	
		2/3	2/10	2/17	2/24	3/3	
	はじめましての会 (オリエンテーション) 指導員	中央図書館 坂井 陽子	健康増進課 管理栄養士 野元 優理恵	直江 雅子 中山 愛	中央消防署桜分署	5	
	みどりの (谷田部)	はじめましての会	子どもの発育について～身近に絵本とわらべうたを～	いざという時の救命救急	ファーストブック	モグモグゴックン(離乳食)	
		2/4	2/18	2/25	3/4	3/11	
	はじめましての会 (オリエンテーション) 指導員	直江 雅子 中山 愛	南消防署	中央図書館 坂井 陽子	健康増進課 管理栄養士 野元 優理恵	10	

乳児家庭教育学級アンケート結果より(回答数62)

1. 講座内容について
参考になった 61 まあまあ参考になった 1
2. 現在育休中ですか
はい 41 いいえ 21

参加者の感想

- ・コロナ禍で、他の親子さんと接する機会がなかったので、参加できてよかったです。
- ・毎回本当に学びが多く、楽しく参加させていただきました。和やかな雰囲気に癒されました。
- ・参加された方とも仲良くなり、いい経験となりました。
- ・妊娠中から、他のお母さんとお話する機会もなかなか無く、不安なことも多かったのですが、今回講習で色々なことを教えていただいたり、他の方とお話してきて嬉しかったです。

幼児家庭教育学級

幼児家庭教育学級は、生後11か月から就学前のお子さんを持つ保護者を対象に、この時期の子育てのヒントになるような内容で行っています。「自己肯定感を育む子育て」、「救急講習」、「外遊び初めの一步」などの講座です。保護者が受講している時、子どもたちは保育ボランティアと外遊びをして過ごします。ゆかりの森、竹園近隣公園など自然に恵まれた環境で、子どもたちは自由に遊びます。外遊びを通して、子どもの育ちに身近な大人がどう関わればいいのかを考える機会となりました。

R3年度 幼児家庭教育学級

	はじめましての会	救急講習	子育て講話	自己肯定感を育む子育て	外遊びはじめの一步 ～何をしても・しなくてもいい時間～	参加人数
ゆかりの森 (火)	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	17
	人権講習	中央消防署	穂積 妙子	水野 智美	坂口 暁詩	
竹園 (金)	はじめましての会	救急講習	自己肯定感を育む子育て	子育て講話	外遊びはじめの一步 ～何をしても・しなくてもいい時間～	18
	10/1	10/8	10/15	10/22	10/29	
	人権講習	中央消防署並木分署	水野 智美	穂積 妙子	坂口 暁詩	



2021年度

幼児家庭教育学級

子どものかかわり方を学ぼう



対象
生後11か月～就学前の
子とその保護者
(市内在住・在勤・在学の方)

参加無料

申込期間 ▶ 9月1日(水)～9月10日(金)
申込方法 ▶ 市ホームページまたはQRコードから申込み

学級	会場	開催日
ゆかりの森	生涯ゆかりの森 あひセンター	10月5日～ 毎週(火) (全5回)
竹園	竹園交流センター	10月1日～ 毎週(金) (全5回)

■ 時間 10:00～11:10 (70分間)
■ 定員 各会場10組程度

■ コロパが感染拡大によって、開催の形が変更になる場合があります。
■ 本日を過ぎたカリキュラムを振替えます。
■ 原則として全ての日程で定員の確保を行います。
■ 他の学級に活動する場合は事前申込み、発着中の予定と併列に
申込み可能な場合は別途申込みを要する場合があります。
■ 定員が定員を超えた場合は抽選となります。
■ 申込期間は、9月21日(火)までにメールまたは電話にてお願いします。

お問い合わせ

つくば市教育局
生涯学習推進課

〒305-8555
つくば市研究学園一丁目1番地1
☎ 029-883-1111 (内線4520)

子育て応援！プログラム
「救急講習」
「自己肯定感を育む子育て」
「外遊びはじめの一步」など。
講座中、子どもは保育ボランティアと
一緒に過ごします。
仲間と一緒に楽しく子育てについて学
びましょう！
兄弟姉妹の参加も大歓迎です。

いばらき
電子申請・
届出サービス



つくば市ホームページ
家庭教育学級

<http://www.city.tokuba.lg.jp/>



参加者の感想より

- ・自己肯定感を高めてあげられるような子育てをしたいと思いつつ、つい叱りすぎてしまったり、間違った反応をしてしまったりすることも多く、反省と自分の行動を見つめ直すきっかけになったように思います。
- ・いつも親側の都合や目的を提示して遊ばせることが多かったのですが、自由にさせてあることで、子どもの自主性も尊重され、のびのびと活動できていたように思います。
- ・子どもを見つめながら、しっかりコミュニケーションをとって「今」に向き合うことが大事だなと思いました。

社会教育講座 保育所編

1 保育所での開設の経緯

乳児・幼児、幼稚園、小・中、義務教育学校で実施されている家庭教育学級を、保育所へ通う保護者にも「社会教育講座」として、学びの機会を提供するものです。家庭教育力の向上となるよう、令和元年度より実施しています。

2 実施方法

- ・開催保育所数を定める
- ・生涯学習推進課より講師の推薦と謝礼の支払いを行う
- ・保育所は保護者へ周知のための手紙の作成・配布、当日に会場設営を行う

実施状況 元年度

	保育所	演題	講師	参加人数
1	上横場 10/29	「何がいけないの？なぜいけないの？ ～メディアの危険を知って、 安全安心な子育てを～」	茨城県地域活動連絡協議会 会長 谷川原 奈都子氏	18人
2	桜南 2/12	「子どもの口腔と心身の健全な成長を願って ～虫歯予防を通して親子の絆を考える～」	桜南歯科クリニック 船久保 せい子氏	13人
3	大穂 2/20	「子どもを取り巻くメディアの影響」	子どもとメディア関東 矢野 さと子氏	23人

計 54人

参加者の感想

・子どもとの時間が少ないと思ったので、夫婦で少し話をして子どもとの時間を見直さないといけないと思った。

・虫歯にならないために、歯磨きだけでなく、食べ物や早寝早起きも大切だなと思った。仕上げ磨きは親子一对一の時間というのが心に響いた。

・今回の講演を機に、食事中のテレビをやめる事から始めたいと思う。

・外で体を大きく動かして目の働きを鍛えると本を読む時、同じ所を読んだり次の所を飛ばしたりしないように、ちゃんと読めるようになるとわかり驚いた。

実施状況 R2年度

コロナ禍のため、対面での講座開催が難しく、課で作成した家庭教育の参考となる動画の配信を行った。

	保育所	配信月	動画	講師	参加人数
1	吾妻	2月	・子どもの自己肯定感を高める子育て ・正しく怖がるインターネット	水野 智美 小木曾 健	8人
2	稲岡	2月	・子どもの自己肯定感を高める子育て ・正しく怖がるインターネット	水野 智美 小木曾 健	5人
3	並木	2月	・子どもの自己肯定感を高める子育て ・スマホ育児の落とし穴	水野 智美 谷川原奈都子	24人
4	松代	2月	・子どもの自己肯定感を高める子育て ・正しく怖がるインターネット	水野 智美 小木曾 健	24人
5	上郷	2月	・子どもの自己肯定感を高める子育て ・正しく怖がるインターネット	水野 智美 小木曾 健	4人

参加人数 合計 65人

実施状況 R3年度

R3年度の保育所の社会教育講座は、コロナ感染症が収束しないため昨年度に引き続き、動画配信となった。

- ・動画配信希望 8カ所
- ・対面希望 1カ所

	保育所	配信月	動画	講師	参加人数
1	二の宮	1月	・わらべうたと手遊び（乳児編） ・救急講習 ・子どもの発達と栄養	安永 知栄 救急救命士 管理栄養士	8人
2	岩崎	1月	子どものからだところの今	野井 真吾	2人

	保育所	配信月	動画	講師	参加人数
3	小田	1月	・わらべうたと手遊び (乳児編 幼児編) ・子どもの発達と栄養	安永 知栄 健康増進課	4人
4	手代木南	1月	・わらべうたと手遊び (乳児編 幼児編) ・子どものからだところの今 ～子どものからだの”おかしざ”を科学する～	安永 知栄 野井 真吾	35人
5	竹園	1月	・わらべうたと手遊び (乳児編) ・正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう ～①寝ること・食えること・からだを動かすことが基本です～	安永 知栄 成田奈緒子	7人
		2月	・わらべうたと手遊び (幼児編) ・正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう ～②ストレスフリーな家庭生活のためペアレンティングを学ぼう～	安永 知栄 成田奈緒子	15人
6	上ノ室	1月	・わらべうたと手遊び (幼児編) ・正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう ～①寝ること・食えること・からだを動かすことが基本です～ ・少し先に迎える思春期に心の問題を起こさないよ うな幼少期の子育てについて	安永 知栄 成田奈緒子 大久保明子	9人
7	上境	1月	・わらべうたと手遊び (幼児編) ・正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう ～①寝ること・食えること・からだを動かすことが基本です～ ・少し先に迎える思春期に心の問題を起こさないよ うな幼少期の子育てについて	安永 知栄 成田奈緒子 大久保明子	8人
8	沼田	1月	・わらべうたと手遊び (乳児編 幼児編) ・子どものからだところの今 ～子どものからだの”おかしざ”を科学する～	安永 知栄 野井 真吾	3人

参加人数 合計 91人

R3年度 保育所 対面講座実施

今鹿島保育所の保護者参加事業である、生活発表会の後で講座が開かれたため多くの保護者が参加し、有意義な時間となった。

- ・ 実施日：令和3年12月3日（金）（午前10時30分から午前11時30分）
- ・ 講座 「しっかり食べよう朝ごはん」

・ 講師 栄養士 渡邊 由喜氏

・ 対象：すみれ組「5歳児クラス」保護者 参加人数：20名

- ・ 講座内容

朝ごはんの大切さ、簡単レシピの紹介で朝ご飯を準備するコツ、子どもが食べることに興味を持てるようになるための講話をしてもらいました。

当日は、講話の前に生活発表会が行われました。

その後に引き続きでしたので、15名の幼児の保護者20名が残ってくださり、熱心に話を聴いていました。

参加者感想

・ 朝ごはんを準備するコツを教えて頂いて、参考になりました。とても分かりやすく、楽しいお話を聞くことができました。栄養バランスを考えて料理を作ることは、常日頃大変に感じていて、これからも無理せず取り組んでいきたいです。

・ 忙しいとついつい朝ご飯が適当になりがちになってしまうので、見直すきっかけになりました。栄養バランスをもう一度考えようと思います。

・ 食材に冷凍（食品）など良く使うのですが、それが正しいのかちょっと不安に思っていたところで、今日の講座を聞いて少し安心しました。

社会教育講座 親子講座編

1 毎月第3月曜日の「家庭の日」に、子どもたちの安らぎの場である「家庭」の温もりや、生活規範を親子で築くことを目的とし、春・秋乳児家庭教育学級参加者から希望者を募り親子で触れ合う機会とした。また、北条保育所が新しく開設されたことから、保護者へ周知を目的に北条保育所で開催することとした。

2 開催日時 令和3年11月20日(土) 午前10時から正午

開催場所 つくば市立北条保育所 子育て支援ひろば 所在地 北条79番地3

3 講座内容・講師

パパは野外工作で「ミニ門松づくり」 ギャートルズ 大塚 税 氏 堀口 義昭 氏

ママはプレイルームでベビーサインと育児講話 通村 瑠美 氏

4 参加者 4組



ベビーサイン（ママ講座）



門松づくり（パパ講座）

5 参加者感想

・ベビーマッサージはまだ言葉の話せない子どもとの意思疎通になるので学べてよかったです。早速取り入れているので今後使う姿が楽しみです。また他のママさんとの交流や、子ども同士の交流にもなりいい刺激になりました。

日々自分のことは後回しにして子ども中心の生活ですがたまには息抜きしてまた子育てに楽しく励みたいと思えました。主人は半ば強制的に連れて行きましたが門松作りが楽しかったようでなかなかできない体験でよかったです。ただ、子どもから離れての作業だったのでできればもっと夫婦揃って子どもと触れ合えるイベントがよかったですと感じました。

・ベビーサインについて学び、自分が日頃何となく赤ちゃんに向けてやっていた行動が今後に役立つ事だとわかり、ベビーサインはかなり身近な存在だと実感しました。

また参加した方達と交流が出来、日頃の育児に関して会話が弾みとても気分転換になりました。



社会教育講座 企業編

子どもたちの家庭を取り巻く現代的課題が大きく変化している中、悩みを抱える保護者や、仕事で忙しい保護者の学びの機会として、企業内で社会教育講座として開催することとした。

- 経緯 令和2年度 つくば市周辺の企業へ周知
令和3年度 ヤクルトではじめての講座を開設
- 実施日時 令和3年12月13日(月) 午後2時40分から午後3時10分
- 会場 ヤクルト水堀営業所内
- 受講者 ヤクルト営業部センターマネージャー、ヤクルトレディ 計13人
- 講師 生涯学習推進課 社会教育主事 渡邊 亮太
生涯学習推進課 社会教育指導員 岩村 一代
- プログラム 子どもとの関わり方

家庭教育セミナー プログラム(企業編)		30分	
テーマ	子どもとの関わり方	登壇関係形成～見守りへ	参加者 12～14人
3分	あいさつ	・企業での家庭教育講座開催の目的 ・日頃の子育てでふりかえり、家庭教育について考える社会に	橋田 係長
5分	解説	市が取り組む家庭教育について	渡邊 社会教育主事
15分	導入	「子どものかかわり方を振り返ってみる」 チェックシートをもとにセルフチェック！ グループでシートをもとに意見交換	岩村 ・二人ペアで聞く人、聞かれない人を体験
	展開	子どもとの上手なかかわり方（ポイント） ★子どもは話すことで、頭の中でいっていることと考え、思考を深める ★話をゆっくり聴いてあげると、子どもは安心し、親との愛情を感じる ★「何をしたか、どうしてか」より、「うれしい気持ちや、悔しい気持ち」も聴いてあげよう ★子どもの自己決定力を少しづつ育てる 親が「転ばぬ先の杖」には ならない 賢いよい距離をとろう！（998の法則） ★ 朝の日の光と食卓、昼の運動、十分な睡眠で生活リズムを整える ★ やる気スイッチ オンとオフ 選菜に集中できない、やる気が起きない ★ 就寝1時間前までの電子機器の使用はやめる	岩村 「笑顔前の時間、お風呂の時間を活用」
5分	振り返り	各自振り返りシートを記入 「Good enough mother(ほどよい母親)」を説明する	※子育ては完璧でなくても、「ほどよい」がよいということ
	その他	志望者の心と身体の変化を理解し、家庭での子どもとの関わり方に気づかせる ① 学習面においても、個人評価される機会が多くなるため実習形。 ② 友人間やSNSのトラブルなど、家庭外での問題に直面することも増えてくる。 ③ 親や周囲の大人に対して子ども自身に自分の気持ちを言葉にできなくなり、反抗的な態度をとる。	時間と余裕があれば、息苦しいことについて語り

参考文献 茨城県教育委員会「思春期の子どもに寄り添うために」より
茨城県教育委員会子育てアドバイザーブック「シロバ」 「ひよこ」より



子どもたちの家庭を取り巻く環境が大きく変化している中で、悩みを抱える保護者や仕事で忙しい保護者が増えています。企業における家庭教育講座を、是非、御活用ください。

時間 | 事業所のタイムテーブルに合わせて設定できます。
会場 | 事業所内のスペースをお貸しください。
内容 | 【研修の例】を参考に、相談しながらテーマを決めていきます
参加者 | 何名様からでも実施可能です
講師 | 希望により相談に応じます
お申込 | 別紙申込書を送付してください

お問い合わせ
つくば市教育局 生涯学習推進課
〒305-8555
つくば市研究学園1丁目1番地1
電話 029-883-1111 (内線4520)

お申込みはつくば市ホームページで
家庭教育学級
http://www.city.tsukuba.lg.jp/

世界のあしたが見える
TSUKUBA

社会教育講座 科学技術振興課共催事業

体験型口腔ケア「お口を起点に始める健康なからだづくり」

科学技術をもとに、ペンシル型機器を用いて、口腔内のトラブルを見つけ出す。子どもの虫歯予防やみがき残しのない、口腔衛生を学ぶ機会とする。科学技術振興課との共催で実施した。

日時 令和4年3月14日(月) 午後2時から午後3時10分

講師 野堀 幸夫 氏 (歯科医師) 歯科衛生士 1名

参加者 9組 (19人)

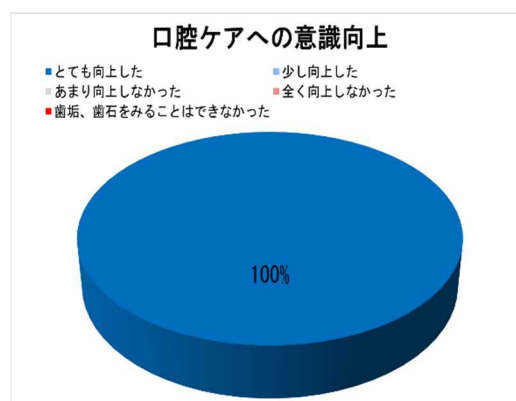
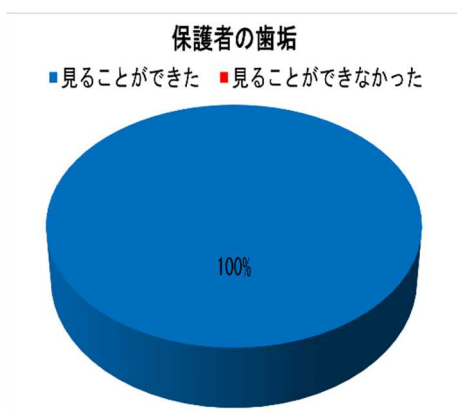
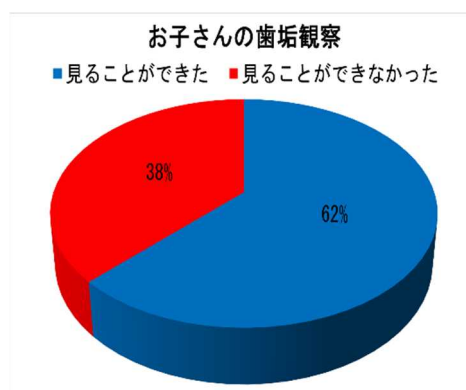
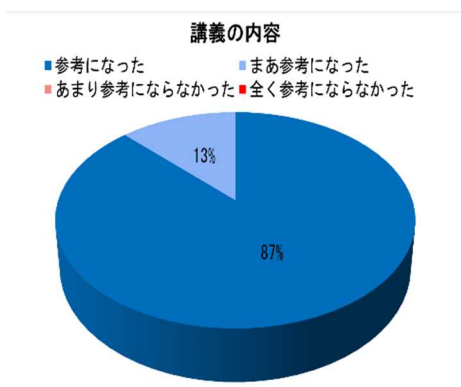
Aグループ 14:00~14:30 4組 (大人 4人 子ども4人)

Bグループ 14:40~15:10 5組 (大人 6人 子ども 5人)



【感想】

- ・歯間ブラシの使い方、歯みがきのタイミングは参考になりました。
- ・ライトでみがき残しが見えて、これからはみがきに役立ちそうです。
また参加させてください。・今後の歯みがきの為に質問できてよかった。
- ・3歳までの歯の管理が大切だということが知れてよかった。
- ・染め出しライトという存在を知ることができた。
- ・しっかりみがいたはずなのにみがき残しがあった。・よくみがけていると言ってもらえて少し自信が付きました。
- ・日々の歯のケアが一生涯の健康につながるということがわかった。



第1回 社会教育講演会

子どもの発達を目的とした「家庭教育講演会」を、令和元年度からより幅広いテーマを取り上げるために「社会教育講演会」として、子どもや青少年を取り巻く現代的課題について理解を深めることとした。

実施日 10月23日(土) 10:30~開演 講演時間 60分 質疑応答 20分

演題 子どものからだところの今~子どものからだの“おかしさ”を科学する~

講師 日本体育大学 体育学部 健康学科 教授 野井 真吾 氏

会場 つくば市役所 201 / 家庭教育学級にて動画配信

参加数 会場参加 53人 / オンデマンド参加者 21人 計74人



講座内容

すぐ“疲れた”という、「背中ぐにゃ」「保育・授業中、じっとしてられない」「朝起きられない」など。病気ではないけど、健康ともいえません。子どものからだと心の「どこかおかしい」と言われている、その“おかしさ”を科学的に解決し、健康を取り戻すきっかけにさせていただく講演会です。

アンケート結果

・とてもおもしろくて勉強になりました。小1の男の子がいて、「早寝、早起き、朝ごはん」はできているのですが、不活発型で、少し悩んでいたのですが、「ワクワク・ドキドキ」が足りず、「よい加減」ができていなかったと思いました。子どものストレスについてよく理解できてこれからどうしていったら良いのか分かり道が開けたように思います。どうもありがとうございました。

・親として、心にささるすばらしい講演でした。

・毎年参加させていただいているこのつくば市社会教育講演会ですが、とても意味のあるもので、必ずつづけていただきたいと思っています。

・来る前は昨年度のようにオンラインがよかったと思ったが、お話をきいてみて、実際にお会いしてお話をうかがえてよかったと思った。もっとお話をききたかったです。

・子どもの困りごとと保護者の心配ごとについて、大きなヒントを頂きました。「分かりやすさ」を教えてもらったと感じています。次回も参加したいと希望致します。ありがとうございました。

第2回 社会教育講演会

実施日 3月5日(土) 13:30~開演 講演時間 70分

演 題 コロナ禍のメンタルケアの備えのために ~社会抑うつ度調査から見えるもの~

講 師 社会調査支援機構チキラボ所長 ラジオパーソナリティ 荻上 チキ 氏

会 場 オンライン配信/家庭教育学級にて動画配信

参加数 オンライン参加94人/R4家庭教育学級でオンデマンド配信予定

※当初つくばカピオでの開催を予定していたが、コロナ感染状況の悪化により、ライブ配信に変更となった。



講演内容

コロナ禍での行動規制や、孤独感、抑うつ感、思うようにコミュニケーションが取れない中、ストレスを抱える大人や子どもの心と体の変化を、社会抑うつ度調査で集積されたデータから、講師が分かりやすく解説し、一人ひとりが乗り越えるヒントを得られた講演会でした。

アンケート結果

・荻上チキさんのお話、アプローチから非常にわかりやすく、頭が整理されたように感じます。活動群の方は、抑うつ傾向が強いなどは、普段のニュースを見ているだけではわからなかったですが、調査結果を見てなるほどと思いました。今後のコロナ禍での過ごし方も、自分の健康と周囲の健康とを思いやりながら過ごしたいと思えました。ありがとうございます。会場での講演ではなく残念でした。しかし、配信の利点も多かったように感じました。匿名での質問が可能だったため、難しい状況の方も参加できたようで、良かったです。

・今回は、貴重な機会を設けていただきありがとうございました。

コロナとうつの関係性など調査結果をもとに詳しく知ることができ多くのことを学びました。また、この講演会がメンタル等の悩みや問題を抱えている人々にとって救いの手になっていると感じました。学びも深められ、悩みを抱えている方たちの支援という側面も待つ講演会でとても参加して良かったです。

今後もこのような機会があれば是非参加したいと思います。

・様々な世代や環境の対象へ向けられた、テーマ、内容でした。

・社会抑うつ度が家族と同居しているかどうか、男性か女性か等が影響していることを知ることができ、ストレスとの対応を考える良い機会となった。

家庭教育講話実施一覧

すべての保護者が集まる、就園・就学時検診、あるいは入園・入学・進級説明会を利用して、県が作成した「家庭教育ブック」等を利用し、社会教育指導員と家庭教育について考える機会とする。令和3年度は、コロナ感染症拡大のため講話が中止になる学校が多かった。そのため生涯学習推進課で作成した、「家庭教育講話」の動画配信を利用する学校もあった。

小学校[就学前]

月日	曜	学校名	人数	時間(分)	開始時間	担当
10/19	火	大曽根	95	30	14:00	稲葉
10/20	水	谷田部南	18	20	14:00	永野
10/22	金	秀峰筑波	110	20	14:10	中山
10/27	水	荃崎第二	21	30	14:15	松崎

小学校[入学説明会]

1/14	金	みどりの学園	420	10	4月延期	岩村
1/20	木	学園の森	160	15	動画	岩村
1/21	金	学園の森	281	15	動画	岩村
1/25	火	手代木南	75	20	9:25	石塚
1/25	火	上郷	37	20	9:20	中山
1/26	水	松代	67	15	10:20	石塚
1/26	水	竹園西	170	20	動画	古屋仲
1/26	水	栄	32	20	中止	島村
1/27	木	竹園東	130	20	中止	古屋仲
1/27	木	春日	90	10	ライブ配信	岩村
2/10	木	今鹿島	21	20	11:20	中山
1/27	木	桜南	56	15	9:20	日比野
2/24	木	島名	160	10	10:00	島村
1/27	木	並木	56	10	録画	日比野
1/27	木	吾妻	101	15	動画	日比野
1/27	木	沼崎	57	15	中止	中山
1/28	金	谷田部	117	10	動画	永野
1/28	金	前野	15	30	13:00	稲葉
2/1	火	要	17	20	動画	稲葉
2/2	水	荃崎第一	120	20	動画	松崎
2/2	水	九重	47	10	中止	島村
2/2	水	吉沼	12	20	動画	稲葉
2/3	木	栗原	70	10~15	中止	島村
2/4	金	荃崎第三	45	20	中止	松崎
2/4	金	柳橋	10	30	中止	永野
2/4	金	小野川	50	10	中止	福田
2/4	金	東	80	15	中止	福田
2/4	金	葛城	85	20	動画	石塚
2/4	金	二の宮	100	20	中止	福田
2/24	金	真瀬	18	20	13:50	島村

参加予定人数合計 2943 人

実施総数	幼稚園	小・義務教育	中・義務教育
	11 (動画 1)	12 (動画 11)	1 (動画 0)

幼稚園[就学前]

月日	曜	園名	人数	時間(分)	開始時間	担当
11/10	水	二の宮	12	15	14:00	福田
11/18	木	竹園東	8	15	13:50	古屋仲
11/18	木	高崎	16	20	13:40	岩村

幼稚園[入学説明会]

1/13	木	谷田部	50	15	中止	永野
1/19	水	筑波	5	15	14:00	中山
1/19	水	竹園西	8	15	13:15	古屋仲
1/26	水	桜南	5	20	13:45	日比野
1/20	木	吾妻	10	10	14:10	日比野
1/20	木	上郷	10	20	13:00	中山
1/20	木	島名	24	10	動画	島村
1/21	金	桜	11	15	13:30	永野
1/21	金	大穂	10	20	13:30	稲葉
1/21	金	松代	15	20	中止	石塚
1/21	金	東	6	10	13:30	福田
1/26	水	岩崎	9	10	中止	松崎
		手代木南			中止	石塚

参加予定人数合計 199 人 (手代木南幼稚園は省く)

中学校[入学説明会]

月日	曜	学校名	人数	時間(分)	開始時間	担当
12/14	火	高山	130	20	14:45	島村
1/20	木	高崎	114	15	中止	松崎
1/20	木	谷田部	190	15	中止	永野
1/20	木	桜	130	15	中止	古屋仲
1/21	金	荃崎	80	15	中止	松崎
1/21	金	大穂	160	15	中止	稲葉
1/21	金	豊里	145	20	中止	中山
1/26	水	竹園東	250		中止	古屋仲
1/28	金	並木	137	20	中止	日比野
1/28	金	手代木	210	20	中止	石塚
2/3	木	吾妻	85	20	中止	日比野
2/4	金	谷田部東	230	10	中止	福田
2/25	金	秀峰筑波	145	20	中止	中山

参加予定人数合計 2006 人

中止数	幼稚園	小・義務教育	中・義務教育
	4	11	12

家庭教育講話 動画作成

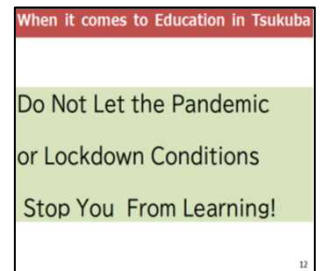
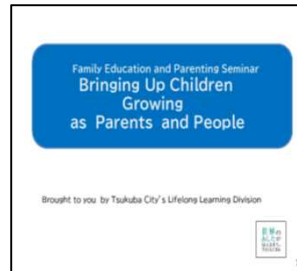
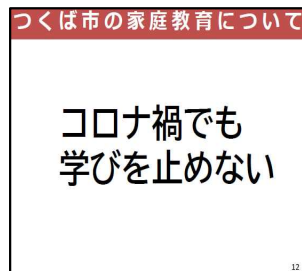
令和2年度の家庭教育セミナーがコロナ禍で中止となり、新1年生に家庭教育に必要な情報を発信する機会がなかった。そのため茨城県教育委員会制作の「クローバー」をもとに動画を作成し、入学説明会、就学時検診時に利用できるようにした。

令和3年度には、家庭教育講話「英語版」を作成し、外国籍の方へも情報が提供できるようになった。



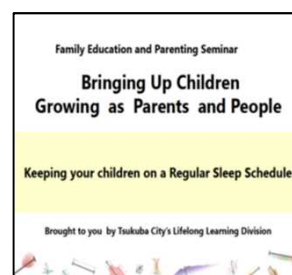
▼タイトル:家庭教育について

動画時間:6分35秒



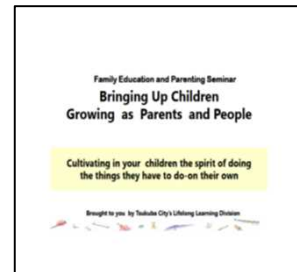
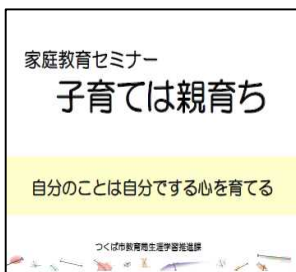
▼タイトル:規則正しい生活習慣

動画時間:5分29秒



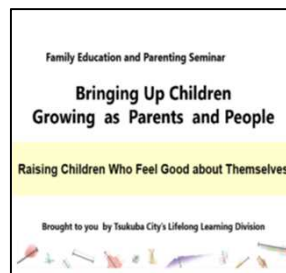
▼タイトル:自分のことは自分でする心を育てる

動画時間:4分05秒



▼タイトル:自分を大切にできる心を育てる

動画時間:7分06秒



作成者 社会教育主事 渡邊 亮太 英語版 Avi Landau 氏
社会教育指導員 岩村 一代・永野 泉・古屋仲 純子

社会教育指導員スキルアップ研修

1 目的

社会教育指導員の研修を定期的に行うことで、資質・能力の向上を図る。
各指導員が割り振られた研修内容に関して担当となり、責任をもって研修を行う
ことで個人のスキルアップを図るとともに、指導員相互の資質能力を高める機会とする。

2 実施方法

- ・研修時間30分程度
- ・2人1組で担当
- ・研修の形態は担当者が考え、研修の内容に沿って、資料の作成や内容を検討

3 研修内容

	日程		研修内容	担当者(班)
1	5/25(火)		地域と学校が協働連携している活動について	福田(生涯学習推進) 松崎(青少年教育)
2	8/31(火)		自分を大切にする心を育てる	島村(社会教育) 古屋仲(青少年教育)
3	10/12(火)		スマホと外遊び (つくば市家庭教育重点課題「メディア」より)	稲葉(青少年教育) 永野(生涯学習推進)
4	12/14(火)		食について (つくば市家庭教育重点課題「食育」より)	中山(青少年教育) 日比野(社会教育)
5	2/1(火)		子どもが幸せに過ごせる毎日 (つくば市家庭教育重点課題「人権」より)	岩村(社会教育) 石塚(生涯学習推進)

*各回研修はパワーポイント資料発表及びワークショップ形式で実施

青少年体験学習事業「この指と一まれ!」事業

1 実施趣旨及び目的

青少年の自主的な活動を支援・促進し、青少年の明るい未来を切り開くことを目的として、学外の体験学習の一つとして実施する「この指と一まれ!」事業では、市内に在住・在学する中学生・高校生の企画を募集し、企画実現に向けて本課が活動の支援を行う。

このことにより、中学生・高校生の自己肯定感や自己有用感を育むとともに、企画を運営することで身につく企画計画力・コミュニケーション力・チームワークをいかし、地域社会の担い手として様々な場面で活躍できる「社会力」の育成を図ることを目的とする。

2 実施概要

中学生・高校生がそれぞれ持っている企画を実現させるため、次のような活動を支援する。

(1) 企画立案の支援

中学生・高校生が考えた企画を実現させるため、企画立案の支援を社会教育指導員が中心に行う。

具体的には、過去の取組の紹介、実施会場の紹介、講師等の紹介などが挙げられる。

(2) 講師謝礼・消耗品等の支援

中学生・高校生が企画を実現するにあたり、必要となる講師の謝礼や消耗品を本課で負担する。

(3) 集客等広報の支援

イベントの実施にあたり、本課が利用できる広報媒体を活用して、広報活動の支援を行う。

3 対象者

つくば市在住・在学の中学生、高校生

4 実施日程

- 4月～6月 発表の会場確保、募集チラシ作成、電子申請、HP、チラシ配布
- 8月 キックオフイベントで自分のやりたいことを明確にし、夢の実現に向かって、活動予定を立てる。(Zoomで行った)
- 8月～11月 活動場所提供、参加助言、チラシ作成の補助、印刷、配布、電子申請で申込補助、買い出し等
- 10月31日(日)9時～16時 ドリームフェスタ開催
- ✓ 場 所: つくばセンター広場、BiVi、吾妻交流センター、イノベーションプラザ
- ✓ 参加者: 高校生 34名(つくば秀英高校 31名、筑波高校 2名、竹園高校 1名)
中学生 4名(並木中等教育学校 4名)
- ✓ スタッフ: 10名(大久保課長、色川補佐、神立係長、渡邊先生、尾野主事、中山、松崎、稲葉、古屋仲、藤原(実習生))
- ✓ 発表内容

[SDGsについてパネル発表とクイズ大会]

- 企画者: 並木中等教育学校 3年生(中学3年生)4名
- 場 所: BiVi イベントスペース
- 時 間: パネル発表 10時～14時 クイズ大会 13時～14時



- 周知方法: チラシ配布(小学1年生から6年生 2,500枚) 事前受付なし
- 参加者: 40名(地域の方)

- 活動内容: 午前中はパネル掲示。空き時間に、クイズ大会の練習をする。イベントスペース前に、椅子を並べて開始 30 分前にチラシ配布。クイズ大会は 4 回行い、1 回5問解答し、記入紙と引き換えに手作りの景品(ペーパーシールド)をプレゼントした。発表もしっかりと準備していた。参加者も楽しんで時々拍手で盛り上がった。高校生が、椅子の準備やクイズに参加して盛り上げてくれた事に、企画した中学生がとても感謝していた。発表後、高校生のボッチャ会場の片づけを自主的にを行い、お弁当も、SDGs に反するからときれいに完食、参加目的の SDGsを通して地域の人や高校生と繋がることができた。来年また参加します!と言って解散した。



[ヨガ体験]

- 企画者: 竹園高等学校2年生 1名
- 場所: 吾妻交流センター 音楽室
- 時間: 11時~12時30分(受付11時~11時10分)
- 周知方法: チラシ配布(竹園高等学校1・2年生及び近隣中学校1・2年生 1,900枚)
- 対象者: 中学生以上
- 参加者: 12名 定員10名のところ申込8名(中学生4名・主婦4名)、
- 活動内容: 音楽室の床に1人につき約50cm×50cmのパネルを3枚敷きヨガを約80分間行った。マスクをしていて浅くなりがちな呼吸を改善。深呼吸するヨガでリラックス法を学ぶ。さらに講座後には、事前講習をしたヨガ指導者塚本先生から気づいたことや講座を行う際の改善点もご指導を頂く。ヨガの良さを知ってもらいたい、幅広い年齢層の方と交流したいとの高校生の想いが、「この指とーまれ!」で夢が実現できた。



[チアダンス発表・チアダンス体験会]

- 企画者: つくば秀英高等学校 チアダンス部8名(高校1年生・2年生)
- 場所: ①チアダンス発表 BiVi イベントスペース
②チアダンス体験会 モニュメント広場 BiVi イベントスペース
- 時間: ①チアダンス発表 10時30分~10時35分
②チアダンス体験会 11時~11時35分
- 周知方法: チラシ配布 1,948枚(つくば駅周辺の小学校・トナリエクレオなど)
- 参加者: 小学生9名(1名欠席) 抽選を行った
(事前受付 定員10名のところ、29家族31名の申込み)



- 活動内容：1日の流れを確認。モニュメント広場で、リハーサルを行いイベントスペースに移動。オープニングセレモニー後にダンス発表を行った。体験会は、途中雨が降ってきたため、急遽 BiVi つくばイベントスペースに移動。予定を早め 35 分間で体験会を終了。活動時間は短くなったが、カリキュラムを最後まで実施して終了した。自粛生活も長引くなかで、小学生と一緒に身体を動かし、子どもたちを元気づけること、笑顔にすることをゴールに掲げていたので、目標が達成できたと思う。



[ポッチャ体験会]

- 企画者：つくば秀英高等学校 ボランティア部 24 名(1年生・2年生)
- 場 所：つくばセンター広場(晴天時)、イベントスペースと交流サロン(雨天時)
- 時 間：第1回 11時~12時 第2回 14時30分~15時30分
- 周知方法：チラシ2,101枚

(つくば駅近隣の幼稚園、小学1年生~4年生、トナリエクレオなど)

- 参加者：合計25名 第1回13名 第2回12名

事前受付あり定員各12名のところ50家族69名の申込み

- 活動内容：晴用としてセンター広場、雨用としてBiVi内にコートを作成。第1回はつくばセンター広場で実施中に雨、移動はせず60分のところ40分の活動に短縮し行った。第2回は、雨天のためイベントスペースと交流サロンで実施。参加者への対応も、優しく丁寧にレクチャーしており、高校生だけで運営を行えた。当初、試合を2回行うところ、時間が余ったため、試合の勝ち負けなどを臨機応変に考慮し、コートやチームをシャッフルして3回以上行うことが出来た。子どもたちにポッチャの魅力を伝えた高校生は、普段得られない達成感を味わった。

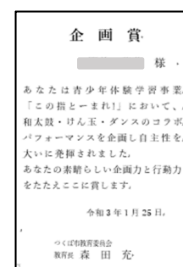


[司会進行]

- 筑波高校2年生 2名
- 司会や各発表会場で受付のお手伝いをした。大勢の前で緊張感を味わいながら、司会をし、受付を通して、多くの保護者の方や地域の子どもたちに接することができた。他の高校生の発表の様子を見て、私たちの「つくばの古道を探検しよう」も成功させたいと思ったようだ。

【中止】※つくば市主催イベント・大会等の取扱い方針を踏まえて残念ながら中止。

この指と一まれ!に参加した中高生全員に教育長名で企画賞を作成し郵送して、この事業を終了とした。(46名分を12月中旬に発送。)



青少年体験学習事業（夏休みイベント）

1 実施趣旨・目的

2021 青少年体験学習事業では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加者が安心して参加できるよう運営する。つくば市に在住する小・中学生（4年生から9年生）を対象にして募集する。目的は、つくば市の地域資源を活用し、豊富な自然環境を体感することで自然や歴史の興味や関心を高めるものとする。

2 実施概要

- (1) 事業名 2021 青少年体験学習事業
 - (2) 事業概要 小学生・中学生向けの科学体験教室「ロボットを指令どおりに動かそう！」
 - (3) 対象 つくば市内在住の小学生・中学生（4年生から9年生）
 - (4) 定員 12名(各班 12名×2班 午前・午後)
 - (5) 日程 8月6日(金) [第1班] 9時30分から正午まで
[第2班] 13時30分から16時まで
 - (6) 実施会場 茨城県立つくば工科高等学校
 - (7) 費用 参加者の費用負担は無し
 - (8) 持ち物 水筒、タオル、筆記用具
 - (9) 服装 特に指定なし ※新型コロナウイルス対策、熱中症対策の対応を行う。
 - (10) 申込期間 令和3年(2021年)7月9日(金)~7月19日(月) 11日間
 - (11) 申込方法 いばらき電子申請システムからの申込み(web)
- 4~6月：企画立案・チラシ作成・HP・電子申請
 - 7月：配布・申込集計・備品購入
 - 9時30分~16時



8月3日の茨城県独自の緊急事態宣言の発令を受け、8/6 から 8/19 までの期間でのつくば市主催イベント・大会等の取扱い方針を踏まえて、本事業の中止を決定。※【開催直前に中止】

青少年の居場所事業

(目的)

第1条 青少年の自主的な活動を支援・促進し及び健全育成に関する円滑なる事業展開を図り、もって青少年の明るい未来を切り開く一役を担うことを目的とする。

(対象)

第2条 つくば市青少年の居場所事業の青少年とは、主に市内在住在学の中学生、高校生を対象とする。

(事業)

第3条 「青少年の居場所」は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 青少年の学習に関する場所の提供
- (2) 青少年のイベント実施に伴う活動場所の提供
- (3) 青少年を対象とした講座等の実施
- (4) 青少年を中心とした地域交流・多世代間交流事業等の実施
- (5) 青少年の自主活動の支援
- (6) 市内高等学校・中学校及び青少年の健全育成に資する団体との連携事業
- (7) 前各号に掲げるもののほか、目的を達成するために必要な事業

(活動拠点)

毎月1回、担当指導員が交流センターにて事業の運営を行う。

開催場所		開催日(毎週)	担当者
大穂交流センター	和室	月曜日 16時～19時	稲葉
松代交流センター	多目的室		古屋仲
豊里交流センター	1階会議室		中山
吾妻交流センター	フリースペース		松崎
筑波交流センター	フリースペース	水曜日 16時～19時	中山
竹園交流センター	小会議室1	木曜日	古屋仲
茎崎交流センター	フリースペース	16時～19時	松崎

青少年の居場所 特別企画

- 実施目的: 青少年の居場所の認知度拡大を図るほか、学年の枠を超えた学校外での関係性構築を目的に実施する。
- 目標: 青少年の居場所の活用方法を中高生に理解してもらい、次回、中高生が青少年の居場所を利用した活動に、取り組むことができるようにする。
- 4~5月: 企画立案、チラシ作成、印刷、配布、HP、電子申請
- 6月から順次開催
- 当日は担当指導員1名、職員1名 サブとして指導員1名 計3名程度で実施
- 会場・日程等

交流センター	開催日	講師	募集	参加	その他
大穂	6/21	なし	170	10	募集人数は市ガイドライン上限を記載しているがコロナ禍のため20名位がよいと思う。
	10/18	なし	170	0	後日居場所に来た学生に聞いたところ チラシの配布が行われなかった 可能性あり。
荃崎 (中止)	8/19	中山ゆり花氏	10	—	非常事態宣言で交流センターが閉鎖。 申込者5名 。9/12まで夏休みが延長。
松代 (日程変更)	8/23→9/13	大森春歌氏	10	4	上記に同じ。申込3名。9/13に オンラインで実施 (内1名インターン生)
筑波	10/25	筑波大学 ジャグリング	12	4	ジャグリングを見てから体験をしたのでとても盛り上がった。
豊里	11/1	筑波大学 ジャグリング	12	11	筑波大生のジャグリングの教え方が上手で参加者は熱心に取り組んでいた。
竹園	11/27	仲川亮氏	20	2	学校行事のない日で企画したが、申込4名。講座内容を見直す必要あり。
吾妻 (中止)	3/28	水谷浩子氏	10	—	当初は年末の予定だった。成人式準備で3月に変更。職員の異動時期のため中止。

■ 特別企画を実施してのスタッフの感想

コロナ感染状況により開催可否が左右された1年だった。それでも参加した中高生の感想は、「このような特別企画があれば、また参加したい。」という意見が多数であったので、来年度も継続して実施したい。しかし、いまだにコロナ感染状況下であり、企画立案も工夫が必要だ。企画の内容、開催形式(オンラインなど)や時期、周知方法など工夫し、今年度の反省を生かしていきたい。今年度、参加人数が一番多かった豊里でのジャグリング教室は、興味関心がある生徒と部活のメンバーが多数参加した。今後の周知方法の参考にしたい。

【チラシ】

中学生・高校生へ 無料開放

カラダを動かそう!

in 大穂体育館

6月21日(月) 16:00-19:00 (19:30まで)

※当日、運動場のほか、学校内での様々な活動があります!

企画

- 活動1 身体測定(身長・体重)と健康診断(血圧)を行います。
- 活動2 スタンプラリー(スタンプラリー)を実施し、スタンプを集めることで、健康診断の結果がわかるようになります。
- 活動3 健康講話(健康講話)を行います。
- 活動4 健康講座(健康講座)を行います。

申込方法: 申込書(申込書)を提出してください。

申込期間: 6月15日(木)～17日(土)

申込場所: 津市健康福祉センター(津市健康福祉センター)

問い合わせ: 津市健康福祉センター 企画課 電話: 099-4683-1111(内線)

つくば市在住の中学生・高校生の方へ

夏休み絵画教室

伊加真 製作

8月19日(木) 15:00-17:00

会場: 健康交流センター 2階 創作室

対象: 中学生・高校生

料金: 無料

申し込み: 申込書(申込書)を提出してください。

申込期間: 8月10日(日)～12日(火)

申込場所: 健康交流センター(健康交流センター)

問い合わせ: 健康交流センター 企画課 電話: 099-4683-1111(内線)

あおぞら絵画散歩

～青空の下で、絵を描こう～

2021年 8月23日(月) 15時～17時

講師: 大塚 春樹さん(津市美術協会の先生)

会場: 健康交流センター 2階 創作室

対象: 中学生・高校生

料金: 無料

申し込み: 申込書(申込書)を提出してください。

申込期間: 8月15日(日)～17日(火)

申込場所: 健康交流センター(健康交流センター)

問い合わせ: 健康交流センター 企画課 電話: 099-4683-1111(内線)

中学生・高校生へ 無料開放

第2弾!! カラダを動かそう!

in 大穂体育館

10月18日(月) 16:00-19:00 (19:30まで)

※当日、運動場のほか、学校内での様々な活動があります!

企画

- 活動1 身体測定(身長・体重)と健康診断(血圧)を行います。
- 活動2 スタンプラリー(スタンプラリー)を実施し、スタンプを集めることで、健康診断の結果がわかるようになります。
- 活動3 健康講話(健康講話)を行います。
- 活動4 健康講座(健康講座)を行います。

申込方法: 申込書(申込書)を提出してください。

申込期間: 10月10日(日)～12日(火)

申込場所: 津市健康福祉センター(津市健康福祉センター)

問い合わせ: 津市健康福祉センター 企画課 電話: 099-4683-1111(内線)

ジャグリング教室

10月25日(月) 16:10-17:30 (17:30まで)

会場: 健康交流センター

対象: 中学生・高校生

料金: 無料

申し込み: 申込書(申込書)を提出してください。

申込期間: 10月15日(日)～17日(火)

申込場所: 健康交流センター(健康交流センター)

問い合わせ: 健康交流センター 企画課 電話: 099-4683-1111(内線)

ジャグリング教室

11月1日(月) 15:25-16:30 (16:30まで)

会場: 健康交流センター

対象: 中学生・高校生

料金: 無料

申し込み: 申込書(申込書)を提出してください。

申込期間: 10月20日(日)～22日(火)

申込場所: 健康交流センター(健康交流センター)

問い合わせ: 健康交流センター 企画課 電話: 099-4683-1111(内線)

中学生・高校生へ 無料開放

勉強でコロナ禍で学んだことを活かそう!

スレッチ体験

11月27日(土) 13:30-15:00

会場: 健康交流センター 2階 創作室

対象: 中学生・高校生

料金: 無料

申し込み: 申込書(申込書)を提出してください。

申込期間: 11月15日(日)～17日(火)

申込場所: 健康交流センター(健康交流センター)

問い合わせ: 健康交流センター 企画課 電話: 099-4683-1111(内線)

カードゲームで『もしも』を学べる みんなで作る防災講座

3月28日(月) 14:30-16:30

会場: 健康交流センター 2階 創作室

対象: 中学生・高校生

料金: 10名程度

申し込み: 申込書(申込書)を提出してください。

申込期間: 3月15日(日)～17日(火)

申込場所: 健康交流センター(健康交流センター)

問い合わせ: 健康交流センター 企画課 電話: 099-4683-1111(内線)

障害者のための生涯学習講座

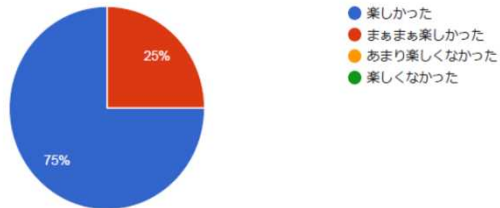
第3次生涯学習推進基本計画における「施策の柱」の一つとして位置づけられている本事業において、障害者の生涯学習の場づくりを行い、余暇活動の充実や「社会力」の育成を図ることを目的とし、今後障害を持つ子どもたちの未来の自立のために、生涯学習についての学びの機会や、また、障害者の生涯学習の環境づくりを整備していくための障害者の家族や支援者へ向けての学びの機会も提供し、障害者など誰もが主体的に取り組むことができる環境づくりを行うことで「誰一人取り残さない社会」に寄与するために実施した。

	第1回	第2回
日時	6月5日（土） 10時～11時	12月11日（土）10時～11時20分
講座	オープンで作る かんたん♪唐揚げ弁当	自分らしさを輝かせ、 豊かに生きる生涯学習体験
講師	食育教室ふくふく 岡富 陽子氏	福祉型専攻科 シャンティつくば 船橋 秀彦氏 理事長
参加者	参加者：5名（保護者のサポートあり） 対象： シャンティつくば学生	参加者： 32名 対象： 保護者家族等
備考	オンライン	オンライン
広報		
チラシ配布先	つくば特別支援学校 シャンティつくば	市内小中学校特別支援学級在籍児童生徒、 つくば特別支援学校、シャンティつくば 小・中学校及び義務教育学校の教職員 （特別支援学級担当等も含む） 交流センター職員や市内体育館施設等 つくば市障害者福祉団体連絡協議会

第1回 アンケート オープンで作る かんたん♪唐揚げ弁当

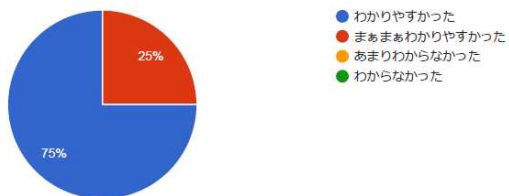
今回の「オープンで作るかんたん♪からあげ弁当」に参加して楽しかったですか？

4件の回答



内容はわかりやすかったですか？

4件の回答



このような講座にまた参加したいですか？

4件の回答



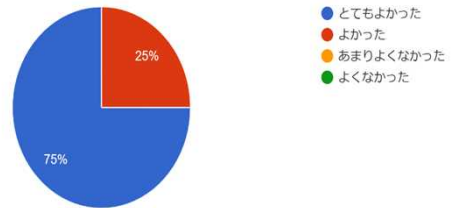
・家族が補助できる環境にあれば（ズーム環境も含めて）このような取り組みは、よかったです。

・美味しい楽しい企画をありがとうございました！自分でがんばってつくりました。パパや弟も食べて、おいしかったと言われてとてもうれしかったです。先生にもほめられて、うれしかったです。お肉に粉をつけるところが大変だったけど、さいごまでがんばってつくってよかったです。

第2回 アンケート 自分らしさを輝かせ、 豊かに生きる生涯学習体験

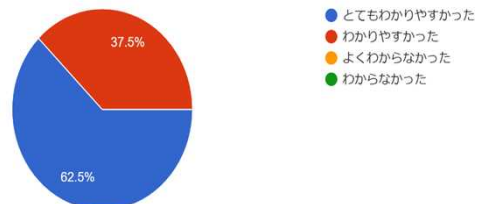
本日の講座に参加してみたいかがでしたか？

8件の回答



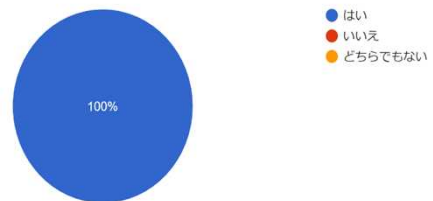
内容はわかりやすかったですか？

8件の回答



このような講座に参加したいですか？

8件の回答



・後3年後正に社会出る息子を持つ母として、シャンティさんのような世界があることは少なからず明るい希望が持てます。息子と家族とよく今後について向き合い、話し合う機会をきました。ありがとうございました。

・障害学習活動の家庭生活は、調理や掃除などを楽しく学べる機会があれば参加したいです。

・大学で障害について学んでおります。大学での講義は理念的なものが多く、また特別支援学校を卒業するまでの内容がウェイトを占めているため、本日、卒業後・生涯に渡っての学びについて実践的・具体的な報告をお聞きできたことはとても勉強になりました。障害のある青年はもちろん、子供やお年寄り、地域の人も一緒に参加できるように、生涯学習が当たり前のものとして広まっていくと良いと思いました。

社会教育指導員体制

【総括】

岩村一代

【社会教育班】 社会教育、家庭教育に関する事業

岩村 一代(班長) 日比野 明子 島村 久美

【青少年教育班】 青少年体験事業、居場所事業

古屋仲 純子(班長) 中山 克巳 稲葉 順子 松崎 美希

【生涯学習推進班】 障害者のための生涯学習講座の推進、生涯学習事業

永野 泉(班長) 福田 綾子 石塚 絵梨奈

編集後記

令和3年度の家庭教育学級は、コロナ禍2年目で、ほぼすべての学級は動画の配信となりました。こうした中、動画のコンテンツ(資料1)は、令和2年度に22コンテンツ、令和3年度には33コンテンツに増えました。学級で選択できる動画数は増えましたが、学級生の動画に対する関心は、少しずつ薄れてきているように思われます。下記の表(資料2より)は、地区ごとにまとめた令和元年度の会場型対面講座の参加数と令和2年度、3年度の動画視聴申込み数を比べたものです。視聴者(学級生)の動画への興味・関心の移り変わりが、地区ごとの集計から見るができます。

【地区別家庭教育学級申し込み数の推移】(資料2より)

令和元年度は、すべての学級は講師との対面講座が中心でした。北部地区では、年に2回から3回の講座を企画し、参加者も平均30人前後の保護者が参加した学級もありました。数字が突出している学級は、児童・生徒も講座に参加した親子講座の形態がとられたと思われま。北部地区の活発な活動がうかがえます。

令和2年、3年度にコロナ感染症が拡大すると、その感染防止のため、家庭教育学級はほぼすべての学級が動画の視聴に変わりました。動画申し込みの煩雑さからか、Wi-Fi環境の悪さからか、北部地区、南部地区の申し込み数が対面講座参加数に比べて大きく減少したことがわかります。

南部地区(茎崎地区)は、対面講座申し込み数が動画視聴数より上回るものの、その数は少なく、家庭教育自体の関心が薄れているのかもしれませんが。小学校入学前の乳幼児期や幼稚園・保育所での意識向上のための家庭教育の周知が必要だと思われま。

【北部地区】一部抜粋

(家庭教育学級実施報告書より)

	R1 講座形態	参加人数	R2 講座形態	参加人数	R3 講座形態	参加人数
沼崎小	対面	368人	動画	18人	動画	13人
今鹿島小	対面	125人	動画	11人	動画	6人
上郷小	対面	142人	動画	13人	動画	6人
豊里中	対面	427人	動画	46人	動画	0人

【南部地区 茎崎学園】一部抜粋

茎崎第二	対面	53人	動画	14人	動画	14人
茎崎第三	対面	29人	動画	17人	動画	8人
茎崎中	対面	20人	動画	2人	動画	11人

一方で、中心部、義務教育学校（大規模校 学森、春日、みどりの）は、動画視聴数も多く、動画を通して家庭教育に関心がある保護者が多いと思われます。

大規模校は従来の対面講座より、動画視聴数が平均的に高く、仕事を持つ保護者や会場に参加できなかった保護者が、空き時間を使って視聴できる動画を好まれる傾向を感じます。

【中央部】一部抜粋

（家庭教育学級実施報告書より）

	R1 講座形態	参加人数	R2 講座形態	参加人数	R3 講座形態	参加人数
吾妻小	対面	156 人	動画	46 人	動画	23 人
吾妻中	対面	126 人	動画	25 人	動画	70 人

【義務教育学校】一部抜粋

春日	対面	138 人	動画	233 人	動画	304 人
学園の森	対面	108 人	動画	344 人	動画	366 人
みどりの	対面	実施なし	動画	70 人	動画	65 人

この様に、一部地域の抜粋になりますが、数字からも見える様に課題を感じるようです。今後の家庭教育学級の展開は、コロナの感染状況を見ながら、動画と対面講座のハイブリッド型の実施を考えていくことになりますが、今回一年間の活動をまとめた「令和3年度家庭教育学級実施一覧」を見て、地域ごとの意識や、これからの家庭教育普及に向けての課題を見直す良い機会となりました。今後も課題解決と、さらなる家庭の教育力の向上を、社会教育指導員全員で推し進めていきたいと思ひます。

総括指導員 岩村 一代

つくば市家庭教育学動画配信講座講師一覧

資料1

番号	講師名	プロフィール	配信終了日	タイトル及び講演内容	時間	学びの柱				
						①	②	③	④	⑤
						子どもの理解とその発育と心	メディア学習	人権学習	食育	伝統文化の伝承
1	近藤 卓	日本ウェルネススポーツ大学 教授	R3 8/19	自尊感情をどう理解し育むか	41分	★①		③		
2	近藤 卓			いのちを学ぶ・いのちを教える	50分	①		★③		
3	水野 智美	筑波大学 医学医療系 准教授	R3 8/23	子どもの自己肯定感を高める子育て ①子どもへの関わりの大原則 ②親がついてしまうNGな対応 ③子どもの特性に合った対応	64分	★①		③		
4	戸部 浩美	東京大学大学院医学系 特任助教	R3 10/10	親子で高めるレジリエンス～立ち直るか～ イライラしても失敗しても大丈夫！I'm OK, You're OK, We are OK!	68分	①				
5	櫻井 裕子	助産師	R3 8/30	保護者から子どもへ「性の話し」 幼児から小学校低学年まで	46分	①		★③		
6	櫻井 裕子			保護者から子どもへ「性の話し」 小学校高学年から	60分	①		★③		
7	中井 聖	思春期保健相談士	R3 7/29	お家で伝える性教育（幼児編）	85分	①		★③		
8	中井 聖		R3 8/16	お家で伝える性教育（二次性徴編）	80分	①		★③		
9	中井 聖		R3 8/19	お家で伝える性教育（思春期編）	100分	①		★③		
10	小糸 曾 健	情報リテラシー講師	R4 2/25	正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報モラル～	50分		②			
11	矢野 さと子	NPO法人子どもとメディア 関東事務局長	R3 8/26	ICT時代 子どもたちに必要なことは！	80分		②			
12	谷川原 奈都子	茨城県地域活動連絡協議会 会長	R3 7/28	スマホ育児の落とし穴	56分		②			
13	安永 知栄	わらべうたの会つくばこ主宰	R3 7/29	わらべうたと手遊び（乳児編）	20分					⑤
14	安永 知栄	わらべうたの会つくばこ主宰	R3 7/29	わらべうたと手遊び（幼児編）	23分					⑤

15	須永 祐慈	NPO法人ストップいじめ！ナビ副代表	R3 8/26	コロナ禍で子どもはどんなストレスを受けてきたか	80分	★①		③		
17	麻見 直美	筑波大学 体育系 准教授	R3 9/12	意欲を上げる食生活～やる気UPメシ～	45分				④	
18	麻見 直美			子どもの健康と食生活～からだところの成長メシ～	45分				④	
19	佐藤 恵 野元 優里恵	管理栄養士		子どもの発育と栄養 (3' 20) (1) やさいとなかよし やさいスタンプ くいず (5' 00) (2) 朝ごはんて身体が変わる (6' 14) (3) 血液の源 鉄分 (6' 20) (4) 骨の健康に大切なカルシウム (5' 20) (5) おやつのお食べ方、選び方 (5' 12) (6) スポーツ栄養～はじめよう、食トレ・基礎～	30分				④	
20	金敷 卓弥	社会福祉士		体罰等によらない子育てを広げよう！ ～みんなで育児を支える社会に～	38分			③		
21	齊藤 智絵美 金子 彩奈 中島 千尋	救急救命士		救急講習 ～子ども編～ (4' 00) (1) 子どもに多い救急について (5' 00) (2) 熱中症 (2' 00) (3) 蜂に刺されたら (6' 14) (4) 心肺蘇生法 (5' 20) (5) 誤飲 (6' 20) (6) 救急相談 救急車を呼ぶか迷った時	30分	★①		③		
22	生涯学習推進課	社会教育主事 社会教育指導員		家庭教育講話 (6' 35) (1) 家庭教育について (5' 29) (2) 規則正しい生活習慣 (4' 05) (3) 自分のことは自分でする心を育てる (7' 06) (4) 自分を大切にすることを育てる	23分	★①		③		
23	Avi Landau	英語講師		家庭教育講話（英語版） 家庭教育講話の英語翻訳とナレーション	23分	①		3		
24	櫻井 裕子	助産師 看護師、思春期保健相談士 年間80回程度の講演を実施。最近ではフジTV「ホンマでっか？！TV」 NHKなどメディアにも出演。		答えられますか？子どもからの「性」の質問（幼児から小学校低学年編） 00:00 巻頭 01:40 どうしておとこのこにはおちんちんがあるの？ 07:24 どうしてパンツはくのか？ 18:07 おかあさん？ちがが？ 22:51 赤ちゃんはどうやってできるの？ 30:11 おまけ（出産）	80分	1		③		
25				答えられますか？子どもからの「性」の質問（中中学年以上編） 00:00 巻頭 00:57 Sexってなに？ 03:45 Sexってなに？情報編 11:39 Sexってなに？考え方編 23:39 つながるBOOK	38分	1		③		
26	小木曾 健	情報リテラシー講師 IT企業で勤務の傍ら、1500回以上の講演実績あり。 最近ではNHKクローズアップ+にも出演。		絶対に失敗しないスマホの渡し方 (1) PART①（14' 55） (2) PART②（16' 30） (3) PART③（15' 02）	46分		②			

27	須永 祐慈	NPO法人ストップいじめ！ナビ副代表 いじめについて、学校を中心に、講演実績あり。		子どもが求める子どもの居場所～いじめの問題を考える～ 00:00 巻頭 00:23 「いじめの増減」の議論を超えて 23:48 そもそも「いじめ」とは 43:49 いじめ発生のストレス要因と気持ち 62:00 子どもたちをどう受け止めていくか	85分	1		③		
28	成田 奈緒子	文教大学教授 小児科医 医学博士 「子育て科学アクシス」代表		正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう ①寝ること・食えること・からだを動かすことが基本です 00:00 巻頭 04:21 脳の育ち方 10:20 大切な睡眠 18:20 脳は作りかえられる 25:31 朝の過ごし方 33:46 小中学生の睡眠 36:42 寝る時間と心身 42:06 コロナ禍の今、不安と攻撃性 47:30 脳の育て直しと大人の不安	55分	①		3		
29				正しい脳育てのための家庭生活を学ぼう ②ストレスフリーな家庭生活のためペアレンティングを学ぼう 00:00 巻頭 05:04 ペアレンティング 10:20 心配と信頼 20:19 家庭の軸 31:00 脳と神経 41:15 デジタルの心理学 45:50 デジタルをどう防ぐ	60分	①		3		
30	柴崎 みゆき	つくば国際大学准教授 管理栄養士		無駄なく、楽しく、健康な食事づくりのヒント (40' 05) (1) 1日に、いつ、何を、どれくらい食べたい (20' 45) (2) 主食の (20' 32) (3) 主菜にお魚料理ってなか (40' 52) (4) 手軽に野菜料理を一副菜の野菜は旬のもの、地場産物を取り入れてみませんかー (24' 11) (5) だしのおまみを活かして	40分×2 20分×3	1			④	
31	大久保 明子	東京都スクールカウンセラー		少し先に迎える思春期に心の問題を起こさないような幼少期の子育てについて 00:00 巻頭 01:18 褒め方・叱り方 20:00 子どもの能力と成長に合わせた子育て 47:00 男女差・兄弟姉妹間への関わり	68分	①				
32	野井 真吾	日本体育大学教授		子どものからだとこころの今 ～子どものからだの”おかしさ”を科学する～ すぐ”疲れた”という子、授業中じっとしてられない子、朝おきられない子・ 子どもの”からだと心”がどこかおかしいと言われています。この問題の実態を科学的に解明し、解決の糸口をぜひ先生のお話から見つけていただける動画です。	60分	①				
33	萩上 チキ	社会調査支援機構チキラボ所長 NPO法人ストップいじめ！ナビ代表 ラジオパーソナリティ		コロナ禍のメンタルケアの備えのために ～社会抑うつ度調査から見えるもの～ コロナ禍での行動規制や孤独感、抑うつ感、思うようにコミュニケーションが取れない中、ストレスを抱える人の心の変化を、データをもとにお話します。	90分			3		

※学びの柱が2つになる講座は、
★印が主な学習内容になります。

R1年度 家庭教育学級 対面講座

学園名	学校名	合計
秀峰義務教育学校	秀峰筑波 1年	443
計 443		
大穂学園	大曽根小	548
	前野小	18
	要小	105
	吉沼小	96
	大穂中	35
計 802		
豊里学園	沼崎小	368
	今鹿島小	125
	上郷小	142
	豊里中	427
計 1062		
吾妻学園	吾妻小	156
	吾妻中	126
計 282		
輝翔学園	谷田部小	45
	谷田部南小	202
	柳橋小	50
	谷田部中	実施なし
計 297		
茎崎学園	茎崎第二小	53
	茎崎第三小	29
	茎崎中	20
計 102		
義務教育学校	春日学園	138
	学園の森	108
	みどりの	実施なし
計 246		

R2年度 家庭教育学級 動画配信

学園名	学校名	合計
秀峰筑波義務教育	秀峰筑波 1年	26
計 36	7年	10
大穂学園	大曽根小	22
	前野小	8
	要小	11
	吉沼小	5
	大穂中	5
計 51		
豊里学園	沼崎小	18
	今鹿島小	11
	上郷小	13
	豊里中	46
計 88		
吾妻学園	吾妻小	46
	吾妻中	25
計 71		
輝翔学園	谷田部小	0
	谷田部南小	3
	柳橋小	4
	谷田部中	6
計 13		
茎崎学園	茎崎第二小	14
	茎崎第三小	17
	茎崎中	2
計 33		
義務教育学校	春日学園	233
	学園の森	344
	みどりの	70
計 647		

R3年度 家庭教育学級 動画配信

学園名	学校名	合計
秀峰筑波義務教育	秀峰筑波 1年	12
計 12	7年	校内から講師がオンライン配信
大穂学園	大曽根小	62
	前野小	12
	要小	8
	吉沼小	6
	大穂中	10
計 98		
豊里学園	沼崎小	13
	今鹿島小	6
	上郷小	6
	豊里中	0
計 25		
吾妻学園	吾妻小	23
	吾妻中	70
計 93		
輝翔学園	谷田部小	54
	谷田部南小	12
	柳橋小	6
	谷田部中	9
計 81		
茎崎学園	茎崎第二小	14
	茎崎第三小	8
	茎崎中	11
計 33		
義務教育学校	春日学園	304
	学園の森	366
	みどりの	65
計 735		

会 議 録

会議の名称	令和4年度第2回つくば市社会教育委員会会議			
開催日時	令和5年3月15日 開会 10:00 閉会 11:45			
開催場所	つくば市役所2階 会議室203			
事務局(担当課)	教育局生涯学習推進課			
出席者	委員	伊藤 達也委員(議長)、鈴木 もえみ委員(副議長)、坪 文雄委員、飯岡 宏之委員、稲葉 房子委員、上田 孝典委員、金井 恵美委員、高田 正澄委員、谷村 安子委員、長橋 進也委員、中山 正巳委員、平野 浩之委員、布浦 万代委員、皆川 幸枝委員		
	教育局	森田 充教育長、吉沼 正美教育局長、飯泉 法男次長、久保田 靖彦次長		
	中央図書館	柴原 徹館長、沼尻 祐一副館長		
	文化芸術課	矢口 一三補佐、佐藤 真紀係長、矢口 誠係長		
	事務局 生涯学習推進課	澤頭 由紀子課長、色川 純子課長補佐、渡辺 幹高係長、福田 真一係長、神立 茂盛係長、渡邊 亮太主査(社会教育主事)、石澤 弘美主任主査		
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0
非公開の場合はその理由				
議題	(1) 令和5年度社会教育事業概要について (2) 社会教育講座「子育てたの・らくセミナー@」について			
会議録署名人		確定年月日	年 月 日	

会 議 次 第	1 開会
	2 挨拶
	3 議事
	(1) 令和5年度社会教育事業概要について
	(2) 社会教育講座「子育てたの・らくセミナー@」について
4 意見交換	
	今後の社会教育委員会議について
5 その他	
	(1) コミュニティ・スクールの概要について
	(2) 令和4年度筑波山地域ジオパーク学術研究助成金成果発表と教育シンポジウムについて(報告)

<審議内容>

1 開会

2 挨拶

○事務局(色川課長補佐)

つくば市社会教育委員会議運営規則第7条の規定によりまして、会議は在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない、と定められております。本日の出席委員は14名ですので、会議を開会いたします。それでは、つくば市社会教育委員会議運営規則第4条第1項の規定によりまして、議長は会議を主宰するとありますので、議事進行につきましては、伊藤議長にお願いいたします。それでは、よろしくお願いいたします。

3 議事(1) 令和5年度社会教育事業概要について

○伊藤議長

それでは早速議事に入ります。まず、「令和5年度社会教育事業概要について」を議題といたします。あらかじめ資料は配布してありましたので説明は省かせていただきまして、まず事前の質問あるいは要望に答えて、続いて皆さんから御意見を賜りたいと思います。事務局お願いいたします。

○事務局(色川課長補佐)

谷村委員から御質問いただいておりますので、読ませていただきます。スポーツ振興課スポーツ振興係へ質問です。資料1の6ページを御覧ください。令和5年度社会教育事業概要についてです。スポーツ振興事業令和5年度の計画、5番目について、中学部活の指導者の確保は早急に取り組まなければならない問題です。スポーツ振興課としては、具体的にどの程度係わっていかうとしているのかという質問を頂いています。こちらの回答としてスポーツ振興課スポーツ推進係から、スポーツ庁が12月に示した「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」において、地域クラブ活動は部活動とは異なる学校の教育課程外のスポーツ・文化活動として位置付けられています。こうしたことからスポーツ振興課としては、主に地域クラブ活動を担う質の高い指導者の確保に係わっていく考えです、と回答をいただいております。もう1点、谷村委員からです。10ページを御覧ください。生涯学習課青少年教育係への意見です。二十歳の集い事業の目標値についてですが、人間関係を継続していける大切な機会だと思っておりますので、もっと目標値を高くして、多くの成人が集う魅力ある事業になるように努力すべきと思っております、という御意見をいただいております。

○生涯学習推進課神立係長

青少年教育係の神立と申します。二十歳の集い参加者について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となりましたが、令和3年度及び令和4年度は目標値を上回る方が参加されています。目標値については、令和

4年度の参加者数を参考に、来年度は1,900人と改めます。また、つくば市から転出した学生等に更に多く参加いただけるよう、二十歳の集い実行委員会とともに工夫していきます。以上です。

○伊藤議長

ありがとうございました。谷村委員よろしいですか。それでは皆さんから御意見要望ございましたら、中央図書館の1ページから2ページまで御意見、要望ありますでしょうか。よろしいでしょうか。次に文化芸術課の3から5ページです。はいどうぞ皆川委員。

○皆川委員

皆川です。4ページの地域交流センター講座についてお伺いしたいと思います。たくさんの講座をやっていただいているのですけれども、この講座をどういうものをするというのは、地域交流センターごとに決めているのでしょうか。今どのように決めているのかお聞きしたい。

○文化芸術課矢口係長

文化芸術課地域交流支援係矢口と申します。よろしく申し上げます。各交流センターで主催する地域交流センター講座ですが、委員がおっしゃるとおり各交流センターごとに講座の内容の企画をして、その年の講座の流行等も取り入れながら、講座の選定を行い前期講座と後期講座に分けて市民から募集を募り講座を実施しています。

○伊藤議長

ありがとうございます。

○皆川委員

社会教育委員会議や他の担当課からこのような講座を是非やって欲しいということがあれば、検討してもらおう余地はありますか。

○文化芸術課矢口係長

そうですね。同じく講座の参加者からのアンケート等も実施しておりまして

こういった講座をやって欲しいというお話も取入れたり、外部の講師希望者の方がこのような講座をやりたいが講師としてやらせてもらえませんか、というお話も各交流センター受けていますので、講座の選定は可能かと思います。

○伊藤議長

他にございますか。はい、上田委員。

○上田委員

上田です。同じく4ページの地域交流センターの講座についてですが、令和3年度目標値に対して実績値が随分倍以上なのですが、おそらくこれはオンラインの配信の視聴者も含んでいるのかお聞かせいただきたい。2点目は、これは要望といいますか希望といいますか、趣味教養的な講座は、その後の人間関係の継続、地域の中の繋がりを作っていく上でもサークル等に継続的に移行していくことがあるかと思うのですが、そのようなところに対して地域交流センター職員を中心にどの程度配慮といいますか、意識を持ちながら講座を進めているのかどうか、この意識を少し持っていただけたらと考えています。同じく趣味教養的な講座だけではなくて、いわゆる学習型の講座、最近は特に全国的にはウクライナの戦争中心に、防衛費の問題等もありますし、平和というのをどのように考えていくのかという平和学習講座やあるいは地域の中に外国人が増えてきている中で、日本語の問題をどうするのかあるいはコミュニティ・スクール等を進めていく上で、地域と学校の連携あるいは子供や学校をどのようにサポートしていくのか、あるいは部活動の地域移行の問題、そういった地域の課題について考えるような学習の機会というのも、少し意識的に企画を立てていただけたらなど。参加者はどれくらいあるのかわかりませんが、そのようなところに対して地域が目を向けていく機会は作っていく必要があると思っています。2点目は私の希望です。1点目についてお願いします。

○文化芸術課矢口係長

1点目の御質問についての回答ですが、令和3年度の実績2,628人の参加者す

べて講座は対面で行っていますので、その実績の数値です。補足になりますが、令和4年度の実績値集計中とありますが、令和4年度は3,012名講座の参加者がございましたので、追加させていただきます。2点目の御要望につきましては、講座の参加を機に、サークル活動への移行についても事例は毎年あります、その支援も交流センター職員の業務の中にありますので、市民活動、サークル活動についての支援は積極的に行っていきたいと思っております。

○伊藤議長

他にございますか。

○鈴木委員

2点質問があります。受講者が定員に満たなく開催見送りになった講座はあるかというのが1点。実は前も、すごく良い講座だったのに募集人数が多すぎて開催されなかったというのがあるので、とても気になっています。お金の貸し借りのことで困っている人のための講座だったのに、募集が3人しかいなかったから流れたという経緯があったので確認したいのと、あつという間に定員(人気)になる講座は何があるのか、最近の傾向と二点教えていただけますか。

○文化芸術課矢口係長

文化芸術課矢口です。現実的に受講できなかった講座は、具体的に今調べていなくて提示するのが難しいのですが、基本的には募集定員の半数に満たない講座については受講をしないという内部で取り決めがあり、それに該当した講座が数件ありました。定員オーバーで、募集途中で締め切ったり、抽選で参加者が受講したものは、主に料理に関係するものやお花のアレンジメント、プリザードフラワー等手芸関係が割と人気がある。あとはアウトドア系、キャンプ入門等流行のものは人気が高くすぐ募集定員に達するか募集人数をオーバーして抽選で参加者を決めざるをえないということで、中には抽選から漏れた方からも、募集枠を増やしてもっとやって欲しいとか2回開催でやって欲しいという要望もありましたので、次の講座を開催する際に、取り入れたりなるべく多

くの方に参加していただいて、教養を深めることに繋げていきたいということで交流センターの方と連携して講座の企画を実施しております。

○伊藤議長

他にございますか。

○高田委員

スポーツ振興事業に関して、資料では6ページです。障害スポーツの推進を図るための施策を展開すると書いてありますので下の方に5年度の計画として、障害スポーツを支援するためのシステムの構築に関する業務委託、用具の貸し出しや先進自治体の視察等を行う。この中でどのようなスポーツをお考えなのか。それから、先進自治体の視察は、例えば具体的に決まっているのでしょうか。よろしくをお願いします。

○色川課長補佐

スポーツ振興課が本日欠席のため大変申し訳ございませんが、高田委員の御質問2点をお預かりして、後日回答いただくようにお話をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○伊藤議長

よろしいでしょうか。生涯学習推進課の部分も含めて御意見、御要望ありましたらどうぞ。よろしいですか。それでは第1議案につきましては決定いたしました。ありがとうございます。次に2番目社会教育講座について議案とします。

○生涯学習推進課福田係長

生涯学習推進課社会教育係福田と申します。よろしくお願いたします。今回、社会教育講座「子育てたの・らくセミナー」楽しく楽に参加できるセミナーということで開催しました。昨年の12月6日、13日全2回にわたり、荃崎の交流センターで行いました。定員20組に対して応募者18組の応募がありました。今回の講座の特色は、講座を託児スペースと講義のスペースの二つに分けて行いました。あとは、保育ボランティアによる子供とボランティア一対

一の託児の形をとり講座を開催しました。開催の経緯ですが荃崎地区やみどりの地区からは家庭教育学級の参加者数が少ないということがありまして、これは何が要因になっているのだろうか。ということを検証するために今回企画しました。要因は、場所が行きづらいのか。時間や曜日、講座の内容が要因になっているのか。これを実際に参加者のアンケートから要因を探ってみることで、今回荃崎地区で開催しました。続きましてアンケートの結果です。本講座を何で知りましたかという質問で、一番多かったのが34%でつくっこすくすくアプリというのがあるのですが、これは市の健康増進課で子育て世代向けに配信しているアプリです。このアプリに、今回の講座のお知らせを載せてそれを見た方が御応募いただきました。その他には、25%広報つくば、同じく25%チラシポスターと約半数の方がまだ紙媒体からの情報を得ていること知ることができました。2問目、講座の内容はいかがでしたかという質問に対しては、83%の方が参考になった、9%の方がまあ参考になったということで、今回の講座内容は9割を超える方が参考になったという御意見をいただくことができました。第3問、講座を申し込むときには何を優先しますか、という設問で一番多かったのが75%で講座の内容を重視する、ということが結果として得られました。続いて講座に参加しやすい曜日を聞きました。平均して月曜日から金曜日までが大体20%前後ということです。土曜日曜は1桁台です。参加しやすいのは平日という傾向が見られる結果を得ることができました。続いて講座に参加しやすい時間帯を聞きました。59%が午前中、35%が午後、残りは夕方と夜で1桁台です。日中であれば参加しやすいという傾向がアンケートの結果からわかりました。続いての設問は、今回お子さんを預けての講座でしたがお子さんを預けることについての感想を御自由に御記入ください、という自由記載の結果です。特徴的な回答は、講座と託児が分かれていたので、講義に集中して参加することができたということです。子供と離れることで少しリラックスする時間も得ることができたという特徴的な回答をいただくことができました。今

回のアンケートから得られたものをまとめました。一つ目は、情報収集は従来の市報やチラシだけではなくアプリ等電子媒体も利用して情報を集めているということがわかりました。2番目は、今回の講座の内容は参加者の方からおおむね好評な結果を得ることができました。3番目は、参加する講座を選ぶ際、時間や場所よりも意外と内容の方を重視しているという傾向が見られました。4番目に参加しやすい曜日は、土曜や日曜の休日よりも月曜日から金曜日までの平日の方が参加しやすいという傾向がわかりました。参加しやすい時間帯は、夕方や夜の時間帯よりも午前午後の日中が参加しやすいという傾向があることがわかりました。6番目に子供を預けることで、講座に集中しリラックスすることもできたという効果もあったということがわかりました。これを踏まえて、今後の講座の形態を考えてみました。講座の周知は紙媒体だけではなく、アプリ等の電子媒体も利用していきたいと思っています。開催の日時も月曜日から金曜日まで参加しやすい午前中に設定していこうと思っています。講座の内容は今回満足度が高かったので、今回の講座を継続して続けていきたいと思っています。子供を保育ボランティアさんに一対一で預けることで、講座に集中することができリラックスもできることから、講座と保育は別々に実施するという講座の形態をとっていきたいと思っています。講座の今後の展開のイメージは旧町村の地区ごとに、家庭教育学級の知名度の向上を図っていきたいと考えております。旧町村地区で大体地区を分けて今回荃崎で行いましたので、例えば次は桜地区で講座の開催、次は筑波地区に次は大穂、豊里地区にその次は谷田部地区にその次はまた荃崎地区に戻ってくるというような講座の展開を事務局で考えています。説明と報告は以上です。

○伊藤議長

報告でしたが、何かございますか。

○金井委員

金井と申します。この講座に、保育ボランティアとして携わらせていただき

ました。印象をお話させていただくと、荃崎でやっていただいたけどいろいろな地区の方が参加しているのだなあ、友達と来ているというより普段、親子で過ごしている方がこの講座を見て参加しようと思って来てくださる方が多いのかなと感じました。保育ボランティア側だったのですが、生涯学習推進課の方々と保育ボランティアさんが、広域にわたっていろいろな地域の保育ボランティアさんと生涯学習推進課がすごくちゃんと繋がっていて、だからいろいろな地区の方が参加されても、顔見知りの方がいたとか、顔見知りじゃない方もアンケートにあったように、安心してくださるような保育ボランティアができていたのかなと思いました。生涯学習推進課の日頃の連携が伺えてとてもうれしかったです。来た時と帰るときでお母さん達の表情も違ってとても満足して達成感というかりラックスしたというか、子供と離れた時間を過ごせて帰られている姿を見ました。要望としては、いろいろなところでこのような講座をやっていただけたらいいと思いました。ベテランボランティアさんで、皆さん大体子育て経験のある方なので、専門家の先生方とお話する機会もすごくお母様方は喜んでいたのですが、本当に一般の保育ボランティアさんと学級生(保護者)の方が、接する茶話会のようなものもあつたら楽しいのかなと感じました。以上です。

○伊藤議長

はいありがとうございました。報告ですが、よろしいですか。

○長橋委員

長橋です。若い方の参加だったので、本講座を何で知りましたかという質問でアプリが多かったかと思うのですが、ホームページがそれに比べて少ない印象を受けるのですがホームページにはどのような形で掲載していたのでしょうかという質問です。お願いします。

○生涯学習推進課福田係長

生涯学習推進課福田です。ホームページは、基本的にチラシをお配りさせて

いただいたのですが、そこから一旦ホームページの方に飛んで、そこから申し込みのフォームにまた飛んで申し込むという形だったのですが直接ホームページに行って、今回の講座を知る方は、チラシ経由とかアプリ経由で来た方がほとんどで、ダイレクトでホームページからはあまりいなかったという傾向が見られました。

○長橋委員

ありがとうございます。ホームページで検索を結構するのですが、意外とヒットしないという印象を受けていまして、このような必要な講座や子育てで相談したいことをホームページの検索欄で入れると、引っ掛かるシステムにすると、もう少しホームページ利用の方利用促進に繋がると思いました。よろしくをお願いします。

○伊藤議長

貴重なご意見ですのでお聞きいただきたい。それでは次は意見交換です。これは前々回も含めまして上田委員からこの会の在り方について、貴重な御意見と要望がありました。そういうことを慎重に審議しましょうということで検討いただいたわけですが、事務局でも真剣に受けとめ、今後の在り方について進めたいということです。今日は「今後の社会教育委員会の会議について」という大きな意味になっていますが、少し時間を取りたいと思いますのでよろしくお願いします。

○澤頭課長

生涯学習推進課課長澤頭です。よろしくお願いいたします。それでは次第4の今後の社会教育委員会議についての意見交換に入らせていただきます。例年委員の皆様にお集まりいただきまして、年に2回の社会教育委員会議を開催しております。取り扱う議題として、社会教育事業の結果報告や事業計画となっておりますが、今後つくば市の社会教育をさらに推進していくために、今後どのような案件について議題としていくのか、そして社会教育委員会議の在り方を

含めまして、委員の皆様の忌憚のない御意見を頂戴し、今後の社会教育推進の参考とさせていただきたいと思っています。では私から、改めて社会教育委員の皆様の役割について御案内させていただきます。資料3を御覧ください。資料3社会教育委員の職務について、こちらは社会教育法第17条に規定されています。社会教育法第17条の第1項を、この場で確認したいと思います。社会教育委員は社会教育に関し教育委員会に助言するため次の職務を行う。社会教育に関する諸計画を立案すること。定時または臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じこれに対して意見を述べること。前2号の職務を行うために必要な調査研究を行うこと。このように規定されております。次に資料5を御覧ください。こちらは昨年10月市民ホールとよさとで行われました県南県西地区の社会教育委員及び事務局を対象にした研修会における各市町村の事例を記録したものです。この研修会には大変お忙しい中、平野委員、高田委員、稲葉委員、谷村委員の4名に御出席いただきました。ありがとうございました。ここで他市の事例の紹介がありましたので、御報告させていただきます。土浦市です。社会教育委員はつくば市同様16名。生涯学習推進委員協議会の委員を兼務しています。活動としては、年に2回の会議を開催。市の活動方針に関することを議題とし質疑を行います。令和2年には、成人式、成人年齢の引き下げについて、令和4年には小学校の建設工事について議題としたようです。次に、かすみがうら市です。委員は15名。年に2回の会議を開催。1回目が事業概要、2回目が事業の方向性についてです。守谷市です。同様に、年に2回の会議を開催し、年に1回は研修会を開催しているようです。結城市です。委員は15名。公民館審議会を兼務しています。年に3回の審議会、自主研修が3回です。この他、横浜市は委員の任期2年を一つの単位とし、一つのテーマについて委員の間で調査研究を行っているようです。以上他市の事例を御紹介しました。これらを参考としつくば市では今後どのように社会教育委員会議を実りあるものとしていくべきか、委員の皆様の御意見を頂戴したいと考えています。どうぞ

よろしくお願いいたします。

○伊藤議長

では御意見、御質問をお願いいたします。

皆川委員どうぞ。

○皆川委員

皆川です。先日、生涯学習推進協議会の傍聴をさせていただきました。そこで結構ボランティア手話のサークルの方やいろいろな職種の団体の方が出席をしていました。なぜボランティアを始めたのかというきっかけが、公民館講座だったということです。先ほど上田先生もおっしゃったとおり、趣味の講座もすごく地域の繋がりを作るという意味ですごく大事だと思います。手話やコミュニティ・スクール、平和教育、それから外国人の方が本当に非常に増えていますので、日本語ボランティアが足りないという現状もあります。きっかけになるような講座を地域交流センターでやってくという、そのために社会教育委員も本当にいろいろな専門分野の方がいらっしやっていますので、委員の方からこういう課題があるよ、今、地域でこういうのがあるよというのを出していただいてそれを交流センターで何か参考になる講座があれば、やっていくような形がとれると。そこから派生したボランティアはあくまでも自主組織なので、押し付けることではないのですが、地域の本当に困っている人たちにボランティアとして繋がっていくのではないかという漠然としたイメージですが、そういう形でこの社会教育委員会は今年2回ですが、何か課題の抽出ができたらいいのかなというのが私の今のイメージです。

○伊藤議長

他にございますか。

○坏委員

坏です。この前、上田委員からこの事が出たときに、私も非常に賛同して私も何年か委員をやっていますけれども。やりがいがあったのは、教育長から、

二十歳の集いの諮問をかけられたときです。他の社会教育委員会議の研修会に出ますと、視察や研修会を持ったとかたくさん話があります。市町村によって随分違うと。社会教育委員そのものが自立してないような気がします。できれば議長の声かけで我々だけで研修会や視察をやる等。一生懸命、行政の方はやってくださっているのですが、やりがいという点ではあまり無い。これは、行政の方よりも我々自身の持って行き方なのかとは思っています。もう少し社会教育委員会議が、やりがいのある会議であつたらいいなと思っています。以上です。

○伊藤議長

はい。ありがとうございました。社会教育なのか、教育委員会なのか、生涯学習のいろいろ形があるから、どこに行動したらいいかという一つ問題がありますよね。でも関連しながらも、積極的にこういう方向で、私たち委員として学びましょう、あるいは自主的にやってみましょうという形に対しては、非常にありがたいことです。ただ私の立場で申し上げるのもあれですけども、教育委員会と社会教育委員あるいは生涯学習いろいろありますが代表者で選ばれてきている方々が、それぞれのポジションが違うものですから、果たしてここだけでまとめることができるかどうか非常に私も悩んでいました。教育委員会から枝葉を探してこれを専門という形で分かれたときに、じゃあ検討する代表者をどう選びましょうという選択から出るのかなという非常に難しい問題があつたので、先日、上田委員から御意見が出た時に、これはもう考え直そうと思ひまして、執行部の方をお願いして、特に真剣に取り組みましょうという話になりました。非常にプラス思考でいけば良いことです。ただ選ばれてくる方達、検討する方達の専門的な分野の違いもありますので、一概には言い切れないので配慮をしていたつもりですが、今の御意見が私に問われるならば、積極的に取り入れたいと思っています。ありがとうございます。ほかに何かありますか。

○上田委員

上田です。ありがとうございました。今日この項目を立てていただいて、今議長がおっしゃったことも非常によくわかります。数年、社会教育委員の会議に参加させていただいていつも思っていたのは、非常にもったいないと思うのです。もちろん、社会教育、生涯学習の事業の計画やあるいはその活動の報告について、私たちがそれぞれの立場で意見を述べるということはとても大事な機会だと思いますが、各分野それぞれいろいろな団体で中心的に活動されている方々が、これだけ一堂に会する機会は簡単につくれるわけではないです。活動の計画報告を聞いて、質問するというのもいいですが、それぞれ背景にある団体とかありますが、まずは、この場でそれぞれの方々のこれまでの貴重な経験を踏まえた御意見をいただく機会として、もう少しこの時間をそういう時間にできたらと思っています。もちろん法律、あるいは社会教育委員そのものの在り方という、大上段の考え方もありますが、まず無理なくできることから、例えば事務局の方で今回の会議はこの点について少し皆さんで意見交換をしてもらいたい。例えば、今まさに進んでいるコミュニティ・スクールの問題。学校の先生方からも御意見があるでしょうし、PTAあるいは地域の方々から子供たちとどういふふうに関わっていけばいいのかとか、それぞれの関心の中で御意見をいただくとか、あるいは今日報告いただきましたけどもこういった家庭教育学級、子育てをめぐる問題。今、特につくば市は子育て世代の若い世代が多いですから、どのように家庭教育学級を進めていくのか、あるいは家庭教育学級以外にそれに繋がっていくような種まきのような講座をどのように各地に展開していくのか、これについてそれぞれの委員の先生方の御意見を聞く中で、これから社会教育活動の事業を展開していく中で、職員や事務局の方々にも参考になるような時間になるのではと思います。ですからせっかくこれだけの分野の方々がお集まりの時間なので、非常にもったいないと常に感じていて少し前回発言させていただきました。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。他にございますか。

○鈴木委員

鈴木です。先ほどの坏先生や上田先生のお話、もったもだと思います。やはり報告を伺って少し質問して承認してというだけの年2回だったら本当にもったいないなと本当に思っていました。私としては、お忙しいので年2回しかもしかしたらできないのかなとは思いますが、例えば年3回にしてその1回は委員だけの集まりというか、雑談やコミュニケーションの中から情報を得たり、自由な発言ができることもあって、例えば委員さんだけで少しお話するような機会もあったらと思います。例えば10時から10時半までは委員さんだけで、10時半から市役所の方が入る形とかもいいのかなと思ったりもしました。研修も、笠間の方等行くのは遠いと思うことがありますので、講師の方を市役所の方に招いていただいて、研修等もさせていただけたらそれもいいかなと思います。先ほどから出ているようにとても素晴らしい皆様方ばかりでもったいないので、コミュニケーションを取りながら市役所の方のお役に立てたり、社会貢献できたらと考えています。以上です。

○伊藤議長

はいありがとうございました。

○長橋委員

長橋です。前回、上田先生から御提案があつて我々委員から何を提案したらいいかということ半年間ぐらい考えていたのですが、何を提案していいか本当にわからないと置いていたところにこの研修会の報告を見させていただくと、結城市が公民館審議会を兼務していて、子供にアンケートを実施して気がつかなかったこと、いろいろなボールで遊べる公園が無いですとか図書館が無いということ子供発信で見つけていて、さらにヤングボランティアの育成に力を注いでいきたいということが書かれていて、なるほど子供目線でいろいろなことを考えるのもありかなと思いました。幸いこの社会教育委員には学

校関係者の方や青少年関係の方が非常に多く参加されていますので、子供視点のいろいろなことを提案していくのもありかなという気がしました。私の意見です。

○伊藤議長

はい。ありがとうございました。他にありますか。

○布浦委員

布浦です。ただいまの御意見を伺いまして、私達やはり名簿にありますように、代表者が御出席しているということがわかります。お一人お一人がどんなことを活動しているのか全くわからないで毎回参加していますが、まず自分たちは何をやって、その中から何を定義していくのかということが深まっていっていないような感じがします。先ほど鈴木委員がおっしゃったように、私達で何か研修してそれぞれがそれぞれの立場で提言できることがあるのではないかと思います。まず私達が相手を知ること、参加している人たちの御意見をお伺いしたいということが1点。それから、社会教育委員の職務の中で社会教育に関する諸計画を立案するというのが職務の中に入っています。この立案ですが、これは今までのことを担当者からお話聞いて、結果報告を聞いて、それで御意見をというだけで来たと思います。この立案というのは一体、職務の中で私たちがどういうふうやっていくのかということがとても大事なかなと思います。年に2回では多分深まっていけないような気がします。まずそれをどうするかということを御提案したいと思います。以上です。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。他にありますか。事務局から何か意見ありますか。

○事務局(澤頭課長)

たくさんの御意見ありがとうございます。まさに我々が思っていたことを皆さんに述べていただいたという思いです。まず皆川委員の課題の抽出ができ

たらいいなという御意見です。こちらは、私どもも一つのテーマにつきまして、皆様に御意見をいただきたいところです。その時に、確かにどういったものが今問題として挙がっているのか、市役所の立場としてはこれを考えているけれども、社会情勢として、活動団体としてはどうなのかというところもありますので、課題の抽出についても一緒に考えていけら大変ありがたいと思いました。坪委員のやりがいのある会議にしたいということも大変ありがたいと思っています。この会議を我々も大変有効な場とさせていただきたく思っています。ぜひ今後も事務局としても、研修会の御案内や積極的に情報提供させていただき、活動が活発になるようお願いしたいと思っています。上田委員の御意見も大変貴重な意見だと思っています。御意見にありました事業計画活動報告も大切だという発言も大変ありがとうございます。事務局だけで、これからの課題を解決するというのは大変難しい局面に入って参りました。そのような時にいろいろな意見を集約させていただき、皆様のお力や御支援、ヒント等をいただくと大変ありがたいと思っています。鈴木委員の意見につきましても研修の方法はいくらでも工夫できるものだと思いますので、適宜対応させていただきます。長橋委員の子供の目線でというところも大変ありがたく思っています。生涯学習推進課には青少年の関係団体もありますので、是非連携を取ったり情報提供したりして進めていきたいと思えます。布浦委員の御意見にはハッとさせられました。相手の活動の内容を知るというのは、まず大前提なのかなと思うところがありましたので、事務局としても考えたいと思っています。ありがたいなと思うことばかりです。ありがとうございます。

○伊藤議長

はい、ありがとうございます。他にございますか。確かに今まで私は議長という立場は、中立的な立場でなきゃいけないということで主観を入れないように気をつけておいたのですが、でもこうやっていろいろ御意見ありますよね。フリートーキングはフリートーキングであっていいと思います。それから、

行政側からこういうことで基本的な方針で計画を立てているけどもどうかという肯定的な形のもの。ですから、フリーというちょっと言いすぎるかもしれないけども、自由闊達に発言をいただくことになると、フリーの時間を取って、こういう定められた時間でなくて、先ほど出ましたように、事前にちょっとやりましょうとかそういう形ならば、自由にできます。やはり行政側から自由に何か考えてくださいという定義の仕方はまずないと思います。基本的な計画がされ、議会から承認を受けてこういう方向でいきますという固定的な形から発展させようということですから、分類して考えてみると難しいのですが言われている皆さんの御意見、御要望はその通りだと思います。議事進行について議長の責任においてやるべき問題、それからこれだけは何があっても決めてもらなきゃいけないという定型的な形もあります。定型というか方針に基づいた形になると思いますので、御意見ありましたらどうぞ。よろしいですか。

○澤頭課長

はい。ありがとうございます。

○伊藤議長

またお気づきの時点で、会議の都度、会議の在り方の方向づけをしましょう。もう少しまた整理させていただきたいと思います。次にその他に入りますが、コミュニティ・スクール概要について渡邊社会教育主事からお願いします。

○渡邊社会教育主事

社会教育主事渡邊です。資料の6番と7番の準備をお願いします。現在、つくば市でコミュニティ・スクールの導入の計画を現在進めていまして、本日限られたお時間となりますので、概要を中心に説明をさせていただきます。資料の7番を御覧ください。こちらが昨年度の3月に地区回覧で配布した周知チラシです。続いて資料の6です。こちらが今年度8月25日、委員でいらっしゃる方の中にも、地域と学校の方で、参加者を数名選出していただき、コミュニティ・スクール合同説明会を実施しました。その際に、長橋委員も豊里学園で参

加していただき説明資料として配布した資料です。少しまとめながら、全部は御説明できませんので、概要を中心に御説明させていただきます。説明する内容は、三つに絞ります。コミュニティ・スクールとつくば市の方向性、今後の導入のスケジュール等のその他について説明します。

一つ目、コミュニティ・スクールについて説明します。コミュニティ・スクールを導入するのはなぜかという、近年、子供たちを取り巻く環境というのが、課題が複雑化、多様化する中で先ほども上田委員の方からお話がありましたように今後さらに学校と地域がより一体となって子供たちの成長を支えながら、大人も地域もともに育ち合う地域づくり、人づくりを目指すことで、特色ある学校づくりを進めたい。ということでコミュニティ・スクール導入を進めています。では取り巻く環境とはどんな課題なのかということで、Society5.0、少子高齢化、そのような社会的背景から、学校教育では高い専門性の心理的な面や福祉的な面の課題が出てきています。この予測困難な社会の変化の中で、学校固有の問題だけではなく、社会的な問題も増えてきています。平成28年の12月の中央教育審議会答申と、新学習指導要領の改訂で、未来の創り手となる子供たちの成長を支えるために、よりよい学校教育を通じてより良い社会をつくるという理念を学校と社会が共有連携協働し、この社会に開かれた教育課程の実現を目指すとされています。その中で、一つは教育課程を介して、地域の人的物的資源、リソースを活用しながら学校教育を展開していく等述べられました。今までにも地域の方、保護者の方、そういった方々から協力をいただきながら質の高い教育をみんなに進めてきました。この仕組みを導入することにより、今後さらに地域と学校がパートナーシップを結び、地域づくり、人づくりに繋がればと考えております。コミュニティ・スクール、この学校運営協議会制度と地域学校協働活動、これらを一体的に推進進めていきたいと思います。この重要性も求められています。つくば市教育大綱にも、一人一人が幸せな人生を送ることを最上位の目標に設定し、つくばの学びの実現に向けて今必

要なこととして、保護者、学校、地域行政が協力をして、社会全体で子供の育ちを支えるとあり、つくばの教育の方向性にも合致すると考えています。

コミュニティ・スクールについて説明させていただきます。御存知の方もいらっしゃるかと思うのですが、スクールは「学校」でコミュニティは「地域、住民、保護者、学校・子供たちを支えてくれる方々」です。それらが力を合わせて、子供たちの成長を支えていく学校のことをコミュニティ・スクールと言います。厳密な定義ですと、資料6の1ページです。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定されている学校運営協議会を導入設置している学校のことを言いますので、現在つくば市では、この学校運営協議会制度の導入に向けて計画を順次、学園ごとに進めています。では目的はどういったものになるのかということですが、学校運営協議会を通して、学校と地域と一緒に、お互いに持つ目標やビジョンを共有しながら、学校運営にどのようなことができるのか、どのような活動が保護者の立場、地域の立場、学校の立場でできるのか。というのを、社会総がかりで子供たちの健全育成や学校運営の改善について話し合っ取り組んでいくことを目的としています。このコミュニティ・スクールは、全国的にどれくらい進んでいるのかということについては、平成29年に法改正があり学校運営協議会制度の設置が努力義務になりました。また、新学指導要領改訂の前文でも、先ほどあった社会に開かれた教育課程が明示され、茨城県でも令和2年度末に18%だったのが、本年度末に50%と導入が進んでいます。全国的にも50%近くありますので、今後、流れとしてはコミュニティ・スクールの導入設置が全国的にも進んでいると考えます。

二つ目、つくば市のコミュニティ・スクールの方向性としては、以前から推進してきた、9年間を見通した縦に繋がる小中一貫教育を柱にして、各学園、中学校区、各義務教育学校に一つ学校運営協議会制度の設置に向けて計画をすることを今進めています。目的は、この小中一貫教育を柱にしながら、今度は横に、保護者や学校、地域、行政が繋がって、コミュニティ・スクールをと

して、ともに育ち合う地域づくり、人づくりを進めたいと計画を進めています。つくば市の導入のポイントは三つです。学園単位で、中学校・義務教育学校での導入。現在御協力をいただいている学校評議員制度の学校評価で評価を生かしながら学校運営協議会制度へ移行していくこと。そしてつくば市は今後新設校等含めて学園数が増えていきますので、一斉にではなく段階的に導入を進めていきます。先ほどもお話ししましたが、施設が一緒の学校、施設が離れている学校もありますが、一つの中学校区・義務教育学校に、コミュニティ・スクールを設置します。市内各校にアンケートを取り、いろいろな方々の力があると分かりました。ある地域に親父の会NPOのボランティア団体、大学との連携、PTAの方々や学校を支援してくれる団体等、例えばですけど代表者の方々を委員として選出し学校運営協議会で一つにまとめて、お互いにどういうふうな方向性であるのか、どんな子供たちを育てていくのかを話し合ったことを、先ほどの活動にどうつなげていくのかというのを進めていくことが学校運営協議会となっています。自転車に例えると学校運営協議会が舵取りの役目で方向性を決めていく役割。地域学校協働活動はそれらの話し合った内容を支え後押しする推進力となる活動となっています。学校運営協議会制度は、多くの様々な立場の方々が委員として参加することで、より幅広く地域の方々の御意見をいただきながら、学校運営に参画できる。より一体となって地域とともに学校評価を高めていくという学校評議員制度とは性格が変わってきます。学校数や実態、実情によって、委員の選出を新たに行いますので、評議員の方々がすべて移行されるというわけではないということは御了承願います。

つくば市におけるコミュニティ・スクール導入計画では、本年度、吾妻学園をモデル地域として、1学園実施しました。令和5年度に8学園、令和6年度に6学園、そして令和7年度に3学園で導入の予定になっています。具体的な導入年度の学園は、本年度は吾妻学園、来年は8学園、竹園学園、荃崎学園、桜学園、豊里学園、洞峰学園、大穂学園、春日学園、秀峰筑波は、来年度から

導入。会議を実際に行いながら、コミュニティ・スクールを進めていく。新設校を含めて、令和7年度末までには18学園導入を目標に今現在計画を進めています。今後も皆様方の中で御意見や、御協力いただく形もあると思うのですが、今後とも御協力をよろしくお願いいたします。私の方からは以上です。

○伊藤議長

はいありがとうございました。皆さんから御意見、御質問をどうぞ。

○長橋委員

長橋です。渦中の人間なので小学校中学校連携していくということに主眼を置いていろいろ考えていたのですが、今日いただいた資料の最初に平成28年の中央教育審議会答申のところに、幼稚園から高校、特別支援学校まで全部入っているというような記述があり資料の1ページ、国がインクルーシブ教育を始めますということがニュースに出ている、このコミュニティ・スクール自体がインクルーシブ教育を含んだものなのかなと資料見ながら考えていたのですが、つくば市の方針としては、それは含んでいるというか、その流れの中の一環なのかそれともインクルーシブ教育はまた別な流れというかそういったことでお考えなのかということをお伺いしたい。

○渡邊社会教育主事

多様性というところでは、いろいろな方々の御意見をいただきながら、課題としてあがってくれば、インクルーシブ教育の視点も入ってくると思います。ただ、学校教育の中ですので、例えば課題が地域や学校によって特性も変わってきますので、その時々の方々の実情に合わせた課題と話し合いが進んでいくと思います。以上です。

○長橋委員

そうすると、学校地域ごとにそれは変わってくるということで、これからいろいろ検討して変えていくというか課題解決に向けて取り組んでいくということでもよろしいでしょうか。

○渡邊社会教育主事

はい。学校ごとに例えば学校運営協議会で上がる話の議題等は、様々なものが出てくると思いますので、どういうふうに、またどういう課題に取り組んでいくか。それは学校運営協議会の中で地域と学校が話し合っていく、御指摘のとおりだと思います。

○長橋委員

はい、ありがとうございました。

○伊藤議長

皆川委員どうぞ。

○皆川委員

地域をあげて学校を盛り上げていくのは非常に大事なことですし、すごく実現できたら素晴らしいと思います。一方で、地区の自治会のなり手がいないとか、PTAもなかなかやりたくないという状況があります。最近も地元の小学校がPTAを1回休止すると聞いてすごく驚いているのですが、やはり役割が義務や、やらねばならない義務になってしまうとどうしても辛くなってきて、なかなかやりたいという人が出てこないと思います。先ほどの公民館講座もそうですが、まず楽しいから行く。この人とやっていたら楽しいとか繋がりができて、改めて一緒に学校を盛り上げていこうよというのが次の担い手や作り手を創出していく鍵なのかなと思います。絶対この年度にここをやらないといけないというのも目標としてはすごく必要なことなので。必要なのですが、是非義務にならないように、楽しくやっていけるというところを肝に銘じて、進めていただきたいと思います。以上です。

○伊藤議長

はい。飯岡委員どうぞ。

○飯岡委員

御説明ありがとうございました。2022年度吾妻学園で始まって、1年経ちま

すので、経過内容を教えていただきたいのと、これから 2023 年度 8 学園、2024 年度 6 学園、2025 年度の 3 学園ということで、2023 年度私が住んでおり該当する桜学園もありますので参考までに教えていただければと思います。

○渡邊社会教育主事

はい。資料 6 の 6 ページを御覧ください。現在の進捗状況について御説明させていただきます。モデル学園は、前年度ですので 2021 年度の大体 10 月から 3 月あたりに組織づくりに向けて、話し合いを進めてきました。多くは委員の選出と来年度どう計画を進めていくのか。ここに地域の方にも説明する機会、学校評議員の方や P T A の方々に説明する機会を設けました。そして、本年度に入り、今年度は年 3 回会議を実際に導入するということを進めています。その中で、先ほどあった教育課程というところでは、今回の地域のコーディネーター地域学校協働活動推進委員という文科省では御説明があるのですが、その方が防災の点で、学校に関わり、防災のキャンプや、学校の教育活動で一旦の指導、講師として来ていただいたりする活動等を行いました。そして次年度、本格設置となりますが、現在それに向けて今話し合いを進めているところです。以上になります。

○伊藤議長

ありがとうございました。坏委員どうぞ。

○坏委員

今から約 20 年近く前、私が教育委員会にいるときに、学校評議員制度を立ち上げて各学校に 5、6 名の評議員を置いてなかなかうまくいかず今も続いてはいるのですが、大分形骸化して形だけ学校の思いや学校経営等の構想を出してもなかなか理解もいかないし集まって話をして終わり。これは文部省から働きがありやりましたが、今は法制化されてくるでしょうから力を入れてやっていただけたらと思います。委員の選定が鍵かなと思います。やりたい人はもちろんですが、委員の任期もある程度決めておかないと長い期間評議員をやって

いる人がいます。ある程度厳しさも持ちながら、委員会主導で横の連携、各コミュニティ・スクール間の情報交換をしながらやっていかないと、最初は出てもダウンしていきますので面白いけれど実際やると難しいことがいっぱいあると思います。期待しています。頑張ってください。退職校長会も大いに協力いたします。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。

○谷村委員

谷村です。先ほど御説明いただいた、各学園の始まる年度が4年計画で、モデル校があり実際やってみてそれを元にして取り入れるのは当然なのですが、そのあと、なぜ一斉にできないのかなと思いました。学園毎に取り組むので、少しずつやっていく必要はないのではと思ったのですが、どのような考えで3年がかりなのかと思いました。お願いします。

○渡邊社会教育主事

はい。谷村委員の御指摘のとおり、モデル学園の後一斉に行う自治体もあります。ただ、つくば市では、この後新設校ができますのでその分離または新しくできるところの年度を考えたことと、研究の発表等やその他学校が抱えている取り組むべき事業等もありますので、そのようなことも考慮してつくば市では段階的に導入して計画を進めることとしました。

○布浦委員

布浦です。私今、吾妻学園コミュニティ・スクールの推進委員になっていて、委員として会議に参加しました。もう学校は、学校だけの力だけでなく、地域ぐるみでみんなで子供たちを育てましよう、文部省は大分前からやっていて、おそらくつくばは遅い方かなと思いますけど、全国データを見るともう全国的にやっています。これに参加していますがかつてのPTAとは違ってPTAになりたくないという方は大体、お母さん方から選ぶからです。この間も

新聞に委員の選考の時に泣いて反対したお母さんの記事が載っていました。そういうこのコミュニティ・スクールは無理に嫌々ながらやるものではないのです。地域の人達がたくさん集まっていろいろな意見を出して、子供たちや学校をどういうふうにするのかという活発な意見が出ています。PTAは、アメリカの政府から来たシステムです。アメリカのPとTがボランティア組織というのは非常に豊かな国から降りてきたものですから、ボランティア意識がないところに、日本の教育制度の中に入ったので、泣いてまでPTAになりたくないという人たちが今現在こういうふうに来ていると思います。でも、今回、吾妻学園の討議では本当に良い意見がたくさん出ています。その中で特に思うのは、ただ、吾妻学園も問題はないことはないと思うのです。周りに新しいマンションがたくさん出来ていますから、自治会に入りたくないとかPTAに入りたくないとかそのようなことも出ているのではないかと思います。そういう中で、学校をどうしていくかということは大きな課題だと思うのです。でも、学校の先生だけの学校づくりではもう手がいっぱいということで、このシステムはとてもいいシステムだと思って毎回参加しています。これから年度ごとに導入していくということですので、もし御依頼がありましたら、皆さん方積極的に委員になっていただき、いろいろな意見を出していただくことはとても良いことではないかと思います。以上です。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。中山委員どうぞ。

○中山委員

青少年相談員の中山です。今まで放課後子ども教室があったと思いますが、放課後子ども教室とコミュニティ・スクールの違いと、もう一つ今度導入されるフリースクールと名前が違うから当然違うのですが、フリースクールですと不登校児が登校しやすい環境を作っていくことでフリースクールという制度があると思いますが、不登校についても非常に問題になってくるのではないかと、段

々と増えてきていると感じています。引きこもりは社会教育とまた別かと思うのですが、引きこもりの実態もわかる範囲内でどういう状況なのかを知りたいと思いますので、わかる範囲で結構ですのでお答えいただければと思います。

○渡邊社会教育主事

放課後子ども教室、フリースクール、ひきこもり、全て生涯学習推進課が担当というわけではないというところが違いとなります。コミュニティ・スクールの学校運営協議会制度の導入は、生涯学習推進課が主管課で、学び推進課と教育総務課も協力いただきながら進めているもの。放課後子ども教室に関しては、学校の放課後外の活動となっていて、放課後の子どもたちへの体験活動等に取り組む活動、こども育成課が担当で主管課となって進めています。フリースクールは、学び推進課が担当をしています。引きこもりは健康増進課だったと思うのですが、主として進めています。今の現在の数は、確認が必要になりますので具体的な数をお示しするものはありません。申し訳ありません。

○伊藤議長

はい、ありがとうございました。はい、どうぞ。

○生涯学習推進課渡辺係長

生涯学習推進課の渡辺と申します。少しだけ補足をさせていただくと、イメージの話になりますが、今中山委員におっしゃっていただいたそれぞれのものが、まさにそれぞれの学校学園の課題に対する一つ一つのアプローチだと思います。放課後子ども教室は放課後の子供たちの居場所、フリースクールは、学校に来られないという子供たちにどうやって学校に来てもらうかということ、それぞれが個別の学校の課題、地域の課題になってくるものです。それらを含め全体を、地域と学校が手を取り合わせて、今何が課題なのだろう、どうしていこうと話していく場が、学校運営協議会、コミュニティ・スクールです。全てを包むようにして話し合う場を作ることが、コミュニティ・スクールということになります。

○伊藤議長

はい。ありがとうございました。この問題は今後またいろいろな形で皆さんの考えをまとめさせていただきたいと思っています。それでは次は報告です。高田委員から御報告がありますのでお願いします。

○高田委員

高田です。皆さん、ジオパークをご存知でしょうか。時折、ジオパークって何をやっているの？ 地学や石の専門家の人達のグループではないの？ という質問を残念ながらお聞きすることがあります。ジオパークには三つの目標があります。一つは保全・地形・地質遺産だけでなく、生物的な自然遺産や歴史などの文化遺産も含めた地域資源の価値を守ります。二つめは教育・地域資源の価値を知る人材を育てる、三つめは地域振興・地域資源を損なうことなく観光に活用します。

さて資料8の3月11日に開催しました令和4年度筑波山地域ジオパーク学術研究助成金成果発表と教育シンポジウム・サブタイトル“ジオパーク教育で持続可能な地域の担い手育成につなげよう！”の報告です。今回はジオパーク推進協議会の専門員2名から「筑波山地域ジオパークの教育事業の取り組み」と「つくば市六斗の貝化石を使った理科実技研修」、地域ジオパーク学習の専門家1名から「学校学習支援での地域ジオパーク学習～地域を学ぶ、大地を知る～」、茨城大学の教授・大学院生・学生3名から「茨城大学の学生によるジオパークを舞台にした教育・地域振興の実践活動」の話題提供がありました。オンライン開催でしたので、幅広い地域(大阪府から秋田県まで)から参加がありました。ジオパークが伝えたいことが主体ではなく、学校側がそれぞれの学年に応じて何を指導して欲しいのかを話し合ってから行うことが大切である、児童や生徒が知らないことをいきなり教えるのではなく、知っていることから引き出していく姿勢が大事である、地域資源の価値を児童や生徒に分かりやすく伝えることによって将来の地域の担い手育成につながる、学校の現場は忙しいので野外実習の指導やその際に必要な安全管理などジオパークとの連携が欠かせない、などの意見がありました。

先ほどご説明のあったコミュニティ・スクールのコンセプトと同様に、連携するなかでお互いの立場を尊重しながら進めていく取り組みが非常に重要だと思いました。シンポジウムのアンケートを集計していますので、参加者の意見などを踏まえながらステップアップしていきたいと考えています。以上です。

○伊藤議長

はい。御報告ありがとうございました。

○文化芸術課矢口係長

文化芸術課です。先ほどの議事の中で、鈴木委員の方から御質問があった交流センター講座で中止になった講座について、簡単ですが御報告をしたいと思います。令和4年度108件の講座を実施してその内2件、定員に満たず中止になった講座があります。内訳は、積み木遊びに関する親子向けの講座が募集20名に対して5名しか集まらなかったため中止になりました。もう1件が高齢者向けの消費者トラブルに関する講座で15名の募集のところ4名の応募で、募集定員に満たず中止になりました。以上です。

○鈴木委員

前回の時も言ったと思うのですが、消費者トラブルに関する講座は前回も流れたとお話があってすごく気にしています。消費者トラブルに関する講座に申し込んでくる方達は本当に実は困っている方達だと思うので、15人も集まらないと思います。だから募集人数を5人とかにしてその方達を救う方向にして欲しいなどは前回も提案したと思うのですが、もしお願いできれば、募集人数多い方がいいのしょうけれど、大事な消費者トラブル等に関しては、本当に困っている方が無料であるいは少しのお金で相談したいと思うので、定員人数を15人とか多くしないで何か考えていただけたらと前回もお願いしたのですが、今回も重ねてお願いできたらと思います。

○文化芸術課矢口係長

次回、講座開催する際その辺も検討を進めていきたいと思います。よろしく
お願いします。

○鈴木委員

ありがとうございました。

○伊藤議長

以上で今日の議事はすべて終わりましたので、マイクは事務局の方にお返し
します。本当にありがとうございました。

○事務局(生涯学習推進課色川課長補佐)

伊藤議長ありがとうございました。それでは、1点事務局から御連絡させて
いただきます。委員の皆様の任期につきまして令和6年7月となっております
ので、今春、皆様の肩書きの名称変更、例えば顧問から会長への変更等があり
ましたら、お手数でも生涯学習推進課まで御連絡くださいますよう、よろしく
お願いいたします。事務連絡は以上です。なお、次回の令和5年度第1回社会
教育委員会議は8月頃の開催を考えております。以上で令和4年度第2回社会
教育委員会議を閉会します。伊藤議長はじめ委員の皆様、本日は誠にありが
うございました。

令和4年度第2回つくば市社会教育委員会議

次 第

日時 令和5年(2023年)3月15日(水)

午前10時

場所 つくば市役所 会議室203

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 議事 (1) 令和5年度社会教育事業概要について
(2) 社会教育講座「子育てたの・らくセミナー@」について
- 4 意見交換 今後の社会教育委員会議について
- 5 その他 (1) コミュニティ・スクールの概要について
(2) 令和4年度筑波山地域ジオパーク学術研究助成金発表と教育シンポジウムについて(報告)
- 6 閉会

資料1 令和5年度社会教育事業概要について

資料2 社会教育講座「子育てたの・らくセミナー@」

資料3 社会教育法・つくば市社会教育委員条例・つくば市社会教育委員会議運営規則

資料4 つくば市社会教育委員名簿

資料5 令和4年度地区別社会教育委員研修会記録

資料6 【概要版】つくば市コミュニティ・スクールのつくり方(暫定版20220825)

資料7 つくば市コミュニティ・スクール チラシ

資料8 令和4年度筑波山地域ジオパーク学術研究助成金発表と教育シンポジウム

資料 1

令和5年度社会教育事業概要について

中央図書館
文化芸術課
スポーツ振興課
生涯学習推進課

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	中央図書館			係	管理係 サービス係	
事業名	図書館運営事業					
予算額	55,719千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	図書館資料の充実を図り、読書や調べ学習など市民の様々な要望に応えるべく積極的に生涯学習を支援することを目的とする。					
概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 各種図書館事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 図書の貸出・返却業務 (2) 職場体験 (3) ジュニア図書館員 (4) 学校訪問ブックトーク (5) インターンシップの受入 (6) ファーストブック講座 (7) 図書リサイクル (8) 広報活動 (9) 図書館ボランティア活動 2 図書館協議会の開催 3 図書備品 図書資料、視聴覚資料等の選定及び購入 4 電子図書館の運営 					
取組目標	所蔵資料点数（令和4年度実績値は令和5年1月末現在）					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	490,000	490,000	490,000			
実績値	483,263	486,013				
令和5年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問ブックトーク事業の推進 ・読書推進事業の実施 ・図書館事業の積極的なPR ・自動車図書館運行事業の充実 ・図書返却事業の充実 ・学校図書館支援事業の推進 ・電子図書館事業の拡充 ・返却ポイントの増設 			目標に対する成果		
事業の課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染症防止対策など、事業の実施に当たっての工夫が必要となる。 ・図書館懇話会において、これからのつくば市立図書館のあり方について協議が行われ、令和2年3月に教育長あてに提言書が提出された。この提言の内容について引き続き検討し、今後の事業を進めていく上で参考としていく必要がある。 ・開館から30年以上が経過し、資料の収蔵スペースが不足している。令和4年度に導入した電子図書館なども活用しながら資料の充実を図る必要がある。 			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	中央図書館			係	管理係 サービス係	
事業名	オンライン地域交流センター図書室運営事業					
予算額	52,401千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	オンライン化されている谷田部・筑波・小野川・荃崎交流センター図書室の業務運営を民間事業者へ委託しながら、中央図書館と4か所の交流センター図書室との連携強化を図り、円滑な運営と市域全体の図書館サービスの向上を図ることを目的とする。			事業実績		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・4交流センター図書室運営業務委託 ・4交流センター図書室の図書備品購入 ・4交流センター図書室の雑誌・新聞等の購入 					
取組目標	貸出冊（点）数（令和4年度実績値は令和5年1月末現在）					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	385,000	410,000	410,000			
実績値	420,619	391,116				
令和5年度の計画	4交流センター図書室の円滑な運営と地域図書館的役割の充実を図る。 研究学園小学校図書室の休日開放及びかとりだい交流館における予約本の受取サービスを開始する。			目標に対する成果		
事業の課題と対応策	地域の特色を生かした資料の整備と、委託職員との連携を図りサービスの向上を目指す。交流センター図書室によって、資料の老朽化が進んでいたり、利用者が急増していたりと状況が異なるため、資料購入費の配分方法が課題となる。 現在の委託業務の内容についてについて検証するとともに、図書館懇話会からの提言の内容についても検討の上、次年度以降の運營業務の委託内容に反映させる必要がある。 また、運營業務に必要な人材(司書有資格者)を継続して確保していくことが課題となる。			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	文化芸術課			係	文化振興係	
事業名	つくば市民文化祭					
予算額	14,595 千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	文化芸術活動を行っている市民に対し、成果発表の場を提供するとともに、創作意欲の向上と世代間の交流促進を図る。			事業実績		
概要	<p>○開催期間 11月4日（土）～5日（日） ※ノバホール音楽会は11月11日（土）～12日（日） ※茎崎会場は展示のみ前倒して開催予定</p> <p>○会場 筑波会場：筑波交流センター、市民ホールつくばね 大穂会場：大穂交流センター、吉沼交流センター、大穂体育館 豊里会場：豊里交流センター、豊里体育館（市民ホールとよさとは改修中のため使用不可） 谷田部会場：谷田部総合体育館、市民ホールやたべ 桜会場：桜総合体育館、流星台プレーパーク 茎崎会場：茎崎交流センター、市民ホールくさぎき 中央会場：つくばカピオ、ノバホール、さくら民家園</p> <p>○開催部門 【展示部門】 絵画・書道・華道・俳句・写真・陶芸・盆栽 など ※中央会場で小中学校芸術展を開催 【ステージ部門】 民謡・舞踊・器楽・コーラス・ダンス など 【その他】 囲碁・将棋など 【ノバホール音楽会】 声楽・器楽</p>					
取組目標	参加者の増加（2年連続の中止から復活して2年目となるため）					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	—	参加団体 300	参加団体 320			
実績値	— 開催中止	参加団体 282				
令和5年度の計画	概要のとおり					
事業の課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じての通常実施 ・7つの会場を統一する運営方針の徹底 			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	文化芸術課			係	地域交流支援係	
事業名	地域交流センター講座					
予算額	5,622千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	市民に学習機会を提供し、生涯学習社会の実現に寄与するため。			事業実績		
概要	市内17交流センターで自主企画の講座を開講し、5月(前期講座)と9月(後期講座)に受講生を募集する。 前期講座は、50講座程度、定員約700名で5月に募集し、開講を予定。後期講座は、50講座程度、定員約700名で9月に募集する予定。					
取組目標	受講者の増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	1,100	1,400	1,400			
実績値	2,628	集計中				
令和5年度の計画	概要のとおり			目標に対する成果		
事業の課題と対応策	受講者が定員に満たなく開催見送りとなった講座があった。 アンケート等により利用者の多様なニーズを把握し、講座内容の充実を図っていく必要がある。			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	文化芸術課			係	地域交流支援係	
事業名	生涯学習施設（ふれあいプラザ）管理					
予算額	109,437 千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	豊かな生涯学習社会の実現に寄与するため。			事業実績		
概要	指定管理者制度によりつくば市ふれあいプラザの維持管理を行う。 また、生涯学習の幅広いニーズに対応するため、利用者の要請に即した自主事業の開催やイベントを実施する。					
取組目標	利用者の増加					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	30,000	30,000	35,000			
実績値	36,940	集計中				
令和5年度の計画	概要のとおり			目標に対する成果		
事業の課題と対応策	開館から15年以上が経過し、建物・設備とも経年劣化による修繕箇所が増えているため、計画的に改修を行っていく必要がある。			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	スポーツ振興課			係	スポーツ推進係		
事業名	スポーツ振興事業						
予算額	36,460千円			決算額	千円		
事業概要				事業実績			
目的	市民のスポーツ環境の充実を図る			事業実績			
概要	<p>【スポーツ振興するため各種施策を実施する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動を始めるきっかけとなるようなスポーツの教室や大会を開催する。 ・新規のスポーツ指導者支援するため、スポーツ教室の開催支援を行う。 ・障害スポーツの推進を図るための施策を展開する。 ・スポーツ推進委員協議会及びスポーツ推進審議会の運営を行う。 ・中学部活動が地域スポーツに移行する際の各種課題の解決に向けて、調整・検討を行う。 <p>等</p>						
取組目標							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
実績値							
令和5年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニング教室、スポーツ体験教室、障害者スポーツに関する教室等、各種教室や、ウォークラリー大会やスポーツフェスティバル等の開催する。 ・新しくつくば市でスポーツ事業を行う個人等に対して、教室実施の支援を行う。 ・障害者スポーツを支援するためのシステム構築に関する業務委託、用具の貸し出しや先進自治体の視察等を行う。 ・推進委員に関しては市主催事業において係員として協力、助言を行う。また、資質向上のため各種研修会に参加する。審議会においては、各種スポーツ推進施策に関する審議や、スポーツ推進計画策定について諮問を受け、審議会で審議し、意見を答申する。 ・中学部活動の地域移行について、指導者の確保や質等に関する検討。部活動改革プロジェクト会議への参加。 ・第2次スポーツ推進計画を策定する。 <p>等</p>			目標に対する成果			
事業の課題と対応策	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツを推進するための方策。 ・スポーツ推進委員の更なる資質の向上、活動の促進。 ・部活動改革の進め方。 			課題への取組			
				令和6年度取組目標			
				令和6年度目標値			

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	スポーツ振興課			係	スポーツ・レクリエーション係		
事業名	スポーツ大会開催事業						
予算額	24,352千円 (内つくばマラソン負担金15,000)			決算額	千円		
事業概要				事業実績			
目的	市民のスポーツへの意識高揚を図るとともに、つくば市及び全国のランナーの技術向上と交流の場を提供する。			事業実績			
概要	<p>(つくばマラソン) つくば市、筑波大学、茨城陸上競技協会及び読売新聞社が中心となりつくば市の魅力を市内外にPRするとともに活力ある街づくりを推進するためにマラソン大会を開催する。</p> <p>(健康マラソン) 小学生から高齢者にいたるまで、だれもが気楽に参加できるマラソン大会を開催することにより、生涯スポーツとしてのランニングの普及と健康づくりの促進を図る。研究学園駅前公園を中心会場とし、2・3・5 Kmの部を開催する。</p> <p>その他、ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル等を開催する。</p>						
取組目標							
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
目標値							
実績値							
令和5年度の計画	(つくばマラソン) 11月中に開催予定 (健康マラソン) 2月上旬に開催予定			目標に対する成果			
事業の課題と対応策	(つくばマラソン) 適切な規模の検討			課題への取組			
	(健康マラソン) 参加者数の増加			令和6年度取組目標			
				令和6年度目標値			

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	生涯学習推進課			係	青少年教育係	
事業名	青少年健全育成事業					
予算額	6,416千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	つくば市青少年相談員が中心となり青少年の非行防止や青少年健全育成のための事業を展開する。			事業実績		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成に協力する店登録活動（7月～12月実施） ・学校訪問（6月～7月実施） 市内小・中学校及び高校を訪問 ・あいさつ・声かけ運動（通年） 市内小・中学校及び高校において実施 ・青少年健全育成の啓発活動 薬物防止ヤング街頭キャンペーンへの参加 ・補助金交付 つくば市子ども会育成連合会 青少年を育てるつくば市民の会 					
取組目標	あいさつ・声かけ運動実施数					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	120回	120回	120回			
実績値	1,368回	集計中				
令和5年度の計画	あいさつ・声かけ運動実施数：120回 「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動を積極的に推進していく。					
事業の課題と対応策	青少年への声かけや社会環境浄化活動をはじめとする諸活動をさらに効果的に行うために、研修を実施する。			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	生涯学習推進課			係	青少年教育係	
事業名	青少年体験学習事業					
予算額	1,070 千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	青少年の自主的な活動や体験を行い、自己肯定感や自己有用感を育むとともに、学外の体験学習を通して社会力を育成するために事業を推進する。			事業実績		
概要	<p>○青少年体験学習事業 つくば市の地域資源を活用した実験教室等を体感し、科学や自然への興味や関心を高めることを目的として開催する。</p> <p>○この指と一まれ！事業 中学生・高校生自身がやりたいこと、興味があること、実現したいことを企画募集し、企画実現に向けて活動することで、自己肯定感を育み、社会力の育成につなげる。</p> <p>○青少年の居場所事業 青少年の学校外での活動拠点として地域交流センター7館を週1回開放。学習や友人とのおしゃべり場等として活用</p> <p>○つくば市子ども体験事業補助金 つくば市内の青少年健全育成諸団体が、子どもたちを対象に行った体験活動を内容とする事業・活動に対し、予算の範囲内において補助金を交付する。</p>					
取組目標	青少年体験学習事業参加者数					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	24	24	24			
実績値	— (開催中止)	55				
令和5年度の計画	青少年の健全育成に資する団体と連携した活動に取り組んだ事業を推進し、多くの参加者を受け入れられるよう定員の拡充等の対策をする。					
事業の課題と対応策	青少年が自主的な活動や体験ができるよう、昨年度の実績を踏まえ事業の展開を図る。			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	生涯学習推進課			係	青少年教育係	
事業名	つくば市二十歳の集い事業					
予算額	7,010 千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	次世代のつくば市を担う新成人の門出を祝う成人の集いを開催する。			事業実績		
概要	市内中学校からの推薦による実行委員会を組織し、企画・運営など主体的に取り組む。 ○主催 つくば市・つくば市二十歳の集い実行委員会 ○期日 令和6年（2024年）1月7日（日） ○会場 つくばカピオ アリーナ ○該当者 平成15年（2003年）4月2日～平成16年（2004年）4月1日生まれの方 対象者数 2,630人（令和4年10月1日現在） ※【参考】年齢別人口統計R04.10.01					
取組目標	参加者数					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	1,500	1,500	1,500			
実績値	1,621	1,828				
令和5年度の計画	式典を円滑に進行すること。			目標に対する成果		
事業の課題と対応策	多くの二十歳を迎える新成人が集まるため、終息が見込めない新型コロナウイルス感染症のまん延防止対策を行っていく。			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	生涯学習推進課			係	社会教育係	
事業名	家庭教育支援事業					
予算額	4,322 千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	家庭教育の推進のために幼稚園、小、中学校の家庭教育学級において、親としての資質向上を図るための事業を実施する。			事業実績		
概要	社会教育指導員を配置し、家庭教育学級事業を実施する。 ・乳児家庭教育学級開催 市内3か所(大穂、吾妻、みどりの) ・幼児家庭教育学級開催 市内3か所(小野川、竹園、ゆかりの森) 保育所における社会教育講座を9か所で実施する。 社会教育講演会を開催し、学級の枠を越えた学習機会を設ける。 企業への家庭教育学級を推進する。 新型コロナウイルス感染症対策で取り入れた機材を活用し、オンライン講座や動画配信を行う。					
取組目標	家庭教育学級参加者数					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	10,500	10,500	10,500			
実績値	10,139	集計中				
令和5年度の計画	対面形式の講座開催数を推進する。					
事業の課題と対応策	家庭教育学級の知名度が低く、事業が浸透していない。			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	生涯学習推進課			係	社会教育係	
事業名	生涯学習施設管理（市民研修センター、さくら民家園）					
予算額	38,819 千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	施設の適切な維持管理			事業実績		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習社会の実現を寄与するため、つくば市市民研修センターの指定管理を行う。 ・郷土に対する理解、伝統文化の継承などを目的として民家園の維持管理を行う。 					
取組目標	市民研修センター施設利用人数					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	35,000	35,000	35,000			
実績値	14,558	集計中				
令和5年度の計画	市民研修センターでは、生涯学習に係る講座の開設。 さくら民家園では、民俗又は風習等に関する行事を計画。			目標に対する成果		
事業の課題と対応策	市民研修センター施設利用人数は、目標値に届かなかったため筑波山や北条大池、宝きょう山周辺に訪れる方へ施設の周知を図る。			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

令和5年度（2023年度）社会教育事業概要

担当課	教育局生涯学習推進課			係	生涯学習推進係	
事業名	科学教育推進事業					
予算額	10,609 千円			決算額	千円	
事業概要				事業実績		
目的	数多くの研究所を有し、多数の研究者が研究に取り組む地域資源を生かして、子供たちの科学への関心を高める。			事業実績		
概要	① つくば科学出前レクチャー事業 学校等の希望により、事前に講師として登録した研究機関の研究員等と連絡調整し、現役研究員等を専門テーマの講師として派遣する。 ② つくばちびっ子博士事業 科学技術に触れ科学への関心を高めることを目的に、小中学生が研究機関等をクイズラリーにより巡る。 ③ つくば科学フェスティバル事業 市内の各学校や、研究機関等が科学実験等を出展し、楽しみながら科学や理科への興味・関心を高めさせる。					
取組目標	ちびっ子博士パスポート提出数（デジタルスタンプラリー参加者数含む）					
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
目標値	4,500人	5,000人	6,000人			
実績値	2,335人	2,112人				
令和5年度の計画	つくばちびっ子博士事業において、令和5年度は、小中学生の学外での学びの充実を図るため、従来の方法に加えデジタルスタンプラリーの実証事業を行う。			目標に対する成果		
事業の課題と対応策	各事業は、学校の協力が不可欠であることから、学校の教職員の負担とならないような事務フローを検討する必要がある。 また、各事業とも広く「科学の芽」を蒔くことを目的としているため、なるべく多くの関係人口を作っていく必要があり、事業周知や広報に努力が必要である。			課題への取組		
				令和6年度取組目標		
				令和6年度目標値		

資料 2

社会教育講座（子育てたの・らくセミナー@）

生涯学習推進課社会教育係

令和4年度 社会教育講座

子育て たの・らく

セミナー@くきざき

参加費無料
各回預り保育

12月6日(火)・13日(火)
10:00~11:10【全2回】

「たの・らく」…楽しく、楽に子育てができるヒントとなるセミナーを、
生後4カ月から就学前のお子様を持つ保護者の方を対象に開催します。

【第1回】12/6(火)

子どもとの
愛着関係の形成

臨床発達心理士
穂積 妙子氏

【第2回】12/13(火)

子育て
井戸端会議

社会教育指導員

会場

茎崎交流センター 会議室 和室
(つくば市小莖318)

対象者

生後4か月から就学前までの子をもつ親子/
妊娠中の方 (市内在住・在勤・在学の方)

定員

親子20組 (申込多数の時は抽選)
※新型コロナウイルスの感染状況によって、
定員を変更する場合があります。

申込期間

11月21日(月)~12月4日(日)

申込方法

いばらき電子申請・届出サービス

申込みは
こちらから



問合せ先 つくば市教育局生涯学習推進課
〒305-8555 つくば市研究学園一丁目1番地1
☎ 029-883-1111(内線4525)
メール edc073@city.tsukuba.lg.jp

つくば市ホームページ

社会教育講座



世界の
あしたが見えるまち。
TSUKUBA

講座の特色

- ・ 講義と託児スペースを分離
- ・ 保育ボランティアによる1対1の託児

開催の経緯

荃崎地区やみどりの地区からの家庭教育学級参加者が少ない・・・

何が要因になっているのだろうか？

開催場所？

時間？

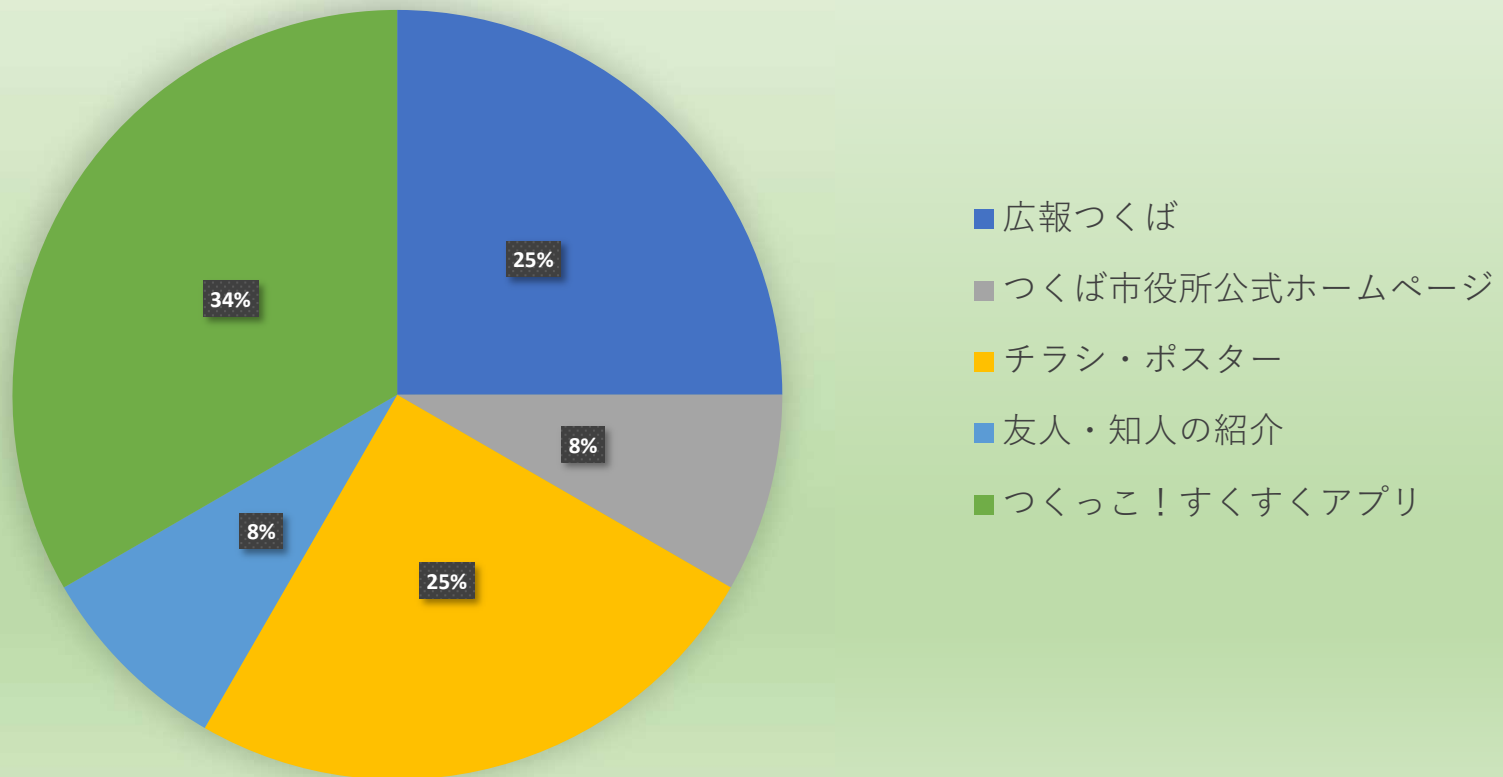
曜日？

講座内容？

荃崎地区で開催し参加者アンケートから要因を探ってみることに

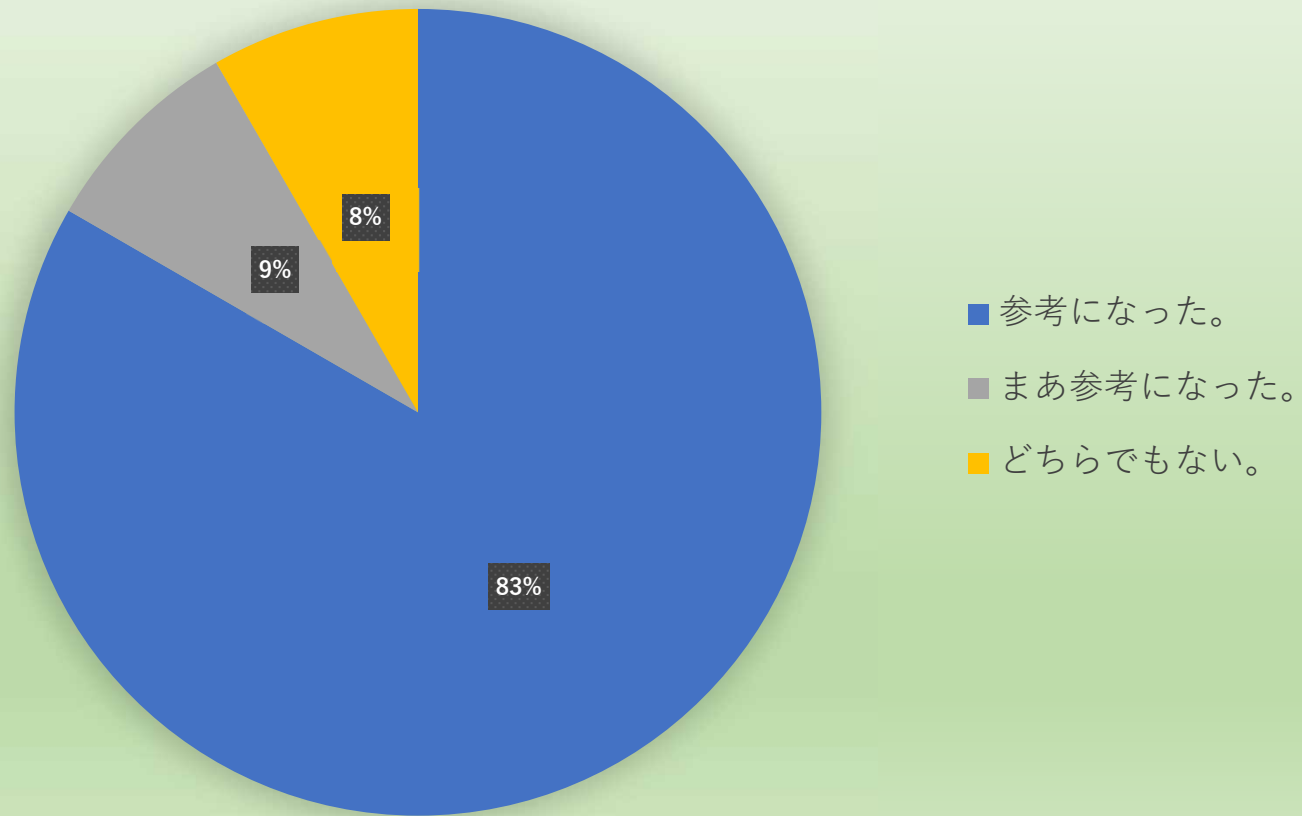
アンケート結果

問1 本講座を何で知りましたか。



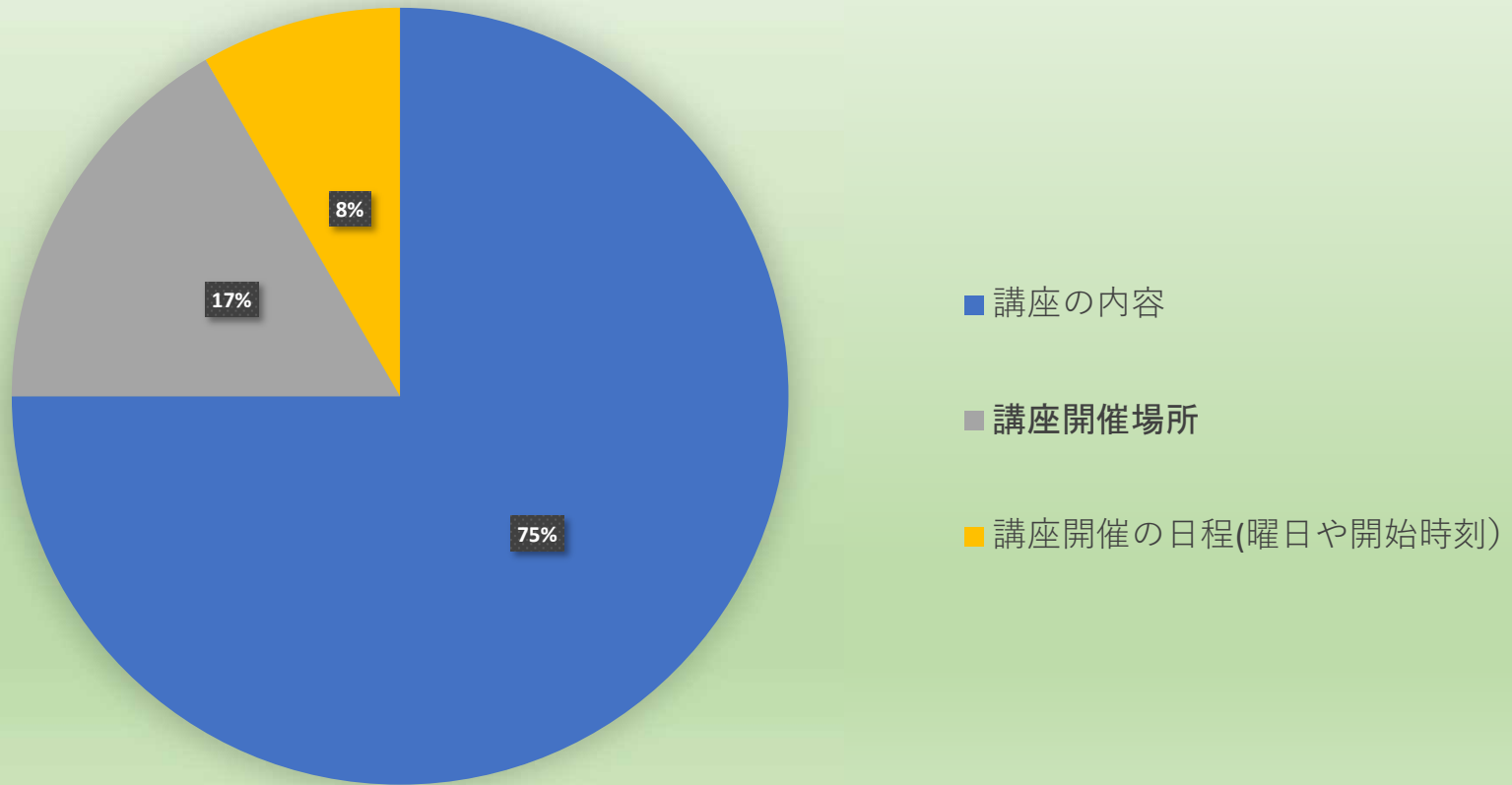
アンケート結果

問2 講座内容はいかがでしたか。



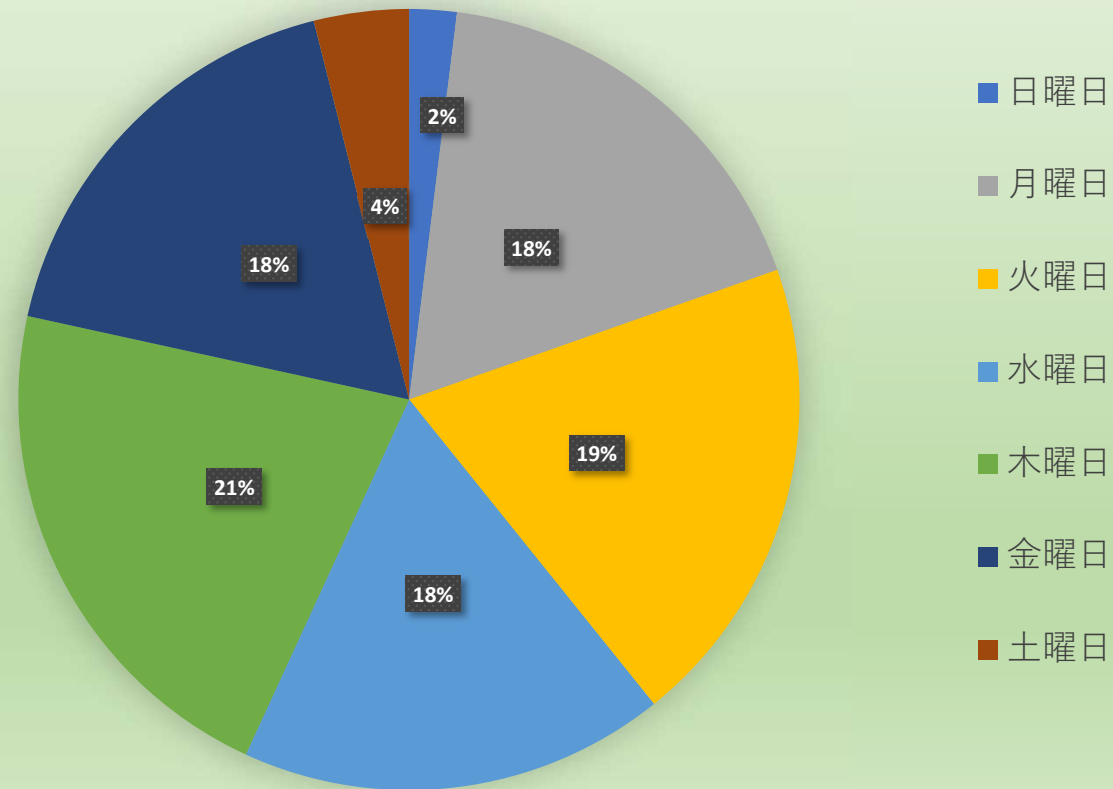
アンケート結果

問3 講座を申し込む時は何を優先しますか。



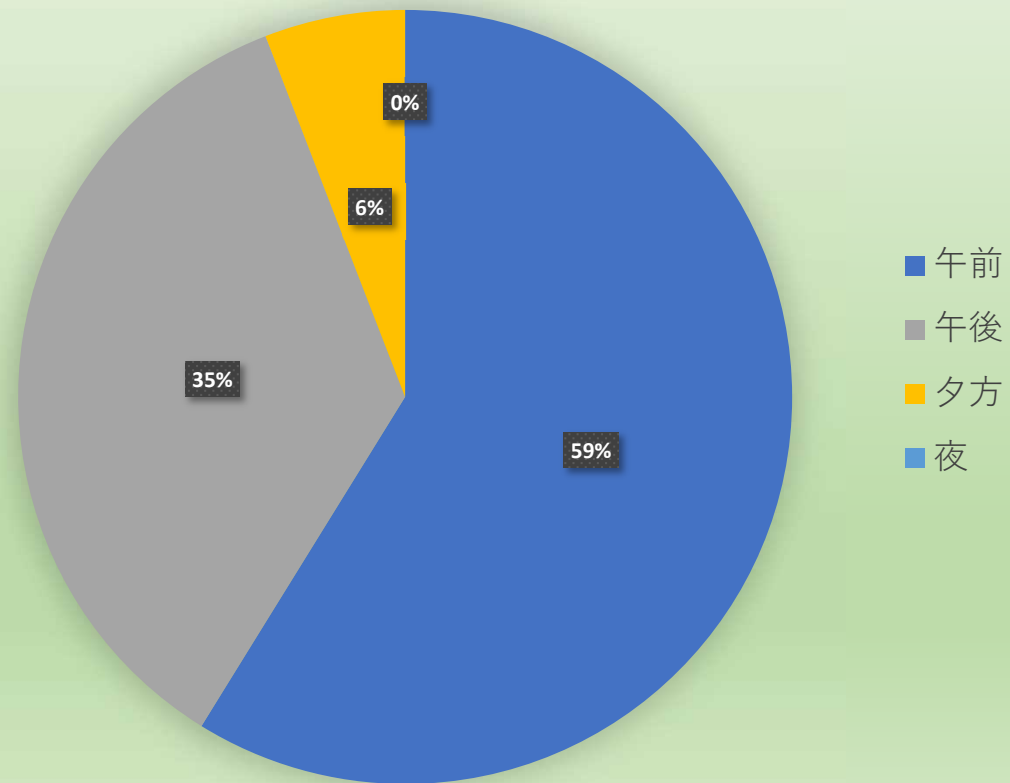
アンケート結果

問4 講座に参加しやすい曜日は。(複数回答)



アンケート結果

問5 講座に参加しやすい時間帯は。(複数回答)



アンケート結果

・今回はお子さんを預けての講座でした。お子さんを預けることについての感想を御自由に御記入ください

- | | |
|----|---|
| 1 | 顔見知りのボランティアさんが何人かいたので安心でした。 |
| 2 | 今まで預けた事がなかったので、少し心配でしたが、担当が決まっていて、1人1人みていただけたので安心しました。また、子供の声がかんく聞こえない別室でしたので、内容がちゃんと聞けて嬉しかったです。久しぶりに集中出来ました。親子で何か出来る講座も良いですが、今回のような内容ですと、預かって頂けて助かりました。 |
| 3 | ゆっくり話が出来て有難い。 |
| 4 | 自分以外の人との関わりが持ててよかったです。また、集中して講義に参加する事ができました。 |
| 5 | まだしっかり首が座っていないので、不安もありましたが、しっかり子供の情報を伝える時間が設けられていて、助かりました。 |
| 6 | ひとりひとりに保育さんがついてくれて、とても安心して預けることができました。 |
| 7 | 最高だった。預けられないと参加できない。子連れ参加可のときも、結局中座したり集中できない。 |
| 8 | 1対1でこどもを見てくれるので安心する。短時間でも預かってもらえて助かる。 |
| 9 | 人見知りな子なので人に慣れる練習にもなるのでいいと思う。 |
| 10 | 子どもを預けたことがほとんどなかったので、どうなるか不安でしたが、まさかマンツーマンで預かっていただけるとは思っていなかったので、とても安心できました。市のサポートということも安心材料でした。ボランティアさんはお二方とも最初から好印象で、不安はいっさいありませんでした。子どもの様子からも安心して楽しめたんだなぁと感じました。迎えに行った際に、ボランティアの方が子どもを客観的にみて、預けていた時の様子をたくさんお話ししてくださって、すごく嬉しかったです。今後、こういった市の講座に参加するときも安心して預けられます。 |
| 11 | ボランティアさんの方がたくさんいらっしゃって、顔見知りの方も何人かいらっしゃったので、安心して子どもを任せることができました。子どもと離れて、自分の時間が持てることに感謝しています。 |
| 12 | 4月から保育園に通うので、その練習のためもあって預けさせてもらいました。案の定よく泣いていましたが、いい練習になったかと思います。また、私自身離れて過ごすことができリフレッシュできました。 |

アンケートから得られたもの

- 1 情報収集は従来の市報やチラシだけではなくアプリも利用している。
- 2 今回の講座内容は概ね好評であった。
- 3 参加する講座を選ぶ際は、時間や場所よりも内容を重視している。
- 4 参加しやすい曜日は土曜・日曜よりも月曜から金曜の平日である。
- 5 参加しやすい時間帯は夕方や夜よりも日中であった。
- 6 子供を預けることで講座に集中しリラックスすることもできた。

今後の講座の形態

- 講座の周知は、紙媒体だけではなく、アプリなどの電子媒体も利用する。
- 開催日時は、月曜日から金曜日までの午前中に設定する。
- 講座内容は、満足度の高かった今回の講座を継続する。
- 子供を保育ボランティアに預けることで、講座に集中することができ、リラックスもできることから、講座と保育は別々に実施する。

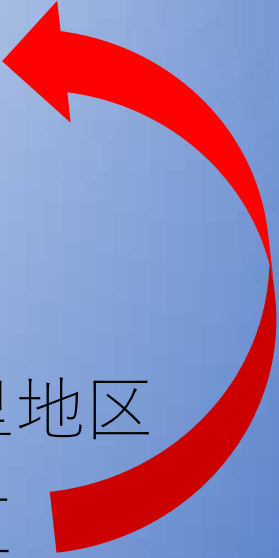


今後の展開イメージ

地区ごとに家庭教育学級の知名度向上を図る



茎崎地区
↓
桜地区
↓
筑波地区
↓
大穂・豊里地区
↓
谷田部地区



○社会教育法(一部抜粋)

(昭和二十四年六月十日)

(法律第二百七号)

第五回特別国会

(社会教育委員の職務)

第十七条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

一 社会教育に関する諸計画を立案すること。

二 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

三 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

(昭三四法一五八・平二六法七六・一部改正)

〇つくば市社会教育委員条例

平成2年3月27日

条例第8号

改正 平成26年3月25日条例第12号 令和4年7月1日条例第26号

(設置)

第1条 社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条の規定に基づき、社会教育委員（以下「委員」という。）を置く。

(委員の定数及び委嘱の基準)

第2条 委員の定数は、16人とする。

2 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(平26条例12・一部改正) (令4条例26・一部改正)

(委員の任期)

第3条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員が委嘱されたときの要件を欠いたときは、委員の資格を失う。

(委任)

第4条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成2年4月1日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員設置条例の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員設置条例（昭和63年つくば市条例第62号）は、廃止する。

附 則（平成26年条例第12号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

附 則（令和4年条例12号）

この条例は、令和4年7月1日から施行する。

〇つくば市社会教育委員会会議運営規則

平成2年4月3日

教委規則第2号

改正 平成10年4月1日教委規則第9号 平成14年10月28日教委規則第15号

平成20年3月31日教委規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、つくば市社会教育委員条例（平成2年つくば市条例第8号）第4条の規定に基づき、社会教育委員（以下「委員」という。）の会議運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 委員の会議（以下「会議」という。）には、委員の互選による議長及び副議長を置く。

(平10教委規則9・一部改正)

(議長及び副議長の任期)

第3条 議長及び副議長の任期は、委員の任期中とする。

(議長及び副議長の職務)

第4条 議長は、会議を主宰する。

2 副議長は、議長を補佐し、議長に事故があるとき、又は議長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平10教委規則9・一部改正)

(会議の招集)

第5条 会議は、必要のある場合に議長がこれを招集する。

(付議事件)

第6条 会議開催の日時及び場所は、会議に付議すべき事件とともに議長があらかじめ委員にこれを通知しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、会議招集の通知後に急施を要する事件が生じたときは、これを会議に付議することができる。

(定足数)

第7条 会議は、在籍委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

(表決)

第8条 会議の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(説明の請求等)

第9条 委員は、会議において議事に関する職員（以下「関係職員」という。）に対し、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の会議出席等)

第10条 関係職員は、会議に出席して意見を述べることができる。

(平10教委規則9・一部改正)

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

(つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則の廃止)

2 つくば市筑波地区社会教育委員会議運営規則（昭和63年つくば市教育委員会規則第5号）は、廃止する。

附 則（平成10年教委規則第9号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年教委規則第15号）

この規則は、平成14年11月1日から施行する。

附 則（平成20年教委規則第6号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

つくば市社会教育委員名簿

任期（2年）：令和4年8月1日～令和6年7月31日

No.	社会教育委員氏名	役職等	区分
1	坏 文雄	市図書館協議会会長	社会教育関係者
2	飯岡 宏之	市子ども会育成連合会会長	家庭教育の向上に資する活動をする者
3	井坂 孝	並木中等教育学校校長	学校教育関係者
4	石黒 澄子	一般社団法人つくば市スポーツ協会 理事	社会教育関係者
5	伊藤 達也	茨城県老人クラブ連合会会長 元公民館運営審議会委員	社会教育関係者
6	稲葉 房子	元幼稚園長	学識経験者
7	上田 孝典	筑波大学准教授 人間系教育学域	学校教育関係者
8	金井 恵美	こども育成課放課後子供教室コーディネーター	家庭教育の向上に資する活動をする者
9	鈴木 もえみ	フリーアナウンサー	学識経験者
10	高田 正澄	筑波山地域ジオパーク推進協議会教育・学術部会員、認定ジオガイド	社会教育関係者
11	谷村 安子	県退職校長会常任理事 女性退職校長会副会長	学識経験者
12	長橋 進也	市PTA連絡協議会顧問	家庭教育の向上に資する活動をする者
13	中山 正巳	市青少年相談員連絡協議会会長	社会教育関係者
14	平野 浩之	要小学校長	学校教育関係者
15	布浦 万代	つくば市国際交流協会理事長	社会教育関係者
16	皆川 幸枝	つくば市議会議員	学識経験者

(50音順・敬称略)

令和 4 年度地区別社会教育委員研修会記録

シンポジウム「我が地区・地域の社会教育委員活動や地域社会での諸活動についての現状や課題について」

●土浦市

委員 16 名（議員・団体の代表）

生涯学習推進委員協議会の委員兼務

年 2 回会議 市の活動方針・質疑 その日の内に生涯学習推進委員会も行う

議題 令和 2 年 成人式・成人年齢引き下げ

令和 4 年 小学校の建設工事

新治地区社会教育連絡協議会

年 2 回 先進地視察・研修会（講師を招いて行う・視察の報告）

課題…どのような課題をもって進むのかが課題

第 5 次生涯推進計画

文化財保存活用計画がすすんでいる

●かすみがうら市

委員 15 名

年 2 回会議 1 回目事業概要、2 回目事業の方向性

委員選出の方法について苦慮

●守谷市

年 2 回会議 年 1 回研修会

協働活動をすすめるために「守谷コミュニケーションスクールバンク」がある。

→近隣住民が困りごとを共有し解決する。

部活動のボランティアではなく、学校の活動にどうサポートできるかという考えで行っている。学校の除草作業に協力。ミシン学習の時に地域の人がサポートする。遠足の補助サポート（地域の人材で。元教員等）。学校の求めに応じて無理のない範囲でサポート。

課題…コロナで活動が止まった。再開が課題。

人づくり・つながりづくり・地域づくり

地域の人材をどう生かすか発掘するか

●結城市

委員 15 名

公民館審議会兼務

年 3 回審議会 自主研修 3 回ほか自主活動は 2 回、3 回目は書面決裁だった。

平成 27 年「自主研修」立ち上げ

自由参加・10 名参加

平成 28 年公民館講座 6 回

市長に提言書を提出「公民館のありかたについて」

こどもにアンケート配布。実態調査。

- ・ボールで自由に遊べる公園がほしい
→実態調査の結果、1 か所もなかった。
→放課後グラウンドを開放することになった
- ・歩いて行ける図書館
→市内に 1 か所しか図書館がない。
→こどもと図書館をつなぐ活動、図書館見学会。

図書館探検ツアーのスタッフとして 9 名の委員が協力したが新型コロナウイルス感染症の拡大により事業中止となった。

令和 4 年 7 月 20 日自主研修

今後もサポートすることにしたが密を避けるため参加できず、視察を少し行った。

他の事業を一緒に行うと決定権が無くなるので、自分たちで事業を行っていきたい。

「ヤングボランティア」の育成に力を注いでいきたい。

「赤字」

今後、修正や変更等が予想される内容

(暫定版 0825)

つくば市

コミュニティ・スクール

のつくり方

概要版

社会全体で子供の育ちの場・学びを支える
地域とともにある学校へ

令和4年(2022年)〇月

これからの
やさしさの
ものさし
つくばSDGs

はじめに

近年、全国的に子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化している現状があり、教育改革、地方創生等の観点からも学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。未来の創り手となる子供たちの資質・能力は、学校だけで育まれるものではなく、子供たちは地域社会とのつながりの中で、絆を育み、豊かさ・たくましさを身につけていきます。

平成 28 年の中央教育審議会答申「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善及び必要な方策について」では、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」実現のためのコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進が提言されました。

つくば市「教育大綱」の「IVつくばの学び実現に向け、いま必要なこと」では、「保護者・学校・地域・行政が協力し、社会全体で子供の育ちの場を支える」とあります。

「地域とともにある学校」の実現を目指すため、地域の実情や学校の特色を踏まえて、地域の宝である子供たちを学校だけでなく地域みんなで育み、すべての子供の安心できる学びの居場所を作れるよう、つくば市では令和 3 年度からコミュニティ・スクールの導入を進めていくこととなりました。

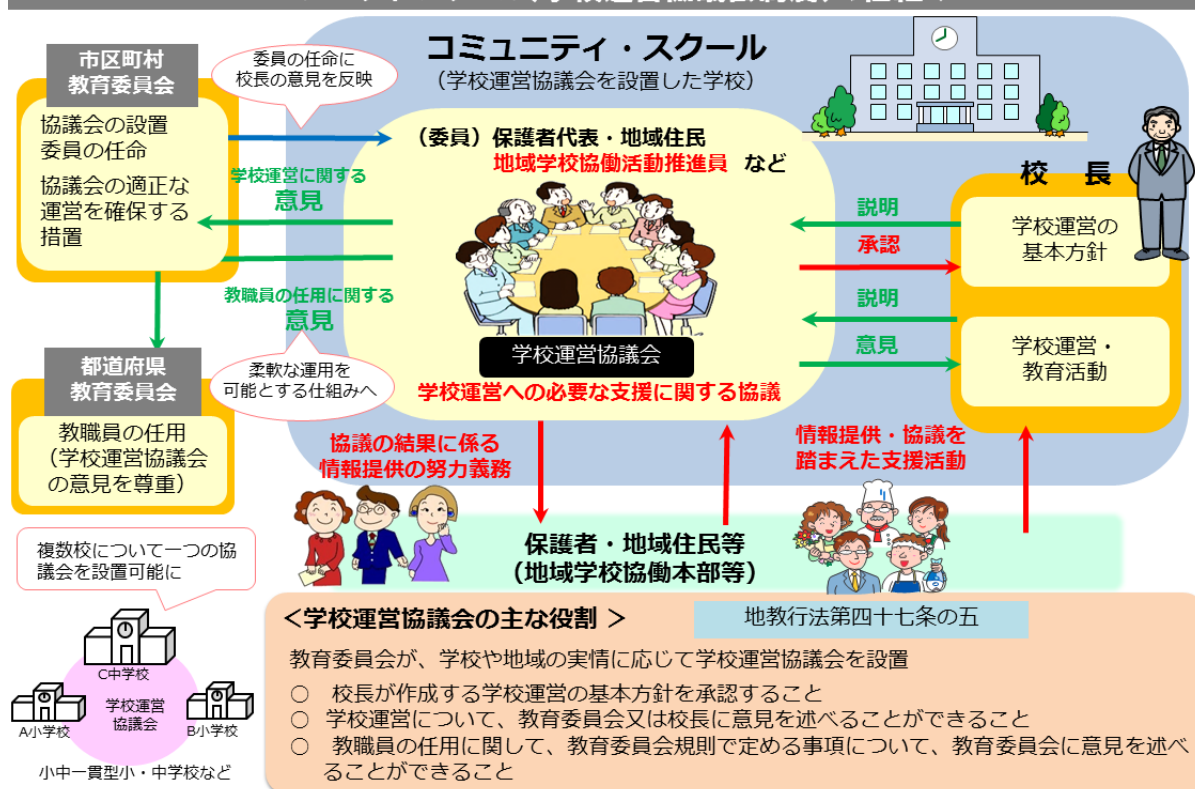
つくば市コミュニティ・スクール概要

1. コミュニティ・スクールについて

(1) コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会制度を導入している学校のことを指し、学校と保護者や地域が共に知恵を出し合い、学校運営に意見を反映することで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校づくり」を進めるための法律に基づいた仕組みです。この学校運営協議会は、平成 16 年に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という）の改正により位置付けされた仕組みです。その後平成 29 年の改正により、各教育委員会に対して、学校運営協議会の設置が努力義務となり、より一層、保護者や地域住民が学校運営に参画することが求められるようになりました。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み



(コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度) | 文部科学省 より)
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/

(2) なぜ、コミュニティ・スクールの導入が必要か

社会的背景

- ・ 人生100年時代
- ・ 社会的包摂の実現
- ・ Society5.0
- ・ 少子高齢化
- ・ 地方創生
- ・ 地域活性化の推進 など

学校教育

- ・ 学校が抱える課題の複雑化、困難化
- ・ 教育以外の高い専門性が求められるような事案の増加 など

< 予測困難な社会の変化 >

教育固有の問題ではなく、社会全般の問題が増えてきている社会や生活の解決なしには成し得ないということ、ましてや学校教育のみでは極めて困難な課題が出てきている

新学習指導要領の前文で明記

未来を担う子供の豊かな成長のために

「社会に開かれた教育課程」の実現

- ① 教育課程を介して目標を学校と社会が共有する
- ② 子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し・連携する
- ③ 地域の人的・物的資源の活用、社会と連携・共有しながら学校教育を展開する
- ④ 地域と学校が連携・協働して社会全体で未来を担う子供たちの成長を支える



「地域とともにある学校」へ

- ・ コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置している学校）
- ・ 地域学校協働活動（地域と学校が連携・協働して行う様々な活動）

「つくば市未来構想」のまちづくりの理念
 「つくば市教育大綱」の教育全般の方向性・在り方を示す指針 を基に
 子供を中心に保護者・学校・地域・行政がゆるやかにつながり
 子供も 大人も 地域も ともに育ちあう 「人づくり」「地域づくり」

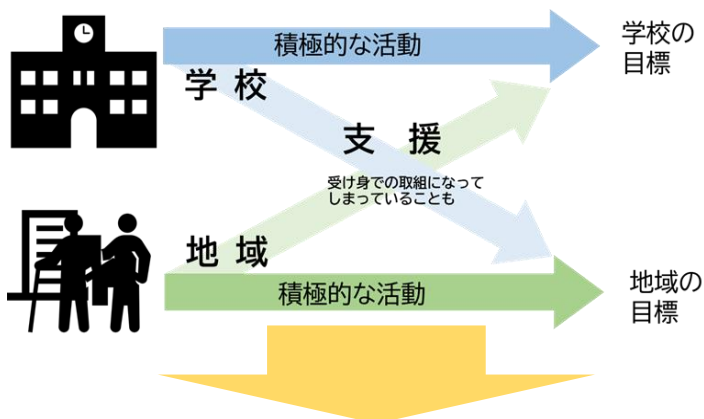


(3) コミュニティ・スクールのメリットや魅力は

コミュニティ・スクールのメリット

- ① 組織的・継続的な体制の構築 = **持続可能性**
- ② 当事者意識・役割分担 = **社会全体**
- ③ 目標・ビジョンを共有した活動 = **協働**

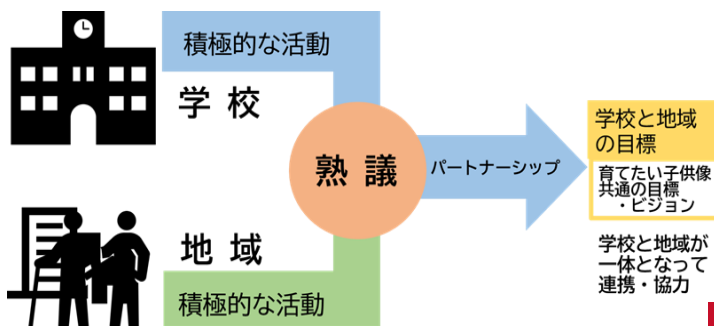
<コミュニティ・スクール導入前は>



地域と学校の目標に大きなズレがあったり、その目標が共有されていない場合、お互いに「頼まれたから、やる」や「この前、手伝ってもらったから、やる」といった受け身の姿勢になってしまうことがあります。



<コミュニティ・スクールが始まると>



共通の目標が設定されると、お互いに前向きな姿勢で取り組むことができ、子供たちへの教育効果も大いに期待できます。

「地域と学校が一体」となって、「役割分担」をしながら、それぞれが「主体的」に取り組むので、お互いに「達成感」を味わうことができます。



コミュニティ・スクールの魅力

子供にとっての魅力

- 子供たちの学びや体験活動が充実します。
- 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。
- 地域の担い手としての自覚が高まります。
- 防犯、防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。

教職員にとっての魅力

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。
- 地域人材を活用した教育活動が実現します。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できます。

保護者にとっての魅力

- 学校や地域に対する理解が深まります。
- 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。

地域の人々にとっての魅力

- 経験を生かすことで生きがいや自己肯定感につながります。
- 学校が社会的つながり、地域のよりどころとなります。
- 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができます。

2. つくば市コミュニティ・スクールの趣旨

(1) つくば市の小中一貫教育とコミュニティ・スクールの推進

9年間を見通した「縦につながる小中一貫教育」を柱に、保護者・学校・地域・行政が協力してつながり、社会全体で未来の創り手となる子供たちの育ちの場・学びを支援する「横につながる小中一貫教育」を目指し、コミュニティ・スクールの導入を進めていくこととしました。

(2) つくば市コミュニティ・スクールの機能

- ① 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- ② 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べるができる
- ③ 教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項（分限及び懲戒に関する事項を除く。）について、教育委員会に意見を述べるができる

※任用とは、特定の職員の採用任用に関する事、分限及び懲戒に関する事ではありません。

④ 学校評価（学校関係者評価を行う）

(3) つくば市コミュニティ・スクールの方向性

① 「問いから始める学び」を持続する協働体制の推進

= 持続可能な組織づくり

② つくば・地域・学校のリソースを生かした学校支援体制の推進

= 社会全体で学校を支援

③ 「学び」を支える、「つくばらしさ」を生かした学習支援体制の推進

= 子供の学びの支援

コミュニティ・スクールは、家庭・地域のそれぞれの立場の人たちが、合議制の機関である学校運営協議会を通して、学校運営に当事者意識を持って参画することによって「地域とともにある学校」へと転換させる仕組みです。

この仕組みの導入により、子供たちの健全育成を確保するとともに、そこに関わる大人の学びの充実、地域全体がその環境において一人ひとりの「善き生の実現能力」と、人と人がつながり「社会力」を育てることにつながります。さらに「地域の教育力」が向上し、地域の絆を深め、地域の「未来の担い手を育てていくこと」にもつながり、「学校と地域の活性化を図ること」が期待できます。

(4) 組織づくりにおける3つの特徴

① 地域コーディネーターの配置

・各学校・各義務教育学校に原則2名配置

② 学校評議員制度から学校運営協議会制度へ

・校長に意見を述べる仕組みから合議制による協議を行う仕組みへ

・保護者や地域住民の当事者意識の向上による、学校・家庭・地域の一体化促進

③ 小中一貫教育を支える「コミュニティ・スクール」の仕組み

・コミュニティ・スクール協議会（つくば市における学校運営協議会の名称）

・地域学校協働活動（地域と学校が連携・協働して行う様々な活動）

3. つくば市コミュニティ・スクール導入までの手順と学校運営協議会の設置

コミュニティ・スクール（CS）準備から設置までの一連の流れ

Step1 [前年度10月～3月]

コミュニティ・スクール推進会議の立ち上げ準備

目標：4月からの組織づくりに向け、小中一貫教育の視点を踏まえた体制の確立

- 〈主な業務〉(1) 学園・義務教育学校内にコミュニティ・スクール推進会議を立ち上げる準備
- ・CS協議会制度の方向性の協議と決定（組織づくり）
 - ・CS推進会議委員の選出や地域コーディネーター候補の取りまとめ ※別紙2準備
 - ・校務分掌の検討（地域連携担当教員）
 - ・PTA（保護者）や学校評議員、地域の方々への周知
 - ・年間計画作成 ※別紙1準備
- (2) 学校評議員制度からコミュニティ・スクール協議会制度への移行に関する周知



Step2 [2月～4月]

学園・学校経営構想（ランドデザイン）を基にした学園・学校運営方針の策定

目標：CSの設置意図を踏まえた学園・学校運営方針の策定

- 〈主な業務〉(1) 学園の教育課題や目指す子供の姿を明確にした学園・学校運営方針の策定
- (2) 教職員への周知・研修



Step3 [4月～5月]

コミュニティ・スクール推進会議開催に向けた運営体制の確立

目標：初回CS推進会議の組織及び年間計画の確認並びにCSの体制づくり

- 〈主な業務〉(1) CS推進会議委員及び地域コーディネーターの選出と推薦 ※別紙2
- (2) 学園・学校の状況並びにランドデザインに基づくCS推進のための体制づくり ※別紙1
- (3) 地域学校協働活動の実施の検討 ※様式6 (Step3以降毎月)



Step4 [校内体制づくり終了後～6月ごろ]

コミュニティ・スクール推進会議の開催（CS設置準備、運営）【CS準備】

目標：「熟議」が行われるCS協議会（学園運営協議会）設置のための準備と実施

- 〈主な業務〉(1) CS推進会議での協議（熟議）内容
- (2) CS推進会議に係る実施報告や広報活動 ※様式7、様式8



Step5 [CS推進会議開催後～3月]

地域と協働した活動の実施・次年度に向けての準備

目標：学園・学校運営方針、目指す子供の姿を意識した、地域・学校が連携した活動の実施と振り返り

- 〈主な業務〉(1) 学園・学校運営方針の承認及びCS推進会議の内容を踏まえた教育活動と必要に応じた会議の実施 ※様式7、様式8
- (2) 次年度の運営改善に向けた実績評価並びに委員の選出と実施計画の検討 ※様式2-1、様式3（2つとも提出は4月上旬）
- (3) CS活動状況報告書等の提出 ※様式4



Step6 [次年度 4月～]

コミュニティ・スクール協議会制度開始【CS設置】

目標：CS協議会規則に基づいた持続可能なCSの展開

- 〈主な業務〉(1) CS協議会規則に基づいたCS協議会の実施（年3回以上） ※様式7、様式8
- (2) 学園・学校運営方針の承認及び目指す子供の姿・ビジョンを共有し協議した内容を踏まえた教育活動の実施 ※様式2-1、様式3
- (3) 次年度の学園・学校運営改善に向けた実績評価
- (4) CS活動状況報告書等の提出 ※様式4

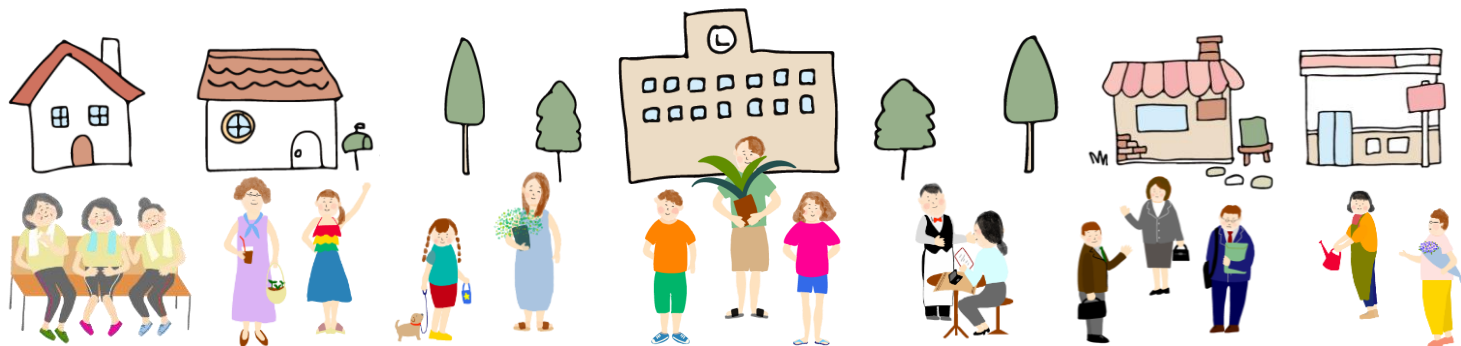


【教育局での支援体制】

教育局では、各学校がCSの運営を円滑に行えるように、各種会議に参加・運営の支援・助言を行うほか、必要に応じて各組織・団体への連絡調整を行います。

つくば市は導入に向けて計画を進めています！

コミュニティ・スクール



近年、子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、学校教育のみでは極めて困難な社会全般の問題が出てきています。

それらの教育課題に対応するため、9年間を見通した「縦につながる小中一貫教育」を柱に、学校・家庭・地域の思いや願いを共有し、連携・協働しながら、社会全体で未来の創り手となる子供たちの育ちの場・学びを支えられるよう、保護者・学校・地域・行政が協力した「横につながる小中一貫教育」を目指し、「コミュニティ・スクール」導入を進めていきます。

つくば市教育長 森田 充

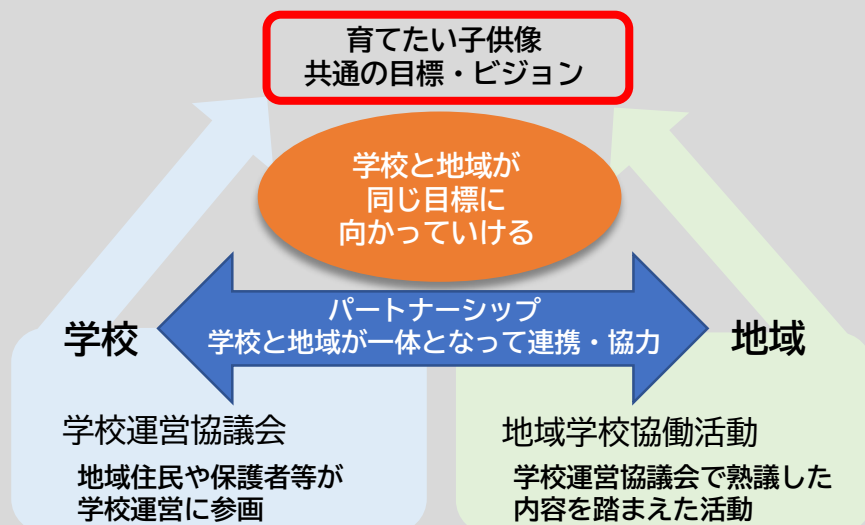
コミュニティ・スクールを通して 子供も 大人も 地域も ともに育ちあう
「地域づくり」「人づくり」を目指します

※コミュニティ・スクールの効果・魅力は裏面に記載してあります。→

コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会（地教行法第47条の5）を設置している学校のことです。学校と保護者や地域の方々がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。

※**学校運営の責任者は校長**であり、学校運営協議会が校長の代わりに学校運営を決定・実施するものではありません。



子供を中心に、学校・家庭・地域・行政がつながる

コミュニティ・スクールの効果は

- 1 組織的・継続的な体制の構築 = 持続性
- 2 当事者意識・役割分担 = 社会総掛かり
- 3 目標・ビジョンを共有した「協働」活動

コミュニティ・スクールの魅力

【子供たちにとって】

- ・豊かで多様な体験や学びが充実
- ・多くの人とのかかわりによる社会力の育成
- ・地域の担い手としての自覚の高まり
- ・安心、安全な生活

【学校にとって】

- ・地域の理解と協力を得た学校運営の実現
- ・地域資源を活用した、教育活動の充実
- ・地域との協働により、子供と向き合う時間の確保
- ・防犯・防災体制等が構築

【地域にとって】

- ・個々の経験を生かすことによる、充実感ややりがいの醸成
- ・学校を通した多くの人との交流
- ・地域の活性化につながる
- ・防犯・防災体制等の構築

【保護者にとって】

- ・保護者同士や地域のみなさんとの人間関係の構築
- ・学校や地域に対する理解の深まり
- ・地域の中で子供たちが育てられているという安心感

学校運営協議会の役割

- 1 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する
- 2 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
- 3 教職員の任用※に関して、教育委員会に対して意見を述べるができる
- 4 学校評価（学校関係者評価）を行う

※任用とは、学校の課題解決や教育活動の充実のために校内体制の整備充実を図る観点から、学校と学校運営協議会が実現しようとする教育目標等に適った人材を求めることです。特定の職員の採用任用に関する事、分限及び懲戒に関する事ではありません。

今後のコミュニティ・スクール導入計画

令和4年度にモデル検証校で実施し、年度ごとにコミュニティ・スクール導入校を増やしていく予定です。地域や学校等の実情を踏まえながら、令和7年度末までにつくば市内全小中学校、義務教育学校へコミュニティ・スクールの導入を目指します。



令和 4 年度

筑波山地域ジオパーク学術研究助成金成果発表と教育シンポジウム

“ジオパーク教育で持続可能な地域の担い手育成につなげよう！”

<オンライン開催> 2023年3月11日(土) 13:30~16:30

【趣旨】

例年通り、筑波山地域ジオパークの学術研究助成金の成果発表会を実施します。それに合わせて、今年度は教育に焦点を合わせたシンポジウムを企画しました。筑波山地域ジオパーク推進協議会の中に専門員が設置され、学校との連携活動が進められています。今回は、本ジオパーク推進協議会の専門員とジオパーク教育に関わる専門家・学生から話題提供をしていただき、ジオパークの教育活動の普及・啓発について意見交換したいと思います。今回のシンポジウムが筑波山地域ジオパーク活動の一助となれば幸いです。皆様の積極的な参加をお待ちしています。

【プログラム】

司会 高田正澄（教育・学術部会員）

13:30-13:35 開会あいさつ・趣旨説明 玉生志郎（教育・学術部会長）

「学術研究助成の研究報告」

13:35-14:00 学術研究助成の研究報告（霞ヶ浦における化石カキ礁と東京湾における現生カキ礁の比較）
……野口真利江（NPO 法人首都圏地盤解析ネットワーク）

「ジオパークに関わる教育」

14:00-14:25 筑波山地域ジオパークの教育事業の取り組み

……小野哲矢（筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局専門員）

14:25-14:50 つくば市六斗の貝化石を使った理科実技研修

……富永紘平（筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局/つくば市ジオパーク室専門員）

14:50-15:00 <休憩>

15:00-15:25 学校学習支援での地域ジオパーク学習 ～地域を学ぶ、大地を知る～

……矢野徳也（筑波山地域ジオパーク推進協議会教育・学術部会員）

15:25-15:50 茨城大学の学生によるジオパークを舞台にした教育・地域振興の実践活動

……小荒井衛（茨城大学大学院理工学研究科教授）・古庄航輝（茨城大学理学部3年）・佐藤未笛（茨城大学大学院理工学研究科修士2年）

15:50-16:25 意見交換会 モデレーター 小玉喜三郎（教育・学術部会副部会長）

16:25-16:30 閉会あいさつ 伊藤祐二（筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局長）

【参加登録・問い合わせ先】 参加費無料、事前参加登録が必要です。〆切3月5日(日)、定員90名。件名に「R4年度参加登録」と書き、氏名、メールアドレス、電話番号を記入し下記メール宛へお申し込みください。後日 Zoom 参加用 URL と参加手順説明のメールをお送りします。

シンポジウム専用メールアドレス：geo298symposium@gmail.com

主催：筑波山地域ジオパーク推進協議会

令和4年度第2回つくば市社会教育委員会議 事前質問・意見

		意見・質問	担当課	対応議事
1	谷村委員	<p>【質問】 スポーツ振興事業令和5年度の計画・5番目について、中学部活の指導者の確保は、早急に取り組まなければならない問題です。 スポーツ振興課としては具体的にどの程度係わっていかようとしているのでしょうか。</p>	スポーツ振興課 スポーツ推進係	(1) 令和5年度社会教育事業概要について 資料1 P6
2		<p>【意見】 二十歳の集い事業の目標値についてですが、人間関係を継続していける大切な機会だと思いますので、もっと目標値を高くして、多くの成人が集う魅力ある事業になるように努力すべきと思います。</p>	生涯学習推進課 青少年教育係	(1) 令和5年度社会教育事業概要について 資料1 P10

高田委員質問及びスポーツ振興課スポーツ推進係回答

(資料1 P 6 スポーツ振興事業)

(質問1)

令和5年度の計画に記載のある障害者スポーツについて、どのようなスポーツを考えているのでしょうか。

(回答)

現在、筑波大学と障害者スポーツに関する共同研究を行っており、障害者が身近でスポーツをする際のニーズや課題が明らかになる予定です。令和5年度は、その課題に対応した障害者が利用するスポーツ施設等において活用できる対応ポイントなどをまとめたサポートガイドの作成等を予定しています。

また、障害者スポーツ用具の貸出について、ボッチャセットを検討しています。学校や地域の団体などがイベントや体験教室を開催する際にご使用いただきたいと考えています。

そのほかに、障害者スポーツを多くの方に知ってもらうため、谷田部総合体育館に車いすバスケットの競技用車いすやポスターの展示の準備を進めています。更に興味を持った方に体験していただけるよう、関係団体との協議も進めています。

(質問2)

先進自治体の視察は、例えば具体的に決まっているのでしょうか。

(回答)

先進自治体の視察につきましては、まだ、具体的な自治体は決まっていますが、障害者スポーツに特化施設があったり、用具の貸出を行っていたり、大会を開催する自治体などを想定しています。